

公示用

設 計 書

工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

工事内容説明書

1. 工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

2. 施工場所 札幌市豊平区豊平8条11丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年 11月 21日 まで

5. 工事内容 屋上防水改修、外壁改修、煙突改修、設備改修に伴う建築工事

共通費算定に用いる工期 T=5.6

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費を含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

[illegible]

札幌市住宅管理公社

札幌市住宅管理公社

豊平若者活動センター		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 平場 - -		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 立上り - -		m ²			
常温改質アスファルト塗膜防水	立上り		m ²			
仮防水	ポ ^ス リマーセメント系		m ²			見積
水洗い			m ²			
シーリング ^タ	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
シーリング ^タ	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10		m			
シーリング ^タ	一般部 変成シリコン系(MS-2) 30×10 オーバ ^ラ ーフ ^リ ツ ^ク		m			
既製アルミ笠木(シルバ ^ー)	一般部 厚2.0mm 幅275mm		m			
既製アルミ笠木コーナー(シルバ ^ー)	コーナー部 厚2.0mm 幅275mm L型 500mm+500mm		か所			
捨て笠木	亜鉛メッキ鋼板 t1.6		m			見積
既製アルミ水切(シルバ ^ー)	一般部 厚1.2mm以上 幅40mm		m			
既製アルミ水切(シルバ ^ー)	一般部 厚1.2mm以上 幅50mm		m			
改修用ルーフト ^レ ン	ド ^レ ンキャップ ^タ ,ド ^レ ン下地補修含む		か所			
既設ド ^レ ン洗淨	ド ^レ ン金物から第1雨水枡まで 6か所 基本料金含む	1	式			
計						

札幌市住宅管理公社

豊平若者活動センター		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
根切り	人力士工 - -		m3			
埋戻し	人力士工 -		m3			
小規模施工補正 (普通作業員)	普通作業員		回			
防水形複層塗材E 塗り	ローラー 透湿弾性 ふっ素 下地調整セメント系 C-2		m ²			
複層塗材 E	ALCパネル面 ローラー ふっ素 下地調整 C-1		m ²			
基礎樹脂モルタル塗り	薄塗りタイプ 厚1～2mm(フックタイプ)にて 水洗い含む		m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	ALC面・仕上塗材改修		m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修		m ²			モルタル下地面
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修		m ²			タイル面
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 5×5/2		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10/2		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10		m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 30×10		m			
耐候性塗料塗り(D P)(改修用)	鉄鋼面 1級 錆止め工程A種 2回塗り 下地調整RB		m ²			
タラップ (梯子型)	ステンレス製 W400 縦桟φ25 横桟φ22 あと施工アンカー		m			
タラップ 安全ガード 取外し、再取付	L=3000程度 W=700		か所			
SUS製フード 新設	SUS304 厚0.8mm 250×300mm 防虫網付き		か所			
SUS製フード 防虫網 撤去新設	SUS304 200×250mm		か所			
プレート 取外し、再取付	50×80		か所			

豊平若者活動センター		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
プレート 取外し、再取付	90×140		か所			
プレート 取外し、再取付	200×200		か所			
プレート 取外し、再取付	300×600		か所			
ひび割れ部Uカットシール材充填	モルタル面		m			
ひび割れ部樹脂注入	自動式低圧球形樹脂注入工法 モルタル面		m			
欠損部充填	モルタル面 100×100程度		か所			
欠損部充填	モルタル面 100×200程度		か所			
欠損部充填	モルタル面 100×500程度		か所			
欠損部充填	モルタル面 100×1000程度		か所			
ひび割れ部Uカットシール材充填	ALC面 縦面		m			
欠損部充填	ALC面 100×100程度		か所			見積
欠損部充填	ALC面 100×200程度		か所			見積
欠損部充填	ALC面 100×500程度		か所			見積
浮き部注入口付アンカーボルト工	全面球形樹脂注入工法 モルタル面 一般部分		m ²			
外装壁タイル張り	密着張り I 類 施ゆう 二丁掛 平 227×60 下地モルタル含む		m ²			
小規模施工補正 (タイル工)	タイル工		回			
タラップ撤去後補修	100×100程度 鉄部球形樹脂塗布,周囲ハツリ出 樹脂モルタル(フレックスタイプ) 金網仕上		か所			
非飛散性アスベスト処理 防塵処理費	防塵マスク(電動ファン付)、フィルター、防護メガネ、保護衣、真空掃除機	1	式			
計						

札幌市住宅管理公社

[illegible]

豊平若者活動センター		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【床】						
ビニル床タイル撤去	石綿含有 集積共		m ²			
ビニル床シート撤去	石綿含有 集積共		m ²			
ウレタン塗床撤去			m ²			
床タイル撤去	下地モルタル(アスベスト含有)共 集積共		m ²			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共		m ³			
断熱材撤去	FP板・発泡ウレタン等		m ²			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm		m			
【壁】						
CB撤去	人力 集積共		m ³			
壁タイル撤去	下地モルタル(アスベスト含有)共 集積共		m ²			
モルタル撤去(アスベスト含有)	人力 集積 飛散防止吹付材共		m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共		m ²			化粧合板
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共		m ²			PB
壁下地撤去	集積共		m ²			LGS
ビニル幅木撤去	石綿含有 集積共		m			
【天井】						
天井加え撤去	集積共		m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共		m ²			PB
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共		m ²			吸音板

札幌市住宅管理公社

豊平若者活動センター		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【床】						
ビニル床タイル	厚さ2 コボージュンビニル床タイルKT 一般床 -		m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -		m ²			
ウルタン塗床	t2.0 平滑		m ²			
床タイル張り	吸水率Ⅰ類 50×50 無釉（下地タイル含む）		m ²			
小規模施工補正 （タイル工）	タイル工		回			
和風便器撤去後床 穴塞ぎ	普通コンクリート、鉄筋コンクリート用異形棒鋼 、型枠、金属拡張アッカー、FP板	1	式			
【壁】						
化粧ケイカル板張り	壁 t6.0 アルミジョイナー工法		m ²			
耐水石膏ボード張り （GB-S）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -		m ²			
耐水合板	特類 t12		m ²			
天然木化粧合板	t4		m ²			
壁 せっこうボード 張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -		m ²			
壁タイル塗り	金ごて 内壁 厚20		m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300		m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし @300		m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1000×1500mm程度		か所			消火ポンプ室
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 600×1200mm程度		か所			PS壁
壁見切縁	塩化ビニル製		m			
ビニル幅木	高さ100		m			

豊平若者活動センター		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ライニング 壁巾木	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 高さ100mm -		m			
ライニング 壁天端	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 幅150mm未満 -		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 5×5		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10		m			
【天井】						
天井 ビニルクロス張り	2級 ボート面 - クロスJISA69217ルテート 基準値適合品 接着剤アルデヒド 非含有 普及品 (2)		m ²			
天井 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 継目処理		m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚 9.5共		m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-R 厚 9.5共		m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート別途		m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ボード等切込み共		か所			
天井廻縁	塩化ビニル製		m			
廻り縁	30×30		m			
E P 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種		m			
グラスウール断熱材	天井 厚200mm 24kg品		m ²			
【その他】						
木製ロッカー 取外し、再取付	1300×500×2000		か所			
アルミパネーション 取外し、再取付	500×2300		か所			
紙巻き器 取外し、再取付			か所			
便座クリーナー 取外し、再取付			か所			

札幌市住宅管理公社

豊平若者活動センター		煙突改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
煙突アスベスト除去 仮設	単管足場、作業床、腰壁、屋根、防 炎シート 運搬費含む	1	式			
安全衛生設備機器 費	エアシャワー、負圧除じん機、真空掃除機 エアレスアプレヤー、高圧洗浄機、資機材 運搬費	1	式			
保護用品	保護マスク（電動ファン付）、保護マスク、フ ィルター、保護衣、負圧集塵機用フィルター 、高分子吸水ポリマー	1	式			
セキリティーゾーン			組			見積
上、下部床養生	0.15mmポリシート2重		m ²			見積
上、下部壁、屋根 養生	0.1mmポリシート1重		m ²			見積
仮設煙道塞ぎ	コンパネ t12 撤去、集積共		m ²			
煙突断熱材撤去	カバー スタック φ314 13m		m ²			見積
飛散抑制剤塗布	φ314 H=13m		m ²			見積
飛散防止剤塗布	φ414 H=13m		m ²			見積
飛散防止剤塗布	養生シート		m ²			見積
廃石綿袋詰	廃石綿専用袋 2重梱包 小運搬込 み		m ²			見積
廃石綿一時保管場 所	プレハブ	1	式			
作業場内点検機器	マイクロメーター、スモークテスター 4日	1	式			
事前・事後清掃			m ²			見積
陣笠撤去			か所			見積
上部鉄筋コンクリート 撤去			か所			見積
周囲カッター入れ	上部		m			
灰出口撤去	120×180		か所			見積
鉄筋コンクリート撤去	灰出口 モルタル押え、FP板共		か所			見積

[illegible]

札幌市住宅管理公社

札幌市住宅管理公社

[illegible]

令和 7 年度 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

図面リスト			
図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称
A－0 0	表紙・図面リスト	A－2 1	矩計図（改修前）
A－0 1	特記仕様書 1	A－2 2	矩計図（改修後）
A－0 2	特記仕様書 2	A－2 3	外部階段詳細図
A－0 3	特記仕様書 3	A－2 4	煙突詳細図
A－0 4	特記仕様書 4	A－2 5	建具表 1
A－0 5	特記仕様書 5	A－2 6	建具表 2
A－0 6	特記仕様書 6	A－2 7	1 階天井伏図
A－0 7	特記仕様書 7	A－2 8	便所平面詳細図・床伏図（改修前）
A－0 8	特記仕様書 8	A－2 9	便所平面詳細図・床伏図（改修後）
A－0 9	付近見取図、配置図	A－3 0	便所展開図（改修前）
A－1 0	1 階平面図	A－3 1	便所展開図（改修後）
A－1 1	2 階平面図	A－3 2	部分詳細図 1
A－1 2	ギャラリー、屋上 2 平面図	A－3 3	部分詳細図 2
A－1 3	屋上 1 平面図	A－3 4	部分詳細図 3
A－1 4	立面図 1	A－3 5	仮設計画図（参考）
A－1 5	立面図 2	A－3 6	仮設計画図（煙突改修時）（参考）
A－1 6	外壁調査表		
A－1 7	外壁調査図 1		
A－1 8	外壁調査図 2		
A－1 9	外壁調査図 3		
A－2 0	外壁調査図 4		

(18)工事の入札及び契約の適正化

(19)施工体制台帳等

20臨時検査

(21)法令等の遵守

(22)苦情の対応処置

(23)不法無線局及び違法無線局対策

(24)建設副産物対策

(25)発生材の処理

(3)測定箇所（3箇所※測定位置は監督員と協議のこと）

(4)測定時期※工事施工前、工事施工後の2回・工事施工後の1回

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を遵守し、施工体制の適正化を図ること。

(a)施工体制台帳(1.1.5)

建設業法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律等により、工事の受注者である建設業者は、下請契約を締結するときは、その金額に関わらず、施工体制台帳を作成し、工事現場ごとに備え置くこと。
また、その写しを発注者に提出すること。その際、資格要件にない免許・資格証等の不必要な個人情報 は添付しない。なお、施工体制台帳の作成範囲・構成は、「施工体制台帳作成のポイント（札幌市財政局工事管理室）」による。

(b)現場の管理
受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

臨時検査は下記の場合に実施する。(1.8.2)
(1)中間技術検査
各年度1回以上（ただし、複数年度の継続工事において、支払が発生しない年度については除く。）行うほか、基礎ぐい工事がある場合は、その施工中に1回。
(2)臨時技術検査
発注者が必要と認めた場合

当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を把握したうえで、その一覧（適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等）を作成し、施工計画書に明示する。(1.1.13)

当該工事における苦情への対応及び報告書について、施工計画書に明示すること。
また、監督員にその都度報告し、指示を受ける。(1.3.7)

受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局例：不法アマチュア局、外国製無線機（FRS/GMRS）など）及び無線局の違法な運用（免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱して使用することなど例：アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。

(1)受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）の対象になった場合、次の項目に掲げた事項について措置を講ずること。

(ア)建設リサイクル法を厳守し、再生資源の十分な利用と廃棄物の減量等を通じて資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努める。

(イ)工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、その実施状況に関する記録を作成し書面により報告すること。

(ウ)本法律対象となった時は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意する。

(2)受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守し、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めること。

(3)受注者は、着手時に「再生資源利用計画書（建設資材入）と再生資源利用促進計画書（建設副産物の搬出）」を作成し、監督員に提出すると共に、工事完了時には、実施書により実施状況記録を報告する。

(1)本工事で発生する建設副産物は、次により処理を行う。(1.3.12)

(ア)建設副産物の搬出先は下表の通りとし、原則として札幌市内の処理施設を、「札幌市産業廃棄物処分業許可業者名簿」（環境局HP参照）から指定すること。

ただし、（※）で示す副産物については、市外に搬出すること。

搬出先

種別

再生資源化施設

アスファルトコンクリート塊、コンクリート塊（モルタル付着）、コンクリートブロック（建築用）、インターロックンクブロック（着色含）、金属くず、木くず（建設廃材）、剪定枝等生木、廃プラスチック類、蛍光管類、
（条件有）、汚泥（無機性）

その他の施設

がれき、紙くず・木くず・繊維くず、ALCパネル、混合廃棄物、廃石膏ボード、アスファルト防水材（※）、非飛散性アスベスト成形板（※）

(イ)処理計画については、受け入れ条件等を確認のうえ、事前に監督員と協議すること。

(ウ)再生資源化施設へ搬出した場合、搬出後、調書を監督員に提出すること。

(エ)現場より発生する汚泥は、速やかに溶出試験、含有試験を行い「環境基本法に基づく環境基準（平成3年環境省告示第46号）」および「土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有量基準（平成15年環境省告示第19号）」にそれぞれ適合することを確認し、資料を監督員に提出すること。
※試験回数（※1回）回

(2)舗装切断汚水
・舗装切断汚水は下記の施設で処分すること。
公清企業（エコパーク）（札幌市東区中沼町45番地23）

(3)特別管理産業廃棄物
（・種類：搬出先：）
受注者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し、監督員に報告する。なお、選任は受注者の中で行う。
(4)有価金属
・有価金属は、下記の業者で処分すること。
(ア)札幌市競争入札参加資格者：物品・役務関係・再生資源関係業者
(イ)廃棄物再生事業登録業者（知事登録）
(ウ)金属くず商許可業者（警察許可）
なお、搬出を行なった際、領収書または、受入伝票等及び許可書等の写しを監督員に提出すること。

・有価金属は、材料引渡しリストを作成し、下記保管場所に保管する。（保管場所：）

(5)産業廃棄物運搬車両表示
産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。
（同法施行規則第7条の2第3項及び第7条の2の2）
施工範囲
①図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及び、それらの補強
②図示した鉄骨造の貫通孔の補強プレート等
③図示した天井の仕上材，下地材の切込み及び下地の補強
④電動駆動装置がある建具類の2次配線及び操作スイッチ
⑤自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
施工図
設備機械の位置・取合い等、検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。

工事区分

※該当は●印とする。

項目

建築電気暖房衛生備考

躯体の設備配管用のスリーブ及びダクトの入れ

○

○

○

○

同上の補強

○

○

○

○

天井・壁取つけ設備機器用穴あけと補強

●

○

○

○

墨出し設備

ルーフトレンドレン

○

○

○

○

補強は建築

設備用天井・床下点検口

●

○

○

○

位置は協議、
墨出・施工建築

設備用穴あけとモルタル充填・断熱補修

●

○

○

○

ドラフトチャンバー本体及び排気筒

○

○

○

○

設備用機械基礎

○

○

○

○

床下水槽・マンホール

○

○

○

○

換気扇等の取付用枠

○

○

○

○

ビッド内連通管

○

○

○

○

(27)工事標識

種別

・Aタイプ（縦850×横1,760）※Bタイプ（縦850×横800）
表面材：着色カラー鉄板白色厚0.35mm、文字は黒色。

工事名

工事

工事期間

令和年月日～令和年月日

施工者

会社

代表者名

Tel

発注担当（一財）札幌市住宅管理公社

保全部保全課建築係

Tel211-3383

(28)建設機械の選定

工事に使用する建設機械は、以下による。
「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）により指定された建設機械を使用する。本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、平成7年度建設技術評価制度公募課題の「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、また、これと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する。ただし、道路運送車両法の保安準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車車検証の交付を受けているものは除く。その旨を施工計画書に記載し監督員の確認を受けると共に、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真（指定ラベル、形式等）を監督員に提出する。
なお、これにより難い時は監督員と協議すること。

対 象 機 種	型 式	規 格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。
トラクターショベル	ホイール型	ただし、道路運送車両法による排ガス規制を受けている建設機械は除く。
発動発電機	可搬式、溶接兼用機含む	
空気圧縮機	可搬式	
油圧式杭圧入引拔機		
ローラ	ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

29建築基準法に

基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

建築基準法に定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法と定められた工種について、工法を施工計画書として提出する。
（標8.4.3）（標10.5.3）（標13.2.3）（標13.3.3）（標14.7.3）
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=（※32）m/s
地表面粗度区分（ⅠⅡ※ⅢⅣ）

多雪地域とし、垂直積雪量は、札幌市建築基準法施行細則第21条による。

(30)施工数量調査

○調査範囲基礎、外壁（1.6.2）（1.6.3）
○調査方法打診、目視調査
・破壊部分の補修
○報告書図面、集計表

(31)完成時の提出図書

完成図※作成する（A3判2部）・作成しない
作成方法
○製本（A3判2部）・白焼きバラ（A3判部）
製本等は、完成図、主要な施工図、実施工程表、施工業者一覧、主要な使用材料一覧をまとめたものとする。
（1.9.1）（1.9.2）（表1.9.1）

完成図のCADデータ※提出する・提出しない
データ形式は、以下のすべてを提出すること。（1.9.2）
①貴社で使用しているCAD形式
②DXF形式
③PDF形式

設備機器取付用下地補強

フード・ベンドキャップ類のコーキング

衛生器具廻りのコーキング

工事に先立ち監督員の指示する位置に指定様式の工事標識を設置すること。

安全に関する資料

※作成する（1部）・作成しない（1.9.3）
保証書等※作成する（2部）・作成しない

設計図CADデータの提供（提供する・提供しない）
提供するCADデータは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用し、それ以外の目的で使用してはならない。提供したCADデータは、引き渡し時を目途に複製も含めてすべて削除すること。

(1)工事写真の撮影及び整理については、「営繕工事写真撮影要領（工事着手日時時点の最新版を適用）」による。
ただし、提出部数及び形式については監督職員と協議する。（1.2.4）
(2)デジタル工事写真については、国土交通省通知「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

8章 防水改修工事

①

降雨に対する養生方法

②

改修工法の種類

改修工法の種類

(3.1.4)(表3.1.1)

既存防水工法による区分

・P(保護ｱｽ・改質ｱｽ)

○M(露出ｱｽ・改質ｱｽ)

○S(シート)

・L(ウレタン)

・()

既存保護層及び防水層の撤去、非撤去による区分

・1(保護及び防水撤去)

・2(保護撤去、防水非撤去)

○B(露出防水撤去)

○H(露出防水非撤去)

・0(保護及び防水非撤去)

・()

新規防水工法の種別による区分

○AS(改質ｱｽ)

・ASⅠ(改質絶縁断熱)

・S(シート)

・SⅠ(シート断熱)

・X(ウレタン)

・()

既存防水層等の撤去及び既存下地の処理

(※図示による)

新規防水層の種別、施工箇所

(3.3.3)(表3.3.3～表3.3.10)

種 別

施工箇所

・

・立上り部における保護層の工法

(※場所打ちコン ・乾式保護材 ・保護れんが)

・脱気装置 種類、設置数量

(・図示による ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による)

材料、施工

(3.3.2)(3.3.4)(3.3.5)

ｱｽﾌｧﾙﾄは、JIS K2207防水工事用ｱｽﾌｧﾙﾄ3種

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞシート

種類 ※非露出複層防水用R種

厚さ ※1.5mm

・

押え金物

※アルミニウム製L-30×15×2.0程度

・図示による

断熱材

工法

材料

厚さ(mm)

・保護防水断熱工法

JIS A9521

押出法ﾎﾟﾘｴﾅﾑ断熱材3種ba

・

・露出防水断熱工法

JIS A9521(発砲ﾌﾗｽﾁｯｸ断熱材)

・

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)

・

※露出防水断熱工法におけるﾙｰﾌﾄﾞﾝﾄﾞﾝ回り及び立上り部周辺の張りじまいは図示による

・絶縁用シート

※ 3.3.2.(10)による

・

・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度 (※18N/mm2

・)

スランプ(・15cm ・18cm)

仕上・厚さ(・こて仕上 80mm以上 ・仕上あり 60mm以上)

・保護れんが

※普通れんが (JIS R 1250)

・屋上排水溝

※図示による

・仕上塗料

種類

使用量

新規防水層の種別、施工箇所

(3.4.3)(表3.4.1～表3.4.3)

種 別

施工箇所

○AS-T3

屋上

○脱気装置 種類、設置数量

(※改質ｱｽﾌｧﾙﾄシート製造所の仕様による ・図示による)

・ASIにおける防湿層

材料、施工

(3.4.2)(表3.4.1～表3.4.3)

改質ｱｽﾌｧﾙﾄシート、粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄシート、部分粘着層付ｱｽﾌｧﾙﾄシートはJIS A6013により種類及び厚さは以下による。

種類

厚さ(mm)

区分

施工部位

○非露出複層防水用(下層)

1.5以上

※R種 ・N種

○平部 ・立上り

○非露出複層防水用(下層)

2.5以上

※R種 ・N種

・平部 ○立上り

○露出複層防水用(上層)

3.0以上

※R種 ・N種

○平部 ・立上り

押え金物

※アルミニウム製L-30×15×2.0程度

・図示による

断熱材

種類

JIS A9521(発砲ﾌﾗｽﾁｯｸ断熱材)

・

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)

厚さ

・

○仕上塗料

種類

○ﾌﾟｯﾌﾟｺｰﾄ塗り

使用量

○改質ｱｽﾌｧﾙﾄシートの製造所の仕様による。

03 アスファルト防水

04 改質アスファルトシート防水

05 合成高分子系ルーフィングシート防水

新規防水層の種別、施工箇所

(3.5.3)(表3.5.1～3)

種 別

施工箇所

・

・脱気装置 種類、設置数量

(※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞシート製造所の仕様による ・図示による)

材料、施工

(3.5.2)(3.5.4)

合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞシートはJIS A6008により種類及び厚さは以下による

ﾙｰﾌｨﾝｸﾞシート種類

厚さ(mm)

・加硫ゴム系

・1.2 ・1.5

・

・塩化ビニル樹脂系

・1.5 ・2.0

・

・エチレン酢酸ビニル樹脂系

・1.0

・

・熱可塑性エラストマー系

・1.2

・

・絶縁用シート (可塑剤移行防止用シート)

※発泡ﾎﾟﾘｴﾅﾑシート 厚さ(・1.5mm

・)

・固定金物 ※図示による

・断熱材

工法

材料

厚さ(mm)

・機械的固定

JIS A9521(発砲ﾌﾗｽﾁｯｸ断熱材)

・

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)

・

・接着工法

JIS A9521(発砲ﾌﾗｽﾁｯｸ断熱材)

・

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号(透湿係数の規定は除く)

・

・仕上げ塗料

種類

使用量

○ﾌﾟｯﾌﾟｺｰﾄ塗り

・

※主材料製造所の仕様による)

PCｺﾝｸﾘｰﾄ下地及びALCパネル下地の場合の目地処理、入隅の増張りは図示による

・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする

新規防水層の種別、施工箇所

(3.6.3)(表3.6.1～3)

種 別

施工箇所

○常温改質アスファルト塗膜防水

底屋根

・脱気装置の種類、設置数量：

(・図示による ※主材料製造所の仕様による)

仕上げ塗料

種類

○ﾌﾟｯﾌﾟｺｰﾄ塗り

使用量

・

※主材料製造所の仕様による)

・種別 Y-2の保護層：絶縁用シートの材料 ()

保護ｺﾝﾔは保護ﾓﾙﾀﾙ (※図示による)

(MOCA (3,3´-ｼﾞｸﾛﾛ-4,4´-ｼﾞｱﾐﾝ)ｼﾞﾌｴﾆﾙﾒﾀﾝ) が含まれている

ｳﾚﾀﾝ塗膜防水材料を使用する場合、特定化学物質障害予防規則に基づく措置を適切に講じること。)

種別、施工箇所

(標9.6.1)(標9.6.3)(標表9.6.1)

種別等

施工箇所

備 考

・C-SUI

※図示

・C-SUP

壁、天井の防水下地 (※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上りB種 ・)

ｺﾝｸﾘｰﾄの打継箇所の処理

(※幅、深さ30mm程度の目地棒を用い、ﾎﾟﾘﾔﾔﾚﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填 ・)

工事完了後、監督員の指示する場所に取りつける。

施工票の形状等：真鍮板、黒字、ｸﾞﾗﾔ焼付塗り(85mm×125mm)

施工票の記入項目：タイトル、施工年月日、種別、施工業者

保証開始日 【○当該工事のしゅん功日の翌日 ・】

保証期間 (※10年間 ・)

改修工法の種類

(3.1.4)(表3.1.2)

種 別

施工箇所

・シーリング充填工法

○シーリング再充填工法

図示による。

・拡張シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

シーリング材はJIS A5758より、有効期限を過ぎたものは使用しない

06 塗膜防水

07 ケイ酸質系塗布防水

08 施工票

09 防水保証

10 シーリング

材料、目地寸法

(3.7.2)(3.7.3)(表3.7.1)

シーリングの種類

目地寸法(mm)

施 工 箇 所

シリコン系

1成分形

図示

図示

2成分形

変成シリコン系

1成分形

2成分形

図示

図示

ポリサルファイド系

1成分形

2成分形

ポリウレタン系

1成分形

2成分形

図示

図示

アクリルウレタン系

2成分形

上記以外のものは表9.7.1による。

外部に面するシーリング材の接着試験

(3.7.8)

簡易接着性試験 (※行う ・行わない)

(適用箇所：)

引張接着性試験 (・行う ※行わない)

(適用箇所：)

注:同材の組合せで実施した試験成績表がある場合は行わない

9章 金属工事

① あと施工アンカー

あと施工アンカーの種類

(8.2.4)

○金属拡張アンカー

※打込み方式

・芯棒打ち打込式 ・内部コーン打込式

※本体打込式 ・スリーブ打込式

・締付け方式

・コーンナット式 ・テーパーボルト式

・ダブルコーン式 ・ウェッジ式

・接着系アンカー

※カプセル型

・ボリエステル系 ・エポキシアクリレート系

・エポキシ系

・ビニルウレタン系

・無機系 ()

・注入型

・カートリッジ

・現場調合

あと施工アンカーの耐力(※以下による ・図示による)

(8.2.4)

アンカー径

埋込長さ

引張耐力

せん断耐力

確認強度

(mm以上)

(kN以上)

(kN以上)

(kN以上)

以上

以上

適用箇所は図示による

・製品取付用あと施工アンカー (※製造所の仕様による

・)

埋込み配管等の探查

範囲、方法(・ ※図示による)

(8.12.2)

施工後の確認試験(※行う ○行わない)

(標14.1.3)

方法(※引張試験機による試験 ・)

野縁等の種類

屋内(※19形) 屋外(※25形)

(標14.4.2)(標表14.4.1)

屋外の野縁、野縁受、つりボルト及びビンサートの間隔

(※図示による)

(標14.4.3)

新規天井下地のつりボルト受け

確認試験の箇所数

確認強度

・既存の埋込みｲﾝｻｰﾄ

※当該階において3箇所

・

※400N程度

・

・あと施工ｱﾝｶｰ

※当該階において3箇所

・

※400N程度

・

・つりボルトの間隔が 900mmを超える場合

補強方法(・図示による)

(標14.4.4)

・天井ふところが 3.0mを超える場合

補強方法(・図示による)

(標14.4.4)

・耐震性を考慮した補強 補強方法(・図示による)

(標14.4.4)

・耐風圧性を考慮した補強 補強方法(・図示による)

(標14.4.4)

スタッド、ランナーの種類

(標14.5.3)(標表14.5.1)

(※高さの区分による ○図示による)

・スタッドの高さが 5.0mを超える場合

種類()

(標表14.5.1)

○出入口・開口部の補強 (※14.5.4による ・)

(標14.5.4)

③ 軽量鉄骨壁下地

04 金属成形板張り(天井)

⑤ アルミニウム製笠木

06 長尺金属板葺

07 折板葺

⑧ その他金属製品

09 とい

(標14.6.2)

材料の種類

表面処理等

その他

・金属成形板

・

・

塗装等は図示

取付用下地(※軽量鉄骨天井下地による ・)

伸縮調整継手(・設ける ・設けない)

部材の種類

(3.9.2)(表3.9.1)

○オープン形式

・押出し250形

○押出し275形

・押出し350形

・板材折曲げ形

幅(・)

板厚(※2.0mm)

表面処理(・AB-1種 ※BB-1種 ・)

(表5.2.2)

避雷导体(・あり ・なし (板厚 mm以上))

○建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具、固定方法等とする

既存笠木等の撤去及び新規ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木の下地補修工法

(※図示による ・)

(3.9.3)

材料及び葺形式

(標13.2.1～3)(標表13.2.1)

種類

塗膜

めっき付着量

厚さ(mm)

屋根葺形式

※JIS G3322 ｸﾏｰｶﾞﾙﾊﾟﾘｸﾞﾑ鋼板及び鋼帯

・横葺

・蟻掛葺

・瓦棒葺

・平葺

下葺材料

・JIS A6005ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940

・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材

・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする

設計図書に定めのない工法は専門業者の仕様による。

折板は JIS A6514による (標13.3.2)(標13.3.3)(標表13.2.1)

長尺金属板

板厚(mm)

山高記号

山ﾋﾞｯｼﾞ記号

形式

・JIS G3318 塗装溶融亜鉛-5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板

・0.6

・09 ・11

・20 ・25

・重ね形

・JIS G3322 ｸﾏｰｶﾞﾙﾊﾟﾘｸﾞﾑ鋼板

・0.8

・15 ・17

・45 ・50

・はせ絡め形

耐力区分(・2種(200kgf/m²) ・3種(300kgf/m²) ・)

・軒先面戸板

・断熱材張り 種別() 厚さ(mm)

防火性能()

・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする

設計図書に定めのない工法は折板製造所の仕様による。

雪止め口(・設ける ・設けない)

(標13.2.3)

(標14.2.1)(標14.2.2)(標表14.2.1)(標14.2.3)(標表14.2.2)

材料の種類

表面処理等

その他

・手すり

塗装等は図示

○タラップ

・亜鉛めっき

※C種

塗装等は図示

○フード

○SUS304

※N o2B仕上げ

・

・SUS304

・HL

・

・昇降階段

・スチール

・亜鉛めっき

・

・コーナーアングル

・SUS304

・HL

・

記載のない事項は、図示によるほか、製造所の仕様による。

ステン材の表面処理 (※HL仕上げ程度とする ・)

ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理の陽極酸化被膜(被膜 2種)の着色方法

(※2次電解着色(色合いは監督員と協議による))

材種 ※配管用炭素鋼鋼管(白)(JIS G3452)

(3.8.2)

工法 降雨に対する養生 ・行う ・行わない

(3.8.3)

防露巻き ・行う ・行わない

(表3.8.4)

たてどい受金物の取付け (※図示による ・)

ﾙｰﾌﾄﾞﾝﾄﾞﾝの取付け (※図示による ・)

防露材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

図 番

A-04

(一財)札幌市住宅管理公社

令和 年 月 日

工事名 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

図面名 特記仕様書 4

縮尺

A-04

09

ステンレス製
建具

ステンレス鋼板
種類（※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
仕上（※HL
曲げ加工（※普通曲げ・角出し曲げ）

10

網戸

・防虫網の材種
（※合成樹脂・ガラス繊維入り合成樹脂・ステンレス(SUS316)）
線径（※0.25mm以上）
網目（※16～18）
適用箇所は図示による

11

木製建具

建具材の加工、組立時の含水率（※A種・B種）
(5.7.2)(表5.7.1)
枠、くつずりの材料（※図示による）
(5.7.2)
・フラッシュ戸
表面材の合板
(5.7.2)(表5.7.2)

合板の種類	表面材の品質等	備考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等	
・MDF	表裏面の状態による区分（ 曲げ強さ（ 接着材による区分（ 難燃性による区分（	

表面板の厚さ（※表5.7.6による）
(5.7.3)
引戸の定規縁（・いんろう付き）
(5.7.4)
・かまち戸
樹種 かまち（※図示による）
鏡板（※図示による）
見込み寸法（※36mm・図示による）
合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項
揮発性有機化合物対策による。(標16.7.2)

12

建具用金物

金物の種類、材質(※表5.8.1による・図示による)
(5.8.2)
金物の取付位置等は図示による。
(5.8.3)
鍵の製作本数（※監督員との協議による）
(5.8.4)
マスターキー（・製作する○製作しない）
(5.8.4)
グランドマスターキー（・製作する○製作しない）
(5.8.4)
・樹脂製建具丁番（※表5.8.3による・図示による）
(5.8.2)

13

自動ドア開閉
装置

(5.9.2)(表5.9.1)(表5.9.2)

開閉方式	種類	備考
・片引き	・SSLD-1・SSLD-2	
・引分け	・DSL D-1・DSL D-2	
・車椅子使用者 用便所出入口	※表5.9.2による ・	

検出装置の性能（※表5.9.3による）
引戸用検出装置の種類（※図示による）
防錆の適用（・有・無）
凍結防止措置の適用（

14

自閉式上吊り
引戸装置

自閉式上吊り引戸装置の性能(※表5.10.1による）
(5.10.3)

15

重量シャッ
ター

機能による種類は図示による
(5.11.2)
耐風圧強度（・
開閉方式（※電動式(手動併用)・手動式）
安全装置（※適用は図示による）
管理用シャッターのシャッターケースの設置（・設置する・設置しない）
スラット及びシャッターケース用鋼板
(5.11.3)

材 質	めっき付着量
・JIS G3302(溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12・F12・
・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12・F12・

工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、
操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。

16

軽量シャッ
ター

17

オーバーヘッ
ドドア

18

ガラス

19

ガラスの留め
材

20

ガラスブロッ
ク積み

スラット

(5.12.3)

材 質	めっき付着量
・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z06・F06
・JIS G3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯)	※AZ90

形状（※インターロッキング形・オーバーラッピング形）
(5.12.4)
開閉方式（※電動式(手動併用)・手動式）
(5.12.2)
耐風圧強度（・
工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、
操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。
セクション材料(※スチール・アルミニウム・ファイバーグラス）
(5.13.2)
耐風圧性能区分(JIS A4715)（・50・75・100・125)
開閉方法(※バランス式・チェーン式・電動式)
収納形式（・スタンダード形・ローハット形・ハイルフト形・パーチカル形）
ガイドレール（※溶融亜鉛めっき鋼板・ステンレス(SUS304)）
(5.13.3)
工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、
操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。
適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは図示に
よる。
○網入り板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状（・角網○菱網）
板の表面の状態（○磨き・型板）
・合わせガラス
特性による種類（・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類）
・強化ガラス
形状による種類（・平面・曲面）
特性による種類（・Ⅰ類・Ⅲ類）
・熱線吸収板ガラス
性能による種類（・1種・2種）
・複層ガラス
断熱性による区分（・T1・T2・T3・T4・T5・T6)
日射取得性及び日射遮蔽性による区分（・G・S）
乾燥気体の種類（・空気・アルゴン・クリプトン・ネオン）
・熱線反射ガラス
日射熱遮蔽性及び耐久性による区分
（・1種・2種・3種）
耐久性による区分（・A類・B類）
種別
(5.14.2)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（・グレイジングチャンネル・グレイジングパシート）
鋼製及びステンレス製	※シーリング材
木製	・木製建具用パテ・※押縁
樹脂製	押縁及びグレイジングガスケット

板ガラスをはめ込む溝の大きさ
(面クリアランス、エッジクリアランス、掛り代)
(※建具の製造所の仕様による）
防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づき
定められ、又は認定を受けた条件による。
また、外部に面する複層、合わせ、網入り及び線入りガラス
には、グレイジングチャンネルを用いない。(5.14.2)

表面形状、呼び寸法並びに厚さ
(5.14.5)

・正方形	・125×125	・160×160	・200×200	・320×320	・クリア
・長方形	・250×125	・320×160			・乳白

力骨（※SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋
・図示による）
化粧目地モルタルの色（・
シーリング材の種類(※8章 シーリングによる）
・壁用金属枠及び補強材 形状等は図示による
・金属製化粧カバー 材質、寸法、形状等は図示による
・建築基準法に基づき定まる風圧力に応じた工法とする
(5.14.5)
目地幅の寸法、伸縮調整目地の位置（・図示による
※5.14.5による）
目地部の力骨の補強方法（・図示による
※ガラスブロック製造所仕様による）

13章

内装改修工事

01

他の部位との
取り合い等

(a)既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁に取り合う天井、
壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
(6.1.3)
(b)天井内既存壁の撤去に伴う当該壁に取り合う天井の改修
範囲
※壁面より両側 600mm程度とし既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図示による
(c)天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
（※既存のまま・図示による）

02

既存床の撤去
並びに下地補修

既存仕上げ材の除去等
(6.2.2)
(1)ビニル床シート等の除去
浮き部、欠損部の下地モルタルの撤去
（・行う(範囲は図示による)○行わない)
(2)合成樹脂塗床材の除去等
（・機械的除去工法・目荒らし工法)

03

既存壁の撤去
並びに下地補修

間仕切り壁の撤去に伴う他の構造体の補修
(※モルタル塗り・図示による）
(6.3.2)
新設壁下地（○軽量鉄骨壁下地・木製壁下地）
(6.1.4)

04

既存天井の撤去
並びに下地補修

天井の撤去
（○既存下地材利用○下地材を含めて撤去）
(6.4.2)
新設天井下地
（○軽量鉄骨天井下地・木製天井下地）
(6.1.4)

05

木材

木材の含水率（・A種・B種）
(6.5.2)(表6.5.1)
間仕切り軸組に用いる木材の種類（
(6.5.6)
床組に用いる木材の種類（

06

製材

・下地用製材
規格（※JAS1083-5・
等級（・1級※2級）
含水率（・
保存処理（
施工箇所、寸法は図示による。
・広葉樹製材
規格□（※JAS 1083-6・
樹種□（
等級□（・特等※1等・2等）
含水率（※10%以下・
保存処理（
施工箇所、寸法は図示による。
JAS 1083以外の製材を用いる場合の適用は図示による。

07

造作用集成材

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。
(6.5.2)
・造作用集成材
規格□(※日本農林規格による・
樹種名□(
見付け材面（
見付け材面の品質（・特等※1等・2等）
施工箇所、寸法は図示による。
・化粧ばり造作用集成材
規格□(※日本農林規格による・
樹種□化粧薄板□(
芯材□(
化粧薄板の厚さ□(
見付け材面（
見付け材面の品質（・特等※1等・2等）
施工箇所、寸法は図示による。
日本農林規格以外の製材を用いる場合の適用は図示による。

08

造作用単板積
層材

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。
□（6.5.2)
・造作用単板積層材
規格□(※JAS 0701による・
表面の品質
・化粧加工有（・天然木化粧加工・塗装加工）
・化粧加工無（・1等・2等・3等）
防虫処理（
施工箇所、寸法は図示による。
JAS 0701以外の製材を用いる場合の適用は図示による。

09

床張り用合板
等

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。
□（6.5.2)
・普通合板（日本農林規格による）
厚さ（※5.5mm・
接着の程度（※1類・
板面の品質・広葉樹（※2等・
・針葉樹

14

ビニル床シート張り等

品名

種類等

厚さ(mm)

特殊機能

○ビニル床シート

種類(※F S ・)
色柄(※無地 ・)

○2.5mm

・帯電防止
・耐動荷重性
・防滑性

○ビニル床タイル

種類(※K T ・)
色柄(※無地 ・)

※2.0mm
・3.0mm

・帯電防止
・防滑性

・ゴム床タイル

種類(・)
色柄(・)

厚さ(・ 3mm ・ 4.5mm ・)
寸法(・)

・ビニル幅木

※軟質 ・ 硬質

厚さ(※1.5mm ・)
高さ(※60mm ・ 75mm ・ 100mm)

・視覚障害者用
床タイル

・

寸法()
厚さ()

・接合部の処理 (ビニル床シート張り)
(※熱溶接工法 ・)

施工箇所(・便所 ・)

接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 8. 2)

下地の種類は図示による

種類

種別、寸法(mm)等

・織じゅうたん

・A種 ・ B種 ・ C種
・ルーフバイル ・ カットバイル

色柄 (※模様のない無地 ・)

・タフテッドカーペット

※全面接着
・グリッパーパー

・ルーフバイル
・カットバイル

パイル長さ
(・)

・ニットルーフバイルカーペット

・ラバー付 ・ ラバー無

厚さ(・)

・タイルカーペット

※1種
・2種

※ルーフバイル
・カットバイル

寸法(※500角 ・)
厚さ(※6.5 ・)

・帯電防止(3kV以下)

タイルカーペットの敷き方 (※6. 9. 3による ・ 図示による)

見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による

グリッパーパー工法の下敷き材(※反毛フェルト第2種第2号、呼び厚さ8mm)

下地の種類は図示による

接着材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 9. 3)

床仕上げ

床材

表面仕上げ

・弾性ウレタン樹脂系

※平滑 ・ 防滑 ・ つや消し

・薄膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・エポキシ樹脂系

・厚膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・樹脂モルタル(・ 平滑 ・ 防滑)

・厚膜型塗床材

・エポキシ樹脂系

平滑

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (6. 10. 2)

品名

工法

厚さ×幅×長さ(mm)

・フローリングプロック1等

・接着

・

・フローリングボード1等

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・

・複合フローリング

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・A種 ・ B種 ・ C種
・

・単層フローリング

・特殊張り

・t18

樹種(・ ・) (※地域材 ・)

・複合フローリングの防湿処理

・下張り材料：
(・ 合板(〒12mm) ・ パーティクルボード(〒15mm) ・ 図示による)

・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)

・塗装の塗り替え 下地調整 (※図示による ・)
塗装 (※図示による ・)

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 11. 2) (6. 11. 5)

種類： ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6. 12節)
・ D種(・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

15

カーペット敷き

種類

種別、寸法(mm)等

・織じゅうたん

・A種 ・ B種 ・ C種
・ルーフバイル ・ カットバイル

色柄 (※模様のない無地 ・)

・タフテッドカーペット

※全面接着
・グリッパーパー

・ルーフバイル
・カットバイル

パイル長さ
(・)

・ニットルーフバイルカーペット

・ラバー付 ・ ラバー無

厚さ(・)

・タイルカーペット

※1種
・2種

※ルーフバイル
・カットバイル

寸法(※500角 ・)
厚さ(※6.5 ・)

・帯電防止(3kV以下)

タイルカーペットの敷き方 (※6. 9. 3による ・ 図示による)

見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による

グリッパーパー工法の下敷き材(※反毛フェルト第2種第2号、呼び厚さ8mm)

下地の種類は図示による

接着材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 9. 3)

床仕上げ

床材

表面仕上げ

・弾性ウレタン樹脂系

※平滑 ・ 防滑 ・ つや消し

・薄膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・エポキシ樹脂系

・厚膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・樹脂モルタル(・ 平滑 ・ 防滑)

・厚膜型塗床材

・エポキシ樹脂系

平滑

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (6. 10. 2)

品名

工法

厚さ×幅×長さ(mm)

・フローリングプロック1等

・接着

・

・フローリングボード1等

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・

・複合フローリング

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・A種 ・ B種 ・ C種
・

・単層フローリング

・特殊張り

・t18

樹種(・ ・) (※地域材 ・)

・複合フローリングの防湿処理

・下張り材料：
(・ 合板(〒12mm) ・ パーティクルボード(〒15mm) ・ 図示による)

・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)

・塗装の塗り替え 下地調整 (※図示による ・)
塗装 (※図示による ・)

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 11. 2) (6. 11. 5)

種類： ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6. 12節)
・ D種(・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

16

合成樹脂塗床

床仕上げ

床材

表面仕上げ

・弾性ウレタン樹脂系

※平滑 ・ 防滑 ・ つや消し

・薄膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・エポキシ樹脂系

・厚膜流しのべ(・ 平滑 ・ 防滑)
・樹脂モルタル(・ 平滑 ・ 防滑)

・厚膜型塗床材

・エポキシ樹脂系

平滑

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (6. 10. 2)

品名

工法

厚さ×幅×長さ(mm)

・フローリングプロック1等

・接着

・

・フローリングボード1等

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・

・複合フローリング

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・A種 ・ B種 ・ C種
・

・単層フローリング

・特殊張り

・t18

樹種(・ ・) (※地域材 ・)

・複合フローリングの防湿処理

・下張り材料：
(・ 合板(〒12mm) ・ パーティクルボード(〒15mm) ・ 図示による)

・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)

・塗装の塗り替え 下地調整 (※図示による ・)
塗装 (※図示による ・)

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 11. 2) (6. 11. 5)

種類： ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6. 12節)
・ D種(・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

17

フローリング張り

品名

工法

厚さ×幅×長さ(mm)

・フローリングプロック1等

・接着

・

・フローリングボード1等

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・

・複合フローリング

・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
・接着(直張り)

・A種 ・ B種 ・ C種
・

・単層フローリング

・特殊張り

・t18

樹種(・ ・) (※地域材 ・)

・複合フローリングの防湿処理

・下張り材料：
(・ 合板(〒12mm) ・ パーティクルボード(〒15mm) ・ 図示による)

・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)

・塗装の塗り替え 下地調整 (※図示による ・)
塗装 (※図示による ・)

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 11. 2) (6. 11. 5)

種類： ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6. 12節)
・ D種(・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

18

畳敷き

種類： ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6. 12節)
・ D種(・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

19

せっこうボード、その他ボード及び合板張り

種類(記号)

種別

壁

厚さ(mm)

備考

せっこうボード
(G B-R)

・9.5
○12.5 ・15
○3.5
・12.5 ・15

(準不燃)
(不燃)

化粧せっこうボード
(G B-D)

・トラバーチン模様
・455×910 ・910×910

・9.5
・12.5

(準不燃)
(不燃)

強化せっこうボード
(G B-F)

・9.5
・15

(不燃)

シージングせっこうボード(G B-S)

・9.5
○12.5 ・15

(準不燃)
(不燃)

ロックウール化粧
吸音板(D R)

○普通
・立体模様

○9.0 ○12.0
・12.0 ・15

(不燃)
(不燃)

フレキシブル板(F)

・6 ・

けい酸カルシウム板

・普通(※0.8F K)
○化粧(着色) ・穴あけ

○6 ・

木毛セメント板

※難燃 ・ 断熱

・20 ・25

合板

種類

樹種(加工方法)

厚さ(mm)

処理

・普通合板

・

・

・防虫

○天然木化粧合板

・

○4.0

・防虫

・特殊加工化粧合板

・

・

・防虫

MDF、パーティクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6. 13. 2)

合板の張付け(・A種 ※B種)

合板の表面性能() 接着の程度()

せっこうボードの目地処理(・継目処理・突付け・目透かし)

継目処理のエッジの種類(・テーパエッジ ・ベベルエッジ)

突付け、目透かしのエッジの種類(・ベベルエッジ ・スクエアエッジ)

吸音材の材質、工法(JIS A6301)

材種

品質・規格

厚さ(mm)

・ロックウール吸音材

※ロックウール吸音ボード1号

・25 ・50 ・40

・グラスウール吸音材

※グラスウール吸音ボード2号
・32K ・48K ・60K

・25 ・50

工法

・ガラスクロス(JIS R3414EP)にて縁紙張りしたもの、インサルピン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め
・ガラスクロス(JIS R3414EP)にて片面張りしたもの、インサルピン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め

壁紙の品質はJIS A6921による (6. 14節)

種類

程度

施工箇所

防火性能

※塩化ビニル樹脂系

※普及品

・壁
○天井

・不燃 ・ 準不燃
※難燃

モルタル、プラスター面下地調整 (・ RA種 ※RB種 ・ RC種) (表7. 2. 4)

コンクリート面下地調整 (・ RA種 ※RB種 ・ RC種) (表7. 2. 5)

せっこうボード面下地調整 (・ RA種 ※RB種 ・ RC種) (表7. 2. 7)

壁紙、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による。また、壁紙はTVOCが、ISM、SV規格又は同等の基準のものとする。 (6. 14. 2)

材料(○現場調合材料 ・ 既調合材料())

コンクリート素地面の処理(・ 目荒し工法 ・)

既製目地材の適用(・)

既製目地材の形状(・) (6. 15. 3)

床の目地の目地割り(※目地割2㎡程度、
コンクリート面(DP) ※A種 ・ B種
最大目地間隔3m程度 ・)

床の目地の種類(※押し目地 ・) (6. 15. 6)

11章 外壁改修工事 03 タイル改修を参照すること。

20

吸音材

21

壁紙張り

22

モルタル塗り

23

セラミック
タイル張り

24

断熱・防露
改修工事

打込工法及び後張り工法の断熱材 JIS A9521による。
(9. 3. 2) (9. 3. 4)

材質

種類

厚さ(mm)

施工箇所

・ヒート法ポリスチレンフォーム 断熱材

・特号
・1号

○押出法ポリスチレンフォーム 断熱材

・3種a
○3種b

30

便所

・硬質ウレタンフォーム断熱材 A種

・1種
・2種1号

・フェノールフォーム断熱材

・1種1号
・2種1号

フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (9. 3. 2) (9. 3. 4)

現場発泡工法の断熱材は JIS A9526による (9. 3. 3)

吹付け硬質ウレタンフォーム
種類 (※A種1 ・) 難燃性を有するものとする

吹付け厚さ(mm)

火気及び有害ガス等に対する安全衛生対策は、関係法令等に
従い十分に行う。

その他の断熱材

材質

厚さ(mm)

施工箇所

規格

○グラスウール

・16K品(・ 高性能)
○24K品(・ 高性能)

200

音楽室

JIS A9504
JIS A9521

・

ホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による

14章 塗装改修工事

01

材料

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (7. 1. 3)

防火材料の指定 (・ あり ・ なし ・ 図示による)

工程、使用量については、各メーカー仕様による。

02

下地調整

(7. 2節)

下地面等

種 別

木部

不透明塗料塗り
上記以外

※RB種 ・ RA種 ・ RC種
・ RA種 ・ RB種 ・ RC種

鉄鋼面

※RB種 ・ RA種 ・ RC種

亜鉛めっき鋼面

※RB種 ・ RA種 ・ RC種

モルタル面、せっこうプラスター面

※RB種 ・ RA種 ・ RC種

コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面

※RB種 ・ RA種 ・ RC種

コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面

・ RA種 ・ RB種 ・ RC種

せっこうボード面、その他ボード面

※RB種 ・ RA種 ・ RC種

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲
(・ 図示による ・)

新規に塗装を行う場合に適用 (7. 3節)

下地面等

種 別

木部

不透明塗料塗り
上記以外

※A種 ・ B種
※B種 ・ A種

鉄鋼面

D P
上記以外

※B種 ・ A種 ・ C種
※C種 ・ A種 ・ B種

亜鉛めっき鋼面

※A種 ・ B種

モルタル面、せっこうプラスター面

※B種 ・ A種

コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面

※B種 ・ A種

コンクリート面(DP)

※A種 ・ B種

押出成形セメント板面

※B種 ・ A種

せっこうボード面、
その他ボード面

目地：継目処理工法
目地：上記以外

※A種 ・ B種
※B種 ・ A種

03

素地ごしらえ

04

錆止め塗料
塗り

鉄鋼面 (7. 4節)

下地面等

錆止め塗料の種類

工程の種類

見掛け部分
(新規塗装)

S O P
D P
E P-G

A種
1回目 C種
2, 3回目 D種

※A種 ・ B種 ・ C種
※A種 ・ B種 ・ C種
※B種(水系)・A種

見隠れ部分
(新規塗装)

S O P
D P
E P-G

A種
1回目 C種
2, 3回目 D種

※B種 ・ A種 ・ C種
※A種 ・ B種 ・ C種
※B種(水系)・A種

塗替え

S O P
D P
E P-G

A種
1回目 C種
2, 3回目 D種

※C種 ・ A種 ・ B種
※A種 (R A)
※B種 (R B) ・ C種 (R C)
※B種(水系)・A種

亜鉛メッキ鋼面 (7. 4節)

下地面等

錆止め塗料の種類

工程の種類

鋼製建具等
(新規塗装)

S O P
D P
E P-G

※A種 ・ B種
B種
C種

※A種 ・ B種 ・ C種
※A種 ・ B種 ・ C種
※B種・A種 ・ C種

上記以外
(新規塗装)

S O P
D P
E P-G

※A種 ・ B種
B種
C種

※B種 ・ A種 ・ C種
(表7. 4. 6)
※B種 (R B) ・ A種 (R A) ・ B種 (R A)
(表7. 4. 6)
・ C種 (R B)
・ A種 (R A) ・ B種 (R A)

05

塗装

(7. 4節)

塗 装

塗り種別

S O P

木部 (新規塗装)
屋外
屋内
木部 (塗替え)
鉄鋼面
亜鉛めっき鋼面 (新規塗装)
亜鉛めっき鋼面
(塗替え)

※A種 ・ B種 ・ C種
※B種 ・ A種 ・ C種
※B種 ・ A種 ・ C種
※B種 ・ A種 ・ C種
※A種 ・ B種 ・ C種
※A種 ・ A種 ・ C種

D P

鉄鋼面
亜鉛めっき鋼面
コンクリート面、押出成形セメント板面

(表7. 8. 1)
(表7. 8. 2)
・ A-1種 ・ A-2種
・ B-1種 ・ B-2種
・ C-1種 ・ C-2種

E P-G

コンクリート面、モルタル面等
木部 (新規塗装)
木部 (塗替え)
鉄鋼面 (屋内)
亜鉛めっき鋼面

※B種 ・ A種 ・ C種
※A種 ・ B種 ・ C種
※B種 ・ A種 ・ C種
※B種 ・ A種 ・ C種
※A種 ・ B種

E P

※B種 ・ A種 ・ C種

DP 上塗り塗料の等級 鉄鋼面(○1級 ・ 2級 ・ 3級)
亜鉛めっき鋼面(・ 1級 ・ 2級 ・ 3級)
EP-G, EP 塗替えの場合のしき止め(・)

・水性ウレタンクリアー塗り (標18. 11節準用)

使用部位

塗り種別

素地ごしらえ

・床

※4回塗り サンダー掛け5回

※B種 ・ A種

・一般木部

※A種 ・ B種

※B種 ・ A種

塗料等のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

・その他塗装
・図示による

素地ごしらえ、下地調整、錆止め塗料塗り等は公共建築工事標準仕様書又は公共建築改修工事標準仕様書を参照すること。
塗料は施工前に施工計画書により監督員の承諾を得ること。
工程、塗布量については各メーカー仕様による。

(一 財) 札幌市住宅管理公社

令和 年 月 日

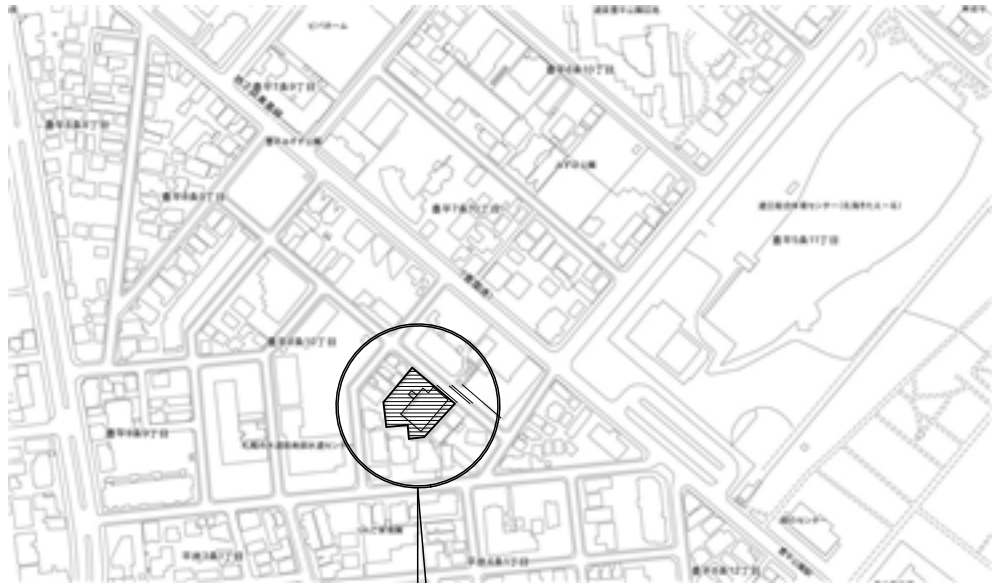
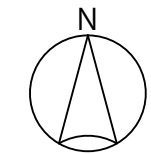
工事名
図面名

豊平若者活動センター外部改修ほか工事
特記仕様書 7

縮尺

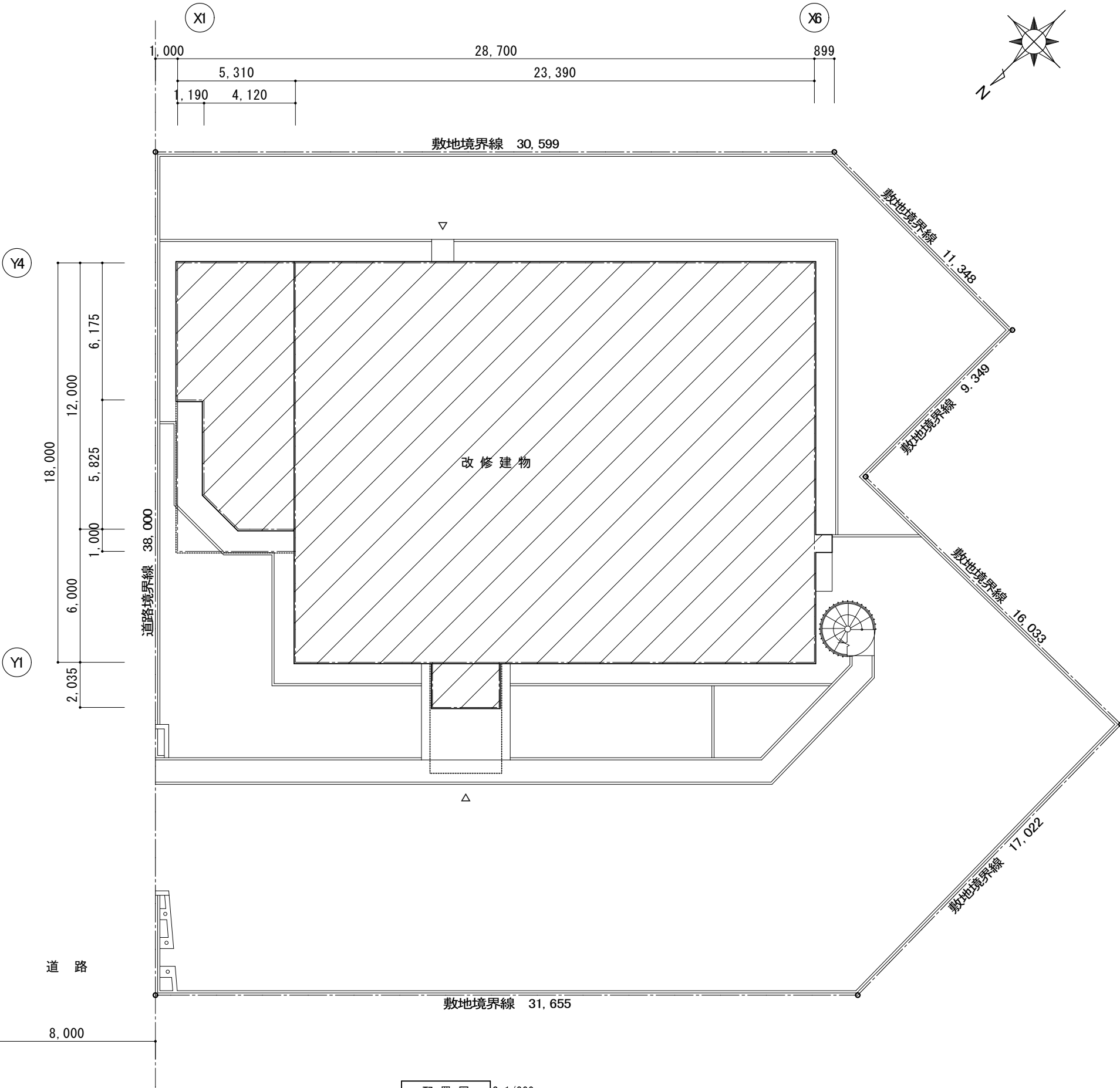
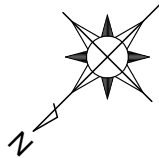
図 番
A-07

15章 ユニット及びその他工事		10 煙突ライニング		煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ℃ (標20.2.13) ・図示による		16章 環境配慮改修工事		④ 石綿含有成形板等の除去		(1) 石綿成形板等の仕様																																		
01 フリーアクセスフロア	分類 (標20.2.2)	11 ブラインド		ブラインドの形式 (標20.2.14)		① 石綿含有建材の除去工事共通事項		石綿含有建材除去後の仕上げ工事については 図示による (9.1.1) ② 石綿粉じん濃度測定 測定方法、時期 (図示による) (9.1.1) 調査部位 (※図示による) (ケ所)		<table><tr><th colspan="2">石綿含有成形板等の仕様</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td colspan="2">・石綿セメント板</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・化粧石綿セメント板</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・吸音穴あき石綿セメント板</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">③ 石こうボード</td><td>9.0</td></tr><tr><td colspan="2">④ 岩綿吸音板</td><td>9.0</td></tr><tr><td colspan="2">⑤ セメント床シート</td><td>2.5</td></tr><tr><td colspan="2">⑥ セメント床タイル</td><td>2.0</td></tr><tr><td colspan="2">⑦ 吹付タイル</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">⑧ 外壁下地調整材</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">⑨ 煙突ライニング材 (ニューカースタック)</td><td>50</td></tr></table>		石綿含有成形板等の仕様		厚さ(mm)	・石綿セメント板			・化粧石綿セメント板			・吸音穴あき石綿セメント板			③ 石こうボード		9.0	④ 岩綿吸音板		9.0	⑤ セメント床シート		2.5	⑥ セメント床タイル		2.0	⑦ 吹付タイル			⑧ 外壁下地調整材			⑨ 煙突ライニング材 (ニューカースタック)		50
	石綿含有成形板等の仕様		厚さ(mm)																																									
・石綿セメント板																																												
・化粧石綿セメント板																																												
・吸音穴あき石綿セメント板																																												
③ 石こうボード		9.0																																										
④ 岩綿吸音板		9.0																																										
⑤ セメント床シート		2.5																																										
⑥ セメント床タイル		2.0																																										
⑦ 吹付タイル																																												
⑧ 外壁下地調整材																																												
⑨ 煙突ライニング材 (ニューカースタック)		50																																										
02 可動間仕切	JIS A6512による (標20.2.3) 構造形式による種類 構造 (・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式) 空間の仕切り方 (・密閉形 ・開放形 ・自立形) 構成材の種類 構成部品 (・一般パネル ・出入口パネル ・出入口以外の開口部付パネル) パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による 主たる構成基材 スタッド (・アルミニウム合金 ・スチール) パネル (・アルミニウム合金 ・スチール ・木質 ・ガラス ・樹脂 ・石こう) 遮音性 (・0 ・12 ・20 ・28 ・36) パネル表面仕上げ、寸法、形状は図示による。	12 ローラスクリーン		操作方式、幅、高さ、材種、品質等 ※図示による (標20.2.15)		02 石綿含有吹き付け材の除去		石綿含有成形板等の集積、運搬等 (9.1.5)		(2) 除去の工法 (9.1.5) (※湿潤化後除去 [原形のまま手ばらし] ・切断、破砕等)																																		
	03 移動間仕切	パネルの操作方法の種類 () (標20.2.4) パネルの表面材 材質 () 仕上げ () パネルの圧接装置の操作方法 () 遮音性能 () ハンガーレール取付け下地の補強 () あと施工アンカー 材質 () 寸法 ()	13 カーテンレール		カーテンレール レール及びブラケットの強さによる区分 (※10-90 ・10-60) 材種 (・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・アルミニウム合金の押出し成型材) 形状 (・C型 ・D型 ※角形)		③ 石綿含有保温材等の除去		(3) 除去物及び汚染物の処理 処理施設については、受入条件等を確認のうえ、事前に監督員と協議すること。		(4) 石綿含有成形板等の集積、運搬等 (9.1.5) (a)除去した石綿含有成形板等の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 (b)万一破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講ずる。 (c)除去した石綿含有成形板等を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。 また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 (d)石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。																																	
④ 既製トイレブース	パネル表面材 (⑤ メラミン樹脂系 ※ポリエステル樹脂系) (標20.2.5) パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による	14 木製家具		合板、ランバーコア、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。		02 石綿含有吹き付け材の除去		⑤ 石綿含有仕上塗材の除去		石綿含有仕上塗材の除去工法 (・図示による ⑥ 塗膜剥離工法 ・高圧水洗工法 ・サンダー工法) (9.1.6)																																		
05 階段滑止め	材種 (・ステンレス鋼(SUS304) ・アルミニウム合金) (標20.2.7) 形状 (・ビニルタイル又は合成ゴムタイル入り) (・内部 ・外部) 幅 (・40mm ・30mm ・35mm) 取付工法 (・接着材併用カーペット止め ※埋め込み ・)					02 石綿含有吹き付け材の除去		06 外断熱改修工事		材料 (9.2.2) <table><tr><th></th><th>種類</th></tr><tr><td>断熱材</td><td>種類 (・) 厚さ (・)</td></tr><tr><td>外装材</td><td>種類 (・) 防火性能 (・)</td></tr><tr><td>鋼材</td><td>下地金物：</td></tr></table>			種類	断熱材	種類 (・) 厚さ (・)	外装材	種類 (・) 防火性能 (・)	鋼材	下地金物：																									
	種類																																											
断熱材	種類 (・) 厚さ (・)																																											
外装材	種類 (・) 防火性能 (・)																																											
鋼材	下地金物：																																											
06 床目地棒	材種 (※ステンレス ・) (標20.2.8) アンカー (※間隔500mm程度 ・)					02 石綿含有吹き付け材の除去				既存外壁の処置 ※「11章外壁改修工事」による (9.2.4) 工法 () 通気層： ・有 (厚さ) ・無 外装材の取付方法 (※あと施工アンカー等 ・) 外装材の施工 () 断熱材の施工： 不陸等の下地調整 () (※断熱材製造所の仕様による ・) ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする																																		
07 黒板及びホワイトボード	黒板(JIS S6007) 種類 (※焼付け ・) (標20.2.9) 色 (※緑 ・) ホワイトボード(JIS S6052) 種類 (※ほうろう白板 ・)					02 石綿含有吹き付け材の除去																																						
08 鏡	厚さ (※5mm ・ mm) (標20.2.10)					02 石綿含有吹き付け材の除去																																						
09 表示	表示板の種類 (標20.2.11) <table><tr><th>種類</th><th>材質・寸法 厚さ(mm)</th><th>印刷等の種類</th><th>色彩</th><th>書体</th><th>取付形式</th></tr><tr><td>・室名札</td><td>・アクリル板(4.0)</td><td>※シルクスクリーン印刷</td><td>・透明</td><td>・太ゴシック</td><td>・正面型 ・側面型</td></tr><tr><td>・ピクト グラフ</td><td>・アクリル板 ()</td><td>※シルクスクリーン印刷</td><td>・透明</td><td>・太ゴシック</td><td>・正面型 ・側面型</td></tr><tr><td>・案内板</td><td>・アクリル板 ()</td><td>※シルクスクリーン印刷</td><td>・透明</td><td>・太ゴシック</td><td>・正面型 ・側面型</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ガラススクリーン対人衝突防止表示の材質、形状、寸法 (※図示による ・) ・非常用進入口等の表示 (※消防法適合市販品 ・)	種類	材質・寸法 厚さ(mm)	印刷等の種類	色彩	書体	取付形式	・室名札	・アクリル板(4.0)	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型	・ピクト グラフ	・アクリル板 ()	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型	・案内板	・アクリル板 ()	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型							10 煙突ライニング		煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ℃ (標20.2.13) ・図示による		16章 環境配慮改修工事		④ 石綿含有成形板等の除去		(1) 石綿成形板等の仕様				
種類	材質・寸法 厚さ(mm)	印刷等の種類	色彩	書体	取付形式																																							
・室名札	・アクリル板(4.0)	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																																							
・ピクト グラフ	・アクリル板 ()	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																																							
・案内板	・アクリル板 ()	※シルクスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																																							
(一財)札幌市住宅管理公社		令和 年 月 日				工事名		豊平若者活動センター外部改修ほか工事				図 番 A-08																																
						図面名		特記仕様書 8																																				
								縮尺																																				



工事場所：札幌市豊平区豊平8条1丁目
(豊平若者活動センター)

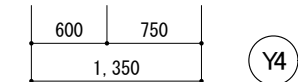
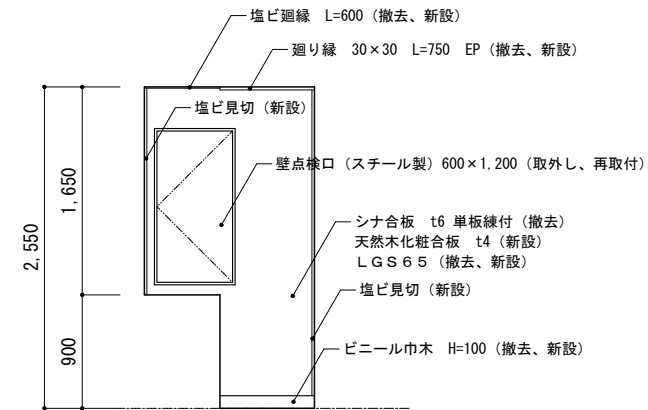
付近見取図



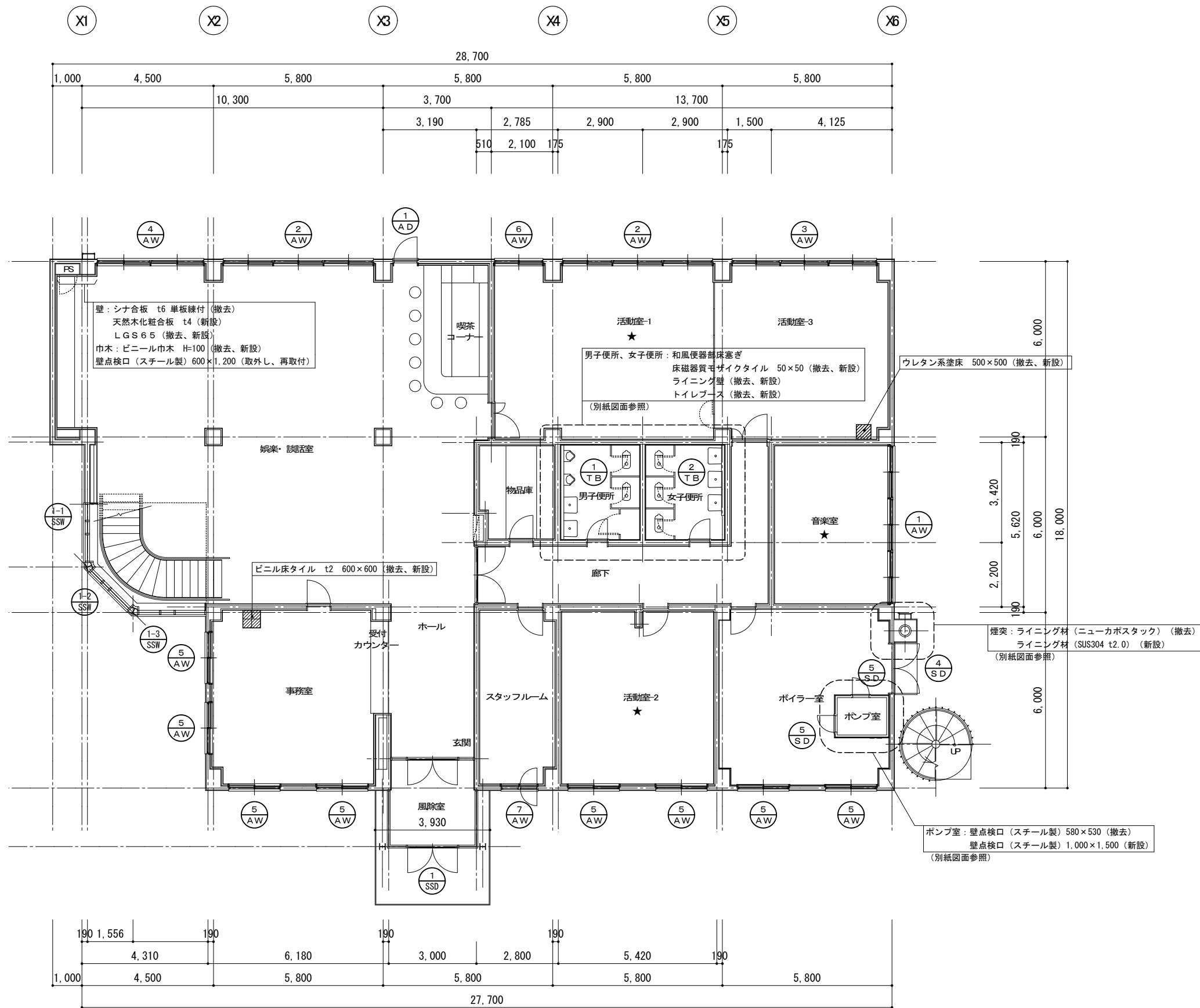
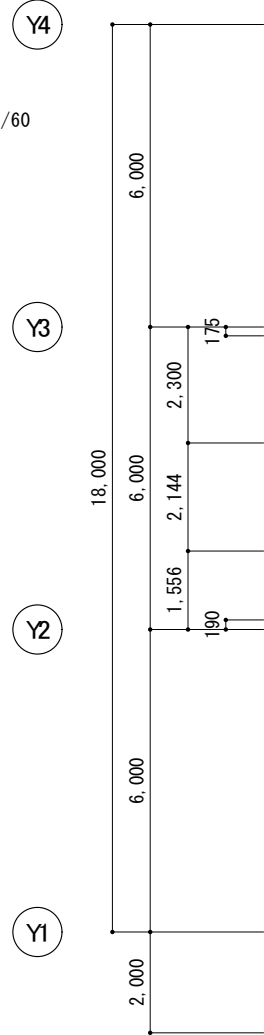
配置図

S=1/200

有限会社 佐久間設計		管理建築士：佐久間 清尚		特記		工事名称		図面名称		設計年月日		図面番号	
Architects Design Office		一級建築士大臣登録168408号				豊平若者活動センター外部改修ほか工事		付近見取図、配置図				A-09	
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号		概図	製図	検図	製図			縮尺	1/200	区分			
札幌市北区北24条西4丁目1番5号													

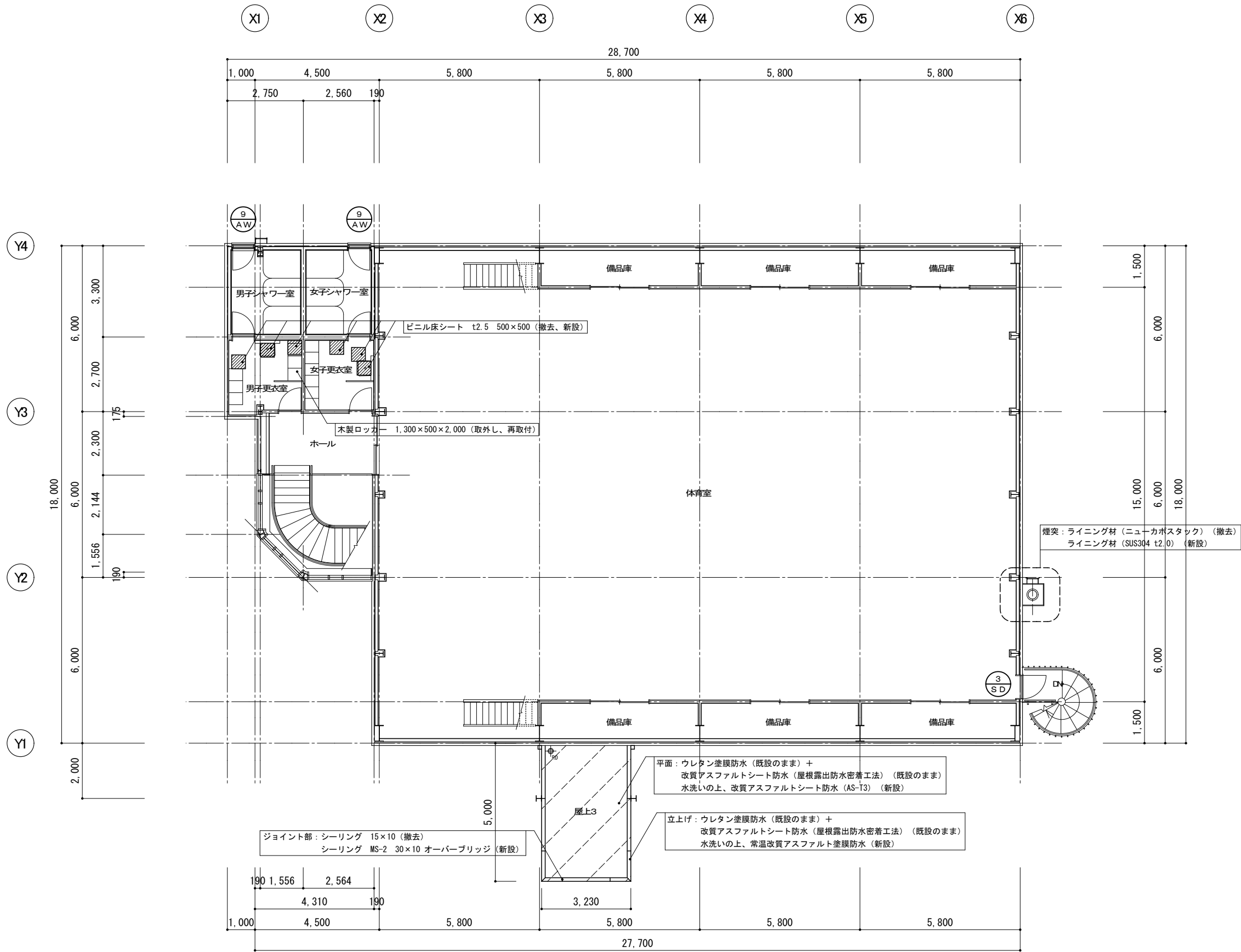


P S 壁改修展開図 S=1/60



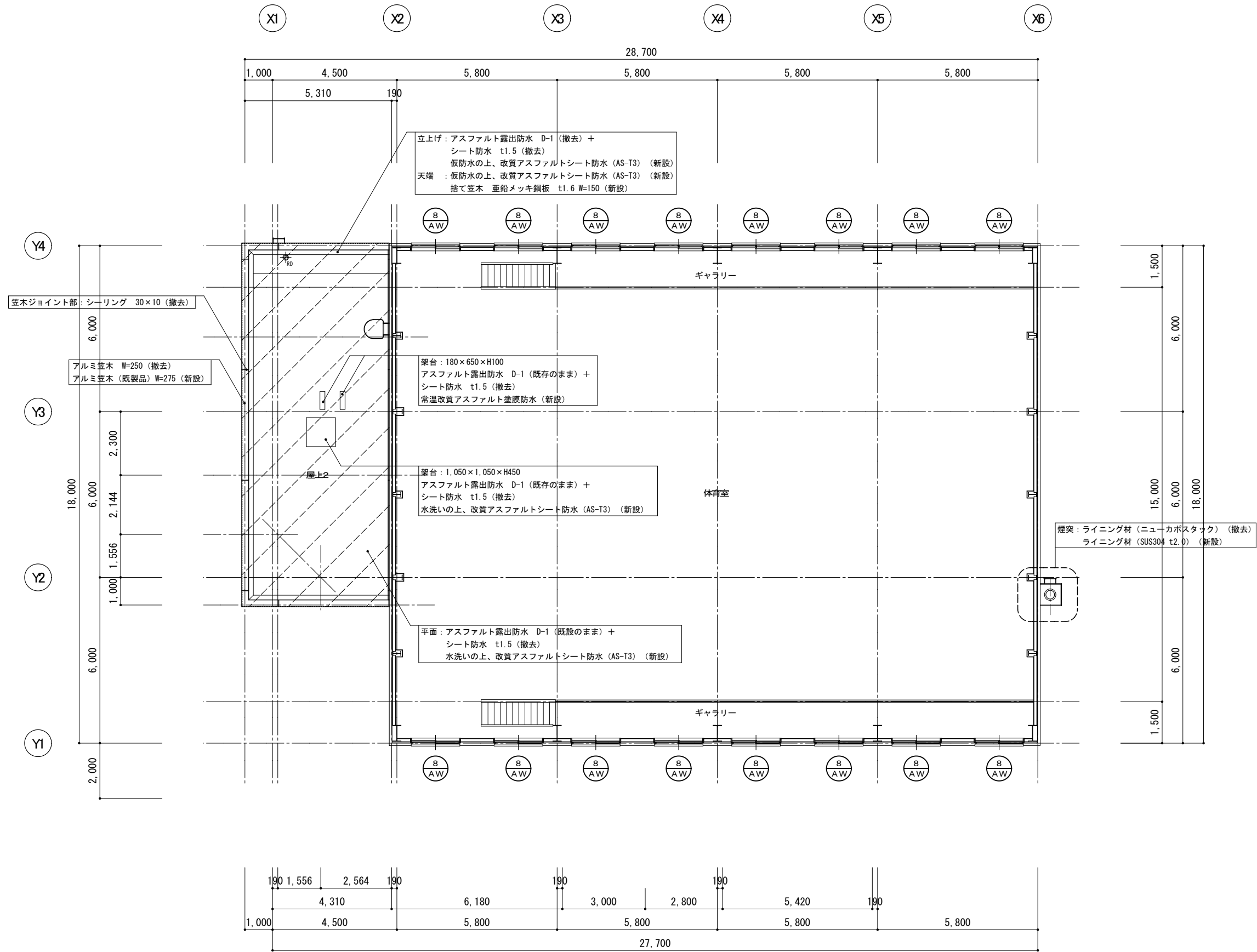
- 【 特記事項 】
- 改修工事中は備品等に汚れが付かないようビニールシート等により養生をおこなうこと。
 - 施設内の養生清掃等常時行うこと。
 - ★ は揮発性有機化合物の室内濃度測定箇所（測定は工事施工前、施工後各1回）
 - ビニール床タイルはアスベスト含有とする。

有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号	管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記
---	----------------------------------	--	--	--	--



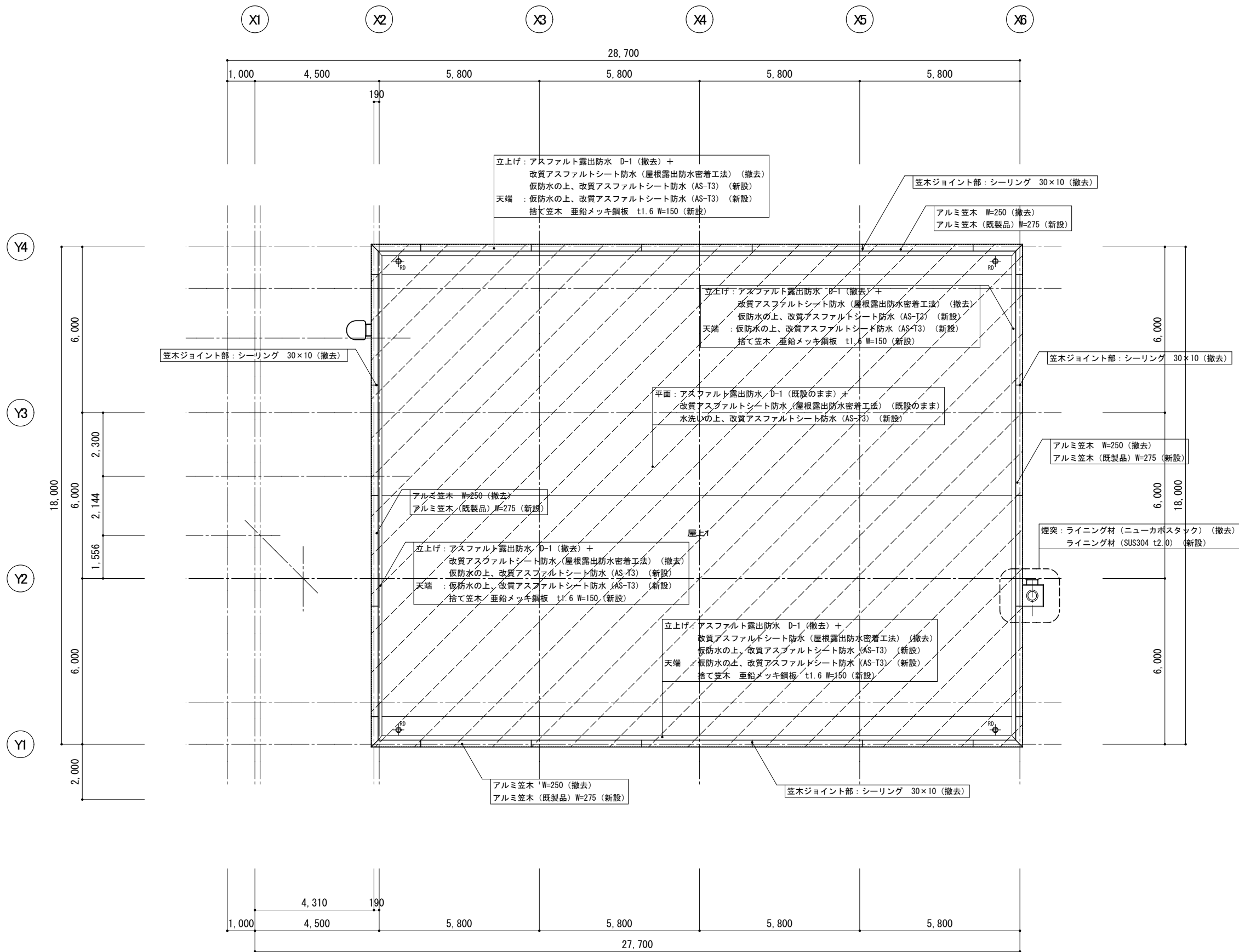
※ R Dは金属製ルーフトレンキャップ（撤去）、
改修用ルーフトレン（新設）とする。
※ 既存ルーフトレン洗浄を第一樹までおこなう。
※ ビニル床シートはアスベスト含有とする。

有限会社 佐久間設計				管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記				工事名称				図面名称				設計年月日				図面番号			
Architects Design Office				一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号								豊平若者活動センター外部改修ほか工事				2階平面図								A-11			
札幌市北区北24条西4丁目1番5号																縮尺 1/150				区分							



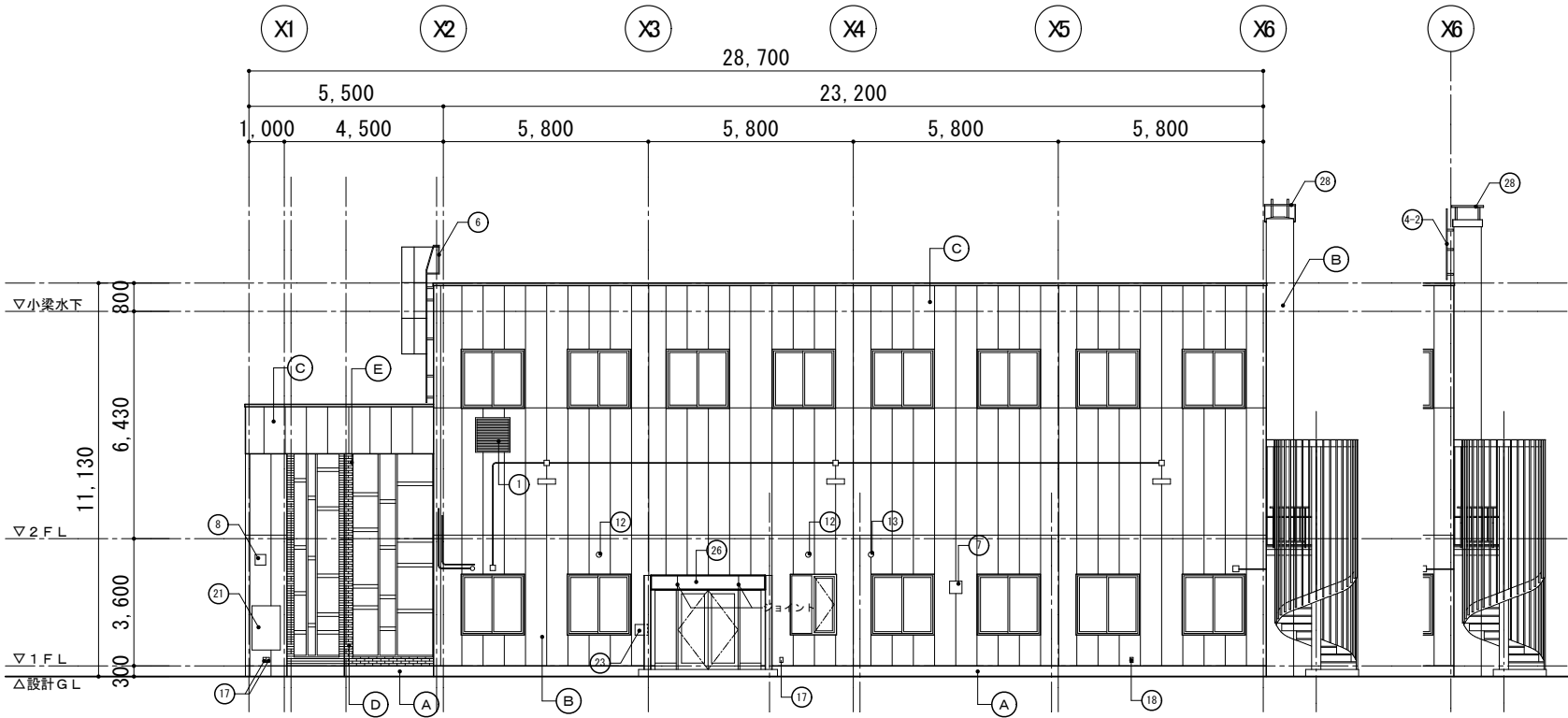
※ R Dは金属製ルーフドレンキャップ（撤去）、
改修用ルーフドレン（新設）とする。
※ 既存ルーフドレン洗浄を第一棟までおこなう。
※ 仮防水はポリマーセメント系とする。

有限会社 佐久間設計				管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記				工事名称				図面名称				設計年月日				図面番号			
Architects Design Office				一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号								豊平若者活動センター外部改修ほか工事				ギャラリー、屋上2平面図								A-12			
札幌市北区北24条西4丁目1番5号				概図				製図								縮尺				1/150				区分			

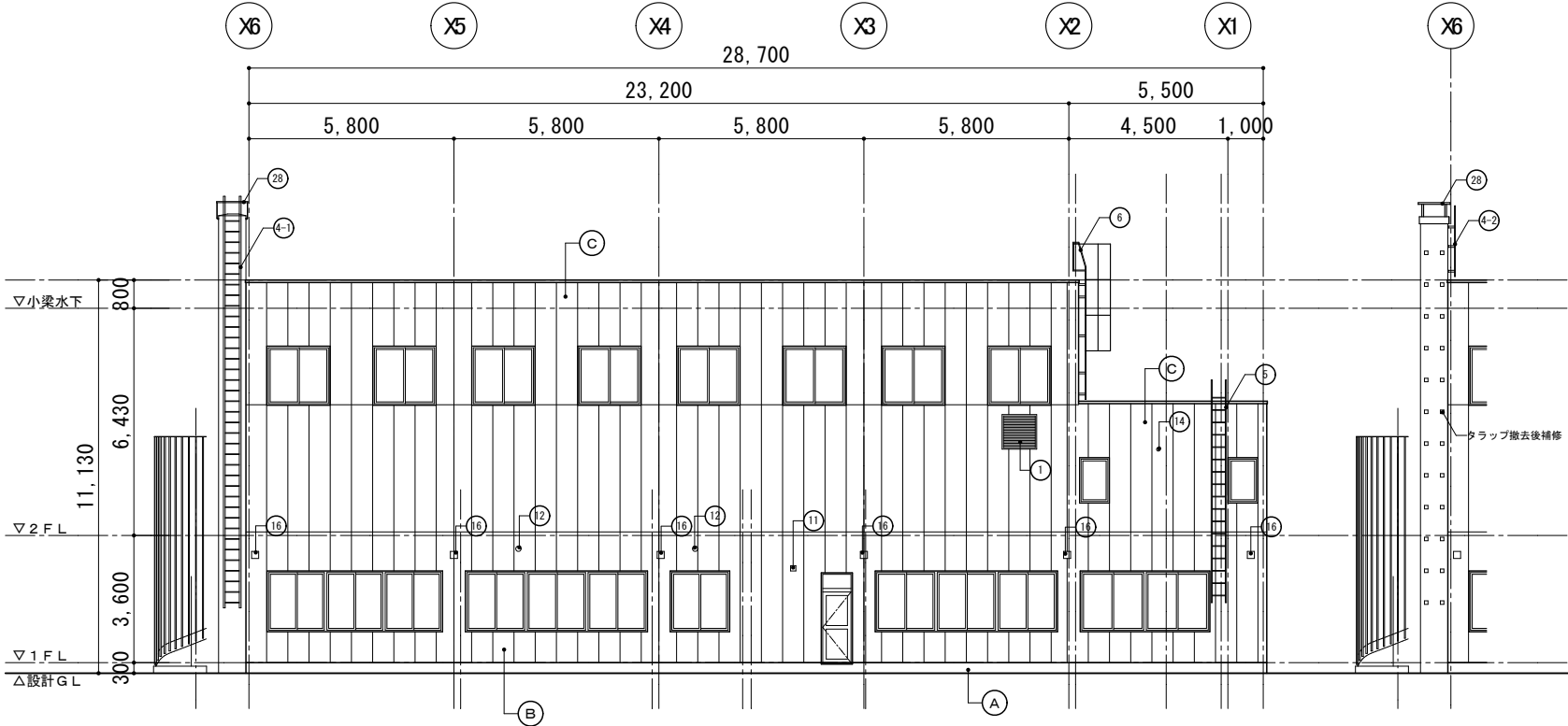


※ R Dは金属製ルーフドレンキャップ（撤去）、
改修用ルーフドレン（新設）とする。
※ 既存ルーフドレン洗浄を第一樹までおこなう。
※ 仮防水はポリマーセメント系とする。

有限会社 佐久間設計				管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号		特記		工事名称		図面名称		設計年月日	図面番号
Architects Design Office				一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号				豊平若者活動センター外部改修ほか工事		屋上1平面図			A-13
札幌市北区北24条西4丁目1番5号				概図	製図	検図	製図			縮尺 1/150		区分	



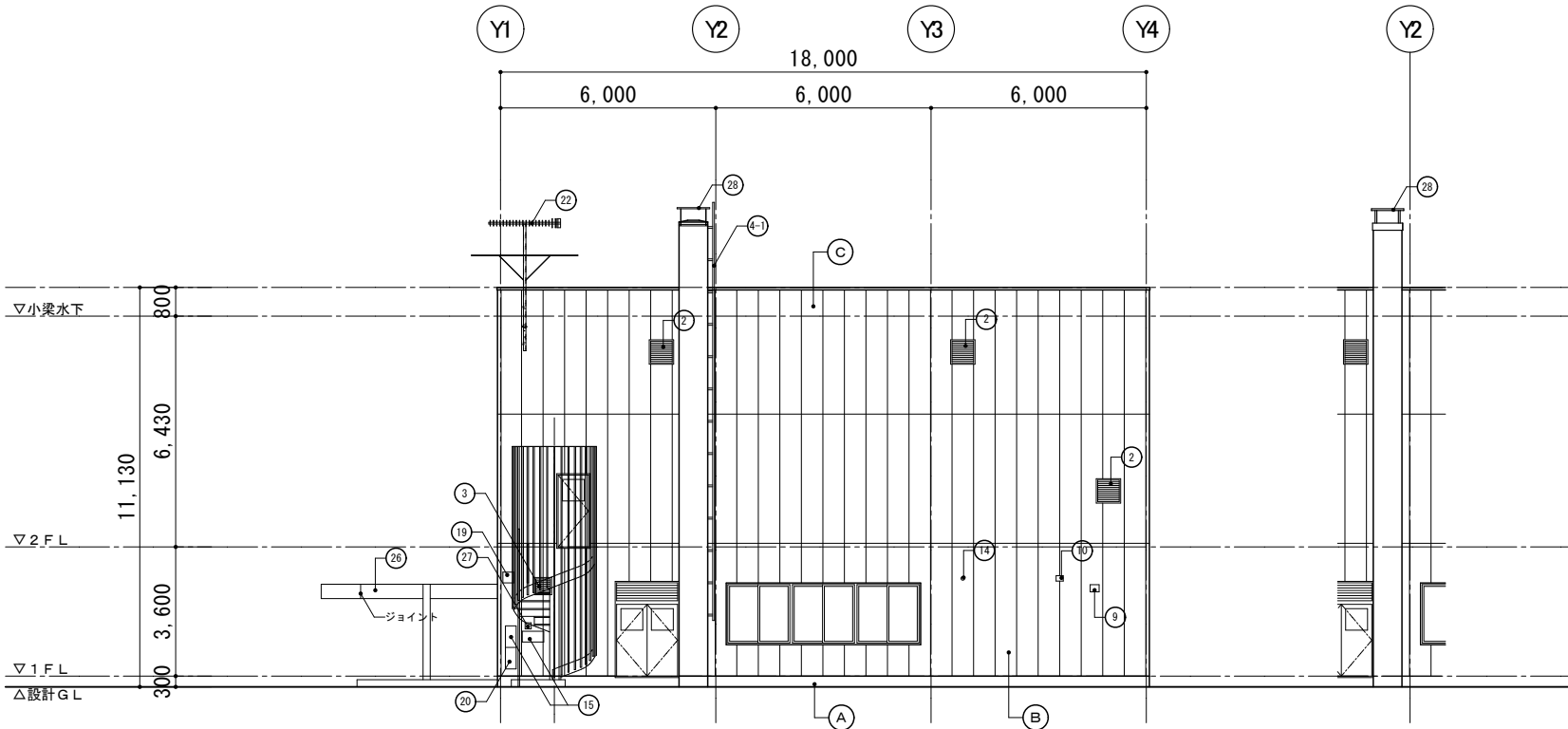
北面立面図 (改修後)



南面立面図 (改修後)

記号	名 称	改 修 前	改 修 後
A	基礎廻り	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま)	モルタル刷毛引 t25 (GL-100まで) 割れ、欠損、浮き等補修、水洗いの上、樹脂モルタル塗り t=2 (新設)
B	外 壁	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、防水形複層塗材E (新設)
C		ALC板 t100 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去) 縦目地: シーリング 10×10 (撤去) 横目地: シーリング 10×10 (撤去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、複層塗材E (新設) 縦目地: シーリング MS-2 10×10 (新設) 横目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
D		モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル (二丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 横目地: シーリング 10×10 (撤去)	補修部: モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル (二丁掛け) (新設) 横目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
E		ALC板 t100 (既存のまま) モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル (二丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去)	補修部: モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル (二丁掛け) (新設)
1		アルミ製ガラリ 900×900 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
2		アルミ製ガラリ 600×600 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
3		アルミ製ガラリ 400×400 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
4-1		スチール製タラップ W400 L11,650 (撤去)	—
4-2		—	SUS製タラップ W400 L2,000 (新設)
5		アルミ製タラップ W350 L6,300 (既存のまま)	—
6		SUS製タラップ W400 L4,500 (既存のまま) 安全ガード (取外し)	安全ガード (再取付)
7		SUS製フード 350×350 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
8		SUS製フード 300×300 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
9		SUS製フード 200×250 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	SUS製防虫網 200×250 (新設) 周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
10		SUS製フード 150×200 (撤去) 周囲リシーリング 15×10 (既存のまま)	SUS製フード 250×300 防虫網付き (新設) 周囲シーリング MS-2 5×5/2 (新設)
11		SUS製フード 150×150 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
12		セルフフード φ150 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
13		セルフフード φ120 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
14		セルフフード φ100 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
15		プレート 300×600 (取外し)	プレート 300×600 (再取付)
16		プレート 200×200 (取外し)	プレート 200×200 (再取付)
17		プレート 90×140 (取外し)	プレート 90×140 (再取付)
18		プレート 50×80 (取外し)	プレート 50×80 (再取付)
19		SUS製ボックス 300×300×250 (既存のまま)	—
20		SUS製ボックス 300×600×300 (既存のまま)	—
21		配電盤 800×1,250 (既存のまま)	—
22		TVアンテナ (既存のまま)	—
23		SUS製郵便受け360×300×180 (既存のまま)	—
24		館名板 350×4,000 (既存のまま)	—
25		館名文字 (スチール製) 900×900 4文字 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) 周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
26		ステンレスプレート t2.0 H=400 (既存のまま) ジョイント部シーリング 15×10 (撤去)	ジョイント部シーリング MS-2 30×10 オーバーブリッジ (新設)
27		スチール製ボックス 200×200×200 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
28		陣笠 SUS 900×900 (撤去)	陣笠 SUS 900×900 (新設)

- ※ 塗膜除去は塗膜はく離剤工法とし、環境対応型とする。
- ※ 防水形複層塗材Eの下地調整はセメント系 C-2 コテ塗りとする。
- ※ 吹付タイルはアクリル系弾性吹付材
- ※ 複層塗材Eの下地調整はセメント系 C-1 コテ塗りとする。
- ※ 吹付タイル及び下地調整材はアスベスト含有とする。
- ※ ALC板の欠損補修はALC補修材を使用する。
- ※ タラップ撤去後補修は100×100とし、鉄部防錆処理の上、ポリマーセメント系樹脂モルタル充填とする。



西面立面図



東面立面図

記号	名 称	改修前	改修後
A	基礎廻り	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま)	モルタル刷毛引 t25 (GL-100まで) 割れ、欠損、浮き等補修、水洗いの上、樹脂モルタル塗り t=2 (新設)
B	外 壁	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、防水形複層塗材E (新設)
C		ALC板 t100 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去) 縦目地: シーリング 10×10 (撤去) 横目地: シーリング 10×10 (撤去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、複層塗材E (新設) 縦目地: シーリング MS-2 10×10 (新設) 横目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
D		モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル (二丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 横目地: シーリング 10×10 (撤去)	補修部: モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル (二丁掛け) (新設) 横目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
E		ALC板 t100 (既存のまま) モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル (二丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去)	補修部: モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル (二丁掛け) (新設)
1		アルミ製ガラリ 900×900 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
2		アルミ製ガラリ 600×600 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
3		アルミ製ガラリ 400×400 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
4-1		スチール製タラップ W400 L11,650 (撤去)	—
4-2			S U S 製タラップ W400 L2,000 (新設)
5		アルミ製タラップ W350 L6,300 (既存のまま)	—
6		S U S 製タラップ W400 L4,500 (既存のまま) 安全ガード (取外し)	安全ガード (再取付)
7		S U S 製フード 350×350 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
8		S U S 製フード 300×300 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
9		S U S 製フード 200×250 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	S U S 製防虫網 200×250 (新設) 周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
10		S U S 製フード 150×200 (撤去) 周囲リシーリング 15×10 (既存のまま)	S U S 製フード 250×300 防虫網付き (新設) 周囲シーリング MS-2 5×5/2 (新設)
11		S U S 製フード 150×150 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
12		セルフフード φ150 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
13		セルフフード φ120 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
14		セルフフード φ100 (既存のまま) 周囲リシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
15		プレート 300×600 (取外し)	プレート 300×600 (再取付)
16		プレート 200×200 (取外し)	プレート 200×200 (再取付)
17		プレート 90×140 (取外し)	プレート 90×140 (再取付)
18		プレート 50×80 (取外し)	プレート 50×80 (再取付)
19		S U S 製ボックス 300×300×250 (既存のまま)	—
20		S U S 製ボックス 300×600×300 (既存のまま)	—
21		配電盤 800×1,250 (既存のまま)	—
22		T V アンテナ (既存のまま)	—
23		S U S 製郵便受け360×300×180 (既存のまま)	—
24		館名板 350×4,000 (既存のまま)	—
25		館名文字 (スチール製) 900×900 4文字 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、D P 塗り (新設) 周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
26		ステンレスプレート t2.0 H=400 (既存のまま) ジョイント部シーリング 15×10 (撤去)	ジョイント部シーリング MS-2 30×10 オーバーブリッジ (新設)
27		スチール製ボックス 200×200×200 (既存のまま)	下地調整の上、D P 塗り (新設)
28		陣笠 SUS 900×900 (撤去)	陣笠 SUS 900×900 (新設)

※ 塗膜除去は塗膜はく離剤工法とし、環境対応型とする。

※ 防水形複層塗材Eの下地調整はセメント系 C-2 コテ塗りとする。

※ 吹付タイルはアクリル系弾性吹付材

※ 複層塗材Eの下地調整はセメント系 C-1 コテ塗りとする。

※ 吹付タイル及び下地調整材はアスベスト含有とする。

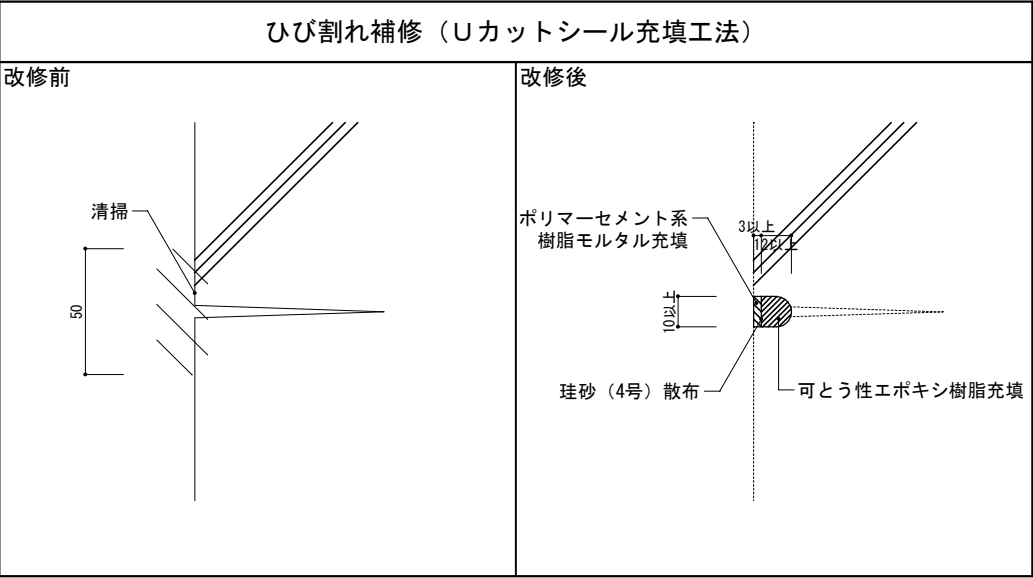
※ ALC板の欠損補修はALC補修材を使用する。

※ タラップ撤去後補修は100×100とし、鉄部防錆処理の上、ポリマーセメント系樹脂モルタル充填とする。

有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号		管理建築士: 佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号 報酬 製図 検図 製図	特記 _____ _____ _____	工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	図面名称 立面図 2 縮尺 1/200	設計年月日 区分	図面番号 A-15
---	--	--	-------------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------	--------------

■ 外壁調査集計表 ■

	記 号	現 況	改 修 概 要	北 面	西 面	南 面	東 面	合 計
躯体 R C 部 + 煙突部	 m	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	9.0 m	23.9 m	11.3 m	4.3 m	48.5 m
	 m	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	4.0 m	1.4 m	2.3 m	— m	7.7 m
	 m	ひび割れ (幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	— m	— m	— m	— m	— m
	 a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	8 か所	4 か所	6 か所	3 か所	21 か所
	 b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	2 か所	— か所	3 か所
	 c	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	— か所	— か所	1 か所
	 d	欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	10 か所	— か所	11 か所
	 A	鉄筋等爆裂 (100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	— か所	— か所	— か所	— か所
	 B	鉄筋等爆裂 (100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	— か所	— か所	— か所	— か所
	 C	鉄筋等爆裂 (100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	— か所	— か所	— か所	— か所
	 D	鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	— か所	— か所	— か所	— か所
	 m	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	1.35 m	2.56 m	2.89 m	0.32 m	7.12 m
	 枚	タイル割れ (二丁掛)	タイル張替	12 枚	— 枚	— 枚	11 枚	23 枚
	 枚	タイル浮き (二丁掛)	タイル張替	3 枚	— 枚	— 枚	2 枚	5 枚
A L C 板部	 m	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	1.5 m	4.0 m	1.9 m	— m	7.4 m
	 m	ひび割れ (幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	— m	— m	— m	— m	— m
	 a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上、A L C 補修材充填	4 か所	5 か所	7 か所	1 か所	17 か所
	 b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上、A L C 補修材充填	2 か所	— か所	3 か所	— か所	5 か所
	 c	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上、A L C 補修材充填	— か所	1 か所	— か所	— か所	1 か所
	 d	欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上、A L C 補修材充填	— か所	— か所	— か所	— か所	— か所



■ 外壁改修工事の作業方法

- 1 適用範囲 ※ 樹脂系塗材の除去にかかわる一連の作業は非飛散性7ｽﾍﾞｽﾄの除去作業として取り扱う。
仕上塗材外壁のうち、次の外壁について適用する。
仕上塗材及び下地調整材に7ｽﾍﾞｽﾄが含有の場合
- 2 事前調査（共通）
（1） 石綿含有建材の事前調査は、発注者より提供する7ｽﾍﾞｽﾄ調査票及び既存設計図書等の文書により確認するとともに目視でも実施すること。
なお、調査の結果、石綿の含有が判別できない建材が新たに発見された場合は、監督員へ報告し対応について協議すること。
（2） 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者など一定の要件を満たすものが行うこと。
（3） 事前調査の結果は、記録として工事完了から3年間保存するとともに、周辺住民及び作業者に見やすい場所に掲示すること。また、発注者へは別途記録をもとに作成した書面をもって報告すること。
（4） 事前調査等の結果は、あらかじめ電子届又は紙面により都道府県等（大防法）及び労働基準監督署（石綿則）に届け出ること。
- 3 仮設作業室（上塗材含有；隔離養生なし）
（1） 足場組立時の壁つなぎの穿孔作業は以下の手順を参考に行うこと。
① 必要最小限の面積に環境配慮型塗膜剥離剤（ｼﾞｬｯｸﾛｯﾂ、ﾌｧｸｼﾝの含有していないもの）を塗布し、湿潤化する。
② 湿潤状態を維持しながらｽｸﾚｰｰ等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
③ 除去面に飛散防止剤を塗布後、高性能真空掃除機を併用して粉じんの飛散を抑制しながら穿孔する。
（2） 仮設作業室は、足場側面に養生シートを張ること。
（3） 床面はﾌﾞﾗｽﾏｯｸﾞｼｰﾄを敷き、天井面にはﾌﾞﾗｽﾏｯｸﾞｼｰﾄを張り、必要に応じて床面及び天井面からの立上げ、立下げも検討すること。
（4） 出入口には、保護衣等に付着した粉じんを外部に持ち出さない措置を講じる。（高性能真空掃除機を用いて保護衣等の表面も吸引すること。）
- 4 保護具（足場壁つなぎ穿孔、仕上塗材の剥離時及び外壁補修による軽微なはずり作業時）
（1）呼吸用保護具： 取換え式防じんマスク、または使い捨て防じんマスクとする。
（2）保護衣： 保護衣または専用の作業服
- 5 外壁改修方法（上塗材含有、下地調整材有）
5－1 樹脂系塗材の除去
（1）環境配慮型塗膜剥離剤（ｼﾞｬｯｸﾛｯﾂ、ﾌｧｸｼﾝの含有していないもの）を塗布し、湿潤化する。
（2）湿潤状態を維持しながらｽｸﾚｰｰ等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
（3） 除去後は目視により樹脂系塗材の取り残しがないか十分に確認すること。なお、取り残しの確認は、石綿含有建材調査者又は当該作業に係る石綿作業主任者など一定の知識を有する者が行うこと。
5－2 樹脂系塗材除去後の外壁補修
（1） 散水し湿潤化後、電動ﾋﾞｯｸ及び電動ﾄﾞﾘﾙによる電動工具作業のほかは、ｹﾝﾊﾞｰｰ、ｸﾞﾙｰｰ等による手ばらしとする。
（2） 作業中も湿潤状態を保ち、できるだけ粉じんの発生を抑えるよう丁寧に作業する。
- 6 仮設作業室撤去の手順（隔離養生なし）
（1） 作業室内を高性能真空掃除機を用いて清掃する。
（2） 仮設作業室を撤去する。
- 7 産業廃棄物処理（樹脂系塗材）（共通）
樹脂系塗材
（1） 非飛散性7ｽﾍﾞｽﾄとして処分する
（2） 参考受入先： 角山開発(株)、(株)ｱｰﾙﾌｫｰﾄﾞｰ、ﾆﾎ環境(株)
- 8 届出等（共通）
7ｽﾍﾞｽﾄ含有の仕上塗材及び下地調整材は届け出対象外の建材であるが、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策ﾏﾆｭｱﾙ(最新版)に基づいた、石綿飛散防止措置を講じる等、適切な作業計画を作成のうえ施工を行うこと。

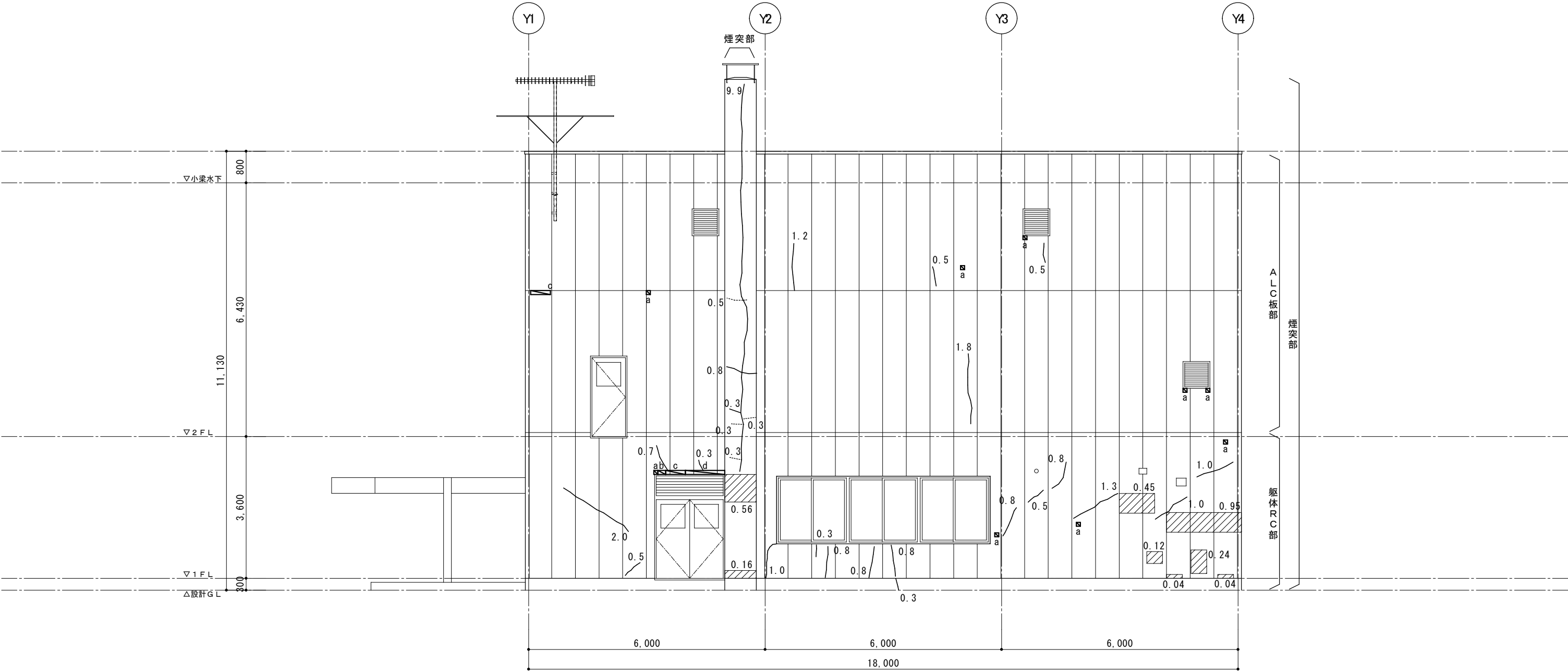
- 外壁改修手順
- ① 指定する外壁面附属物、設備機器等の取外しを行う。
（取外しの際、7ｽﾍﾞｽﾄ含有のため、付着した既存塗膜等は水洗い等により除去し適正に廃棄物の処理又は再取付を行う）
- ② 既存外壁仕上塗材を塗膜剥離材工法（環境配慮型剥離剤）により全面撤去し、水洗いを行う。
- ③ 外壁・基礎等の劣化部を再調査し報告する。（施工数量調査）
- ④ 外壁・基礎（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上及びﾓﾙﾀﾙ塗仕上）の劣化部を指定する工法により改修する。
- ⑤ 外壁全面の下地調整を行い仕上の塗装を行う。
- ⑥ 指定する外壁面付属物、設備機器の再取付及び更新を行う。



北面立面図

	記号	現況	改修概要	記号	現況	改修概要
躯体RC部+煙突部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	A	鉄筋等腐蝕(100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				B	鉄筋等腐蝕(100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	C	鉄筋等腐蝕(100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替	D	鉄筋等腐蝕(100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

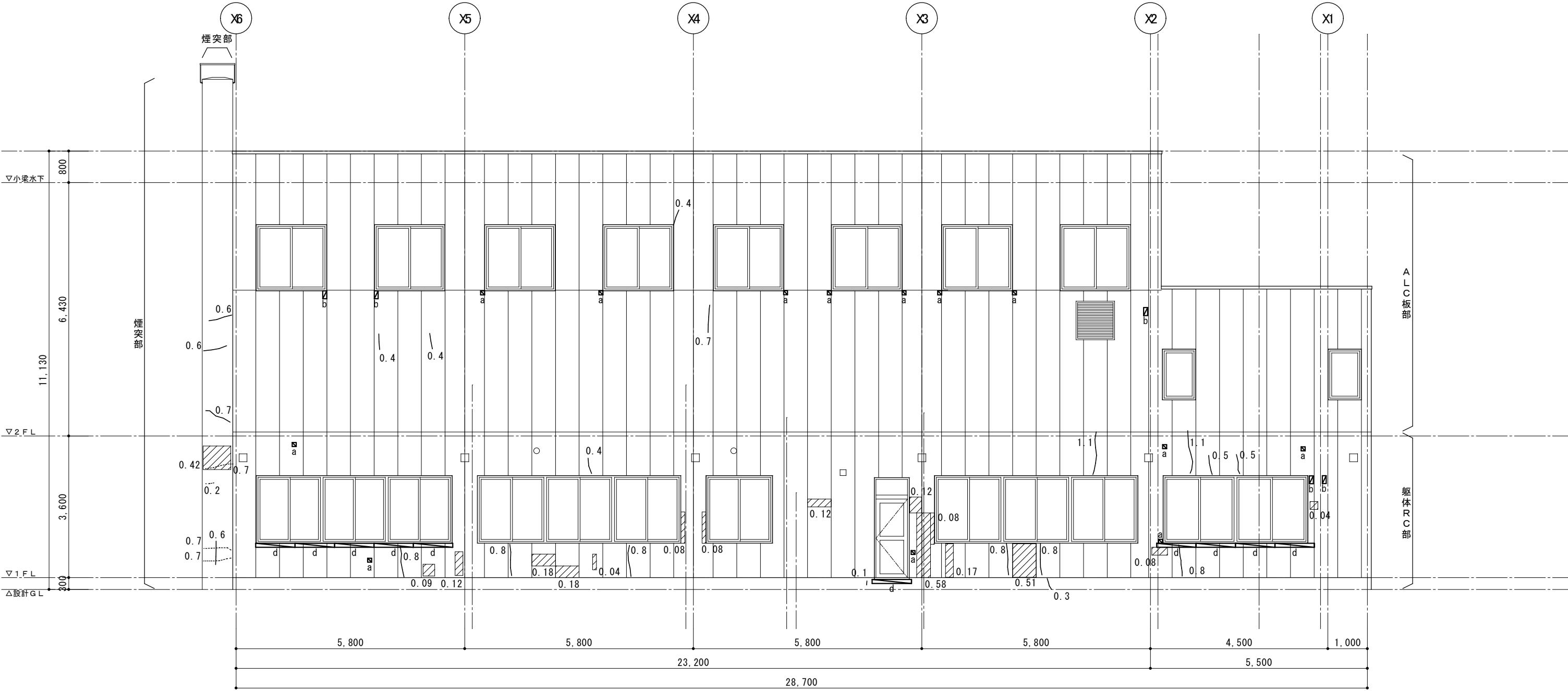
	記号	現況	改修概要
ALC板部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填



西面立面図

	記号	現況	改修概要	記号	現況	改修概要
躯体R/C部+煙突部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m²	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	A	鉄筋等腐裂(100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				B	鉄筋等腐裂(100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	C	鉄筋等腐裂(100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替	D	鉄筋等腐裂(100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

	記号	現況	改修概要
ALC板部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
	d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填



南面立面図

	記号	現況	改修概要	記号	現況	改修概要
躯体R.C.部+煙突部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	A	鉄筋等爆裂(100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	B	鉄筋等爆裂(100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替	C	鉄筋等爆裂(100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				D	鉄筋等爆裂(100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

	記号	現況	改修概要
A.L.C.板部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上、A.L.C.補修材充填
	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上、A.L.C.補修材充填
	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上、A.L.C.補修材充填
	d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上、A.L.C.補修材充填

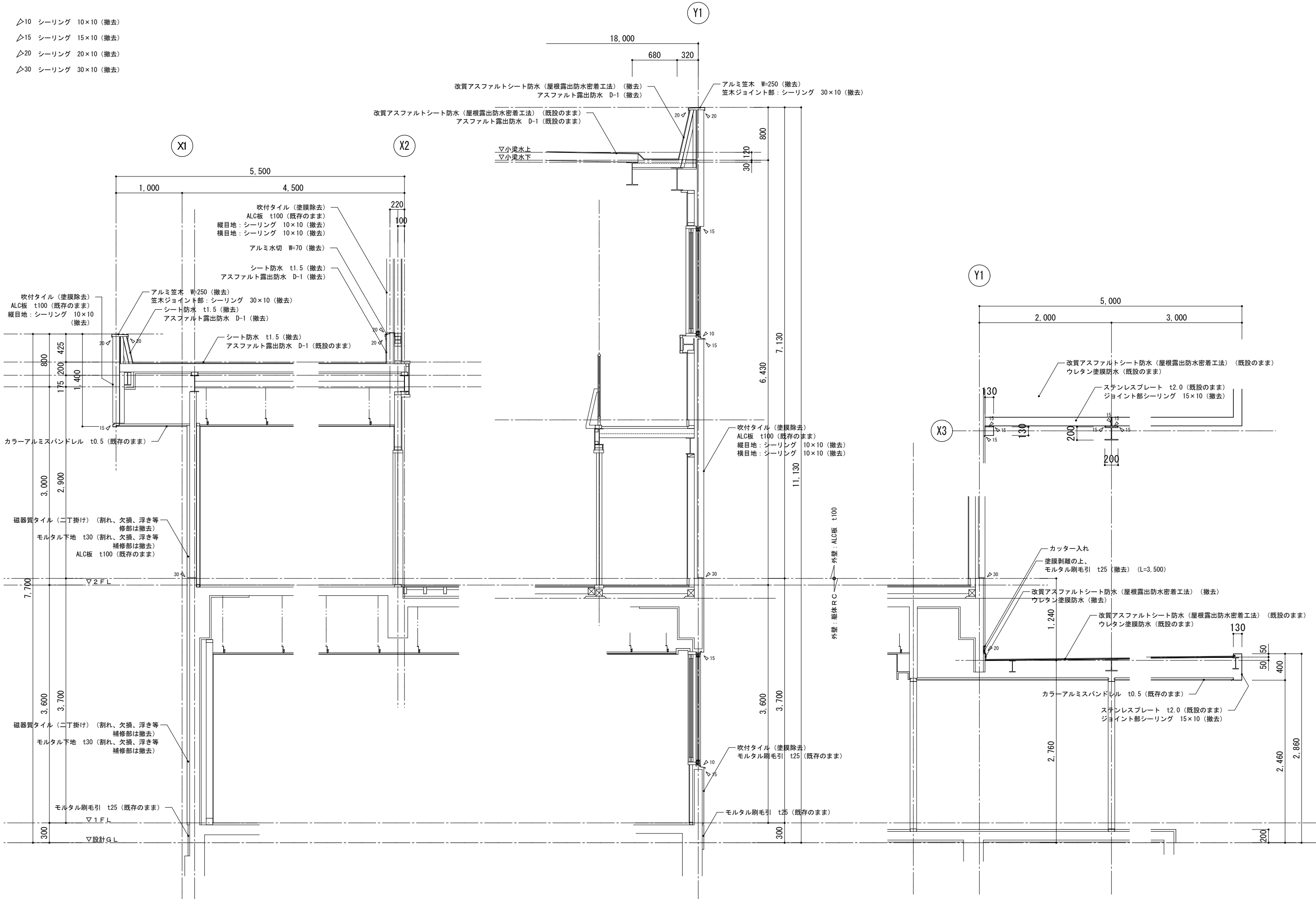


東面立面図

	記 号	現 況	改 修 概 要	記 号	現 況	改 修 概 要
躯体R C部 十煙突部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	m	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	A	鉄筋等腐裂(100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
				B	鉄筋等腐裂(100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	C	鉄筋等腐裂(100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替	D	鉄筋等腐裂(100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

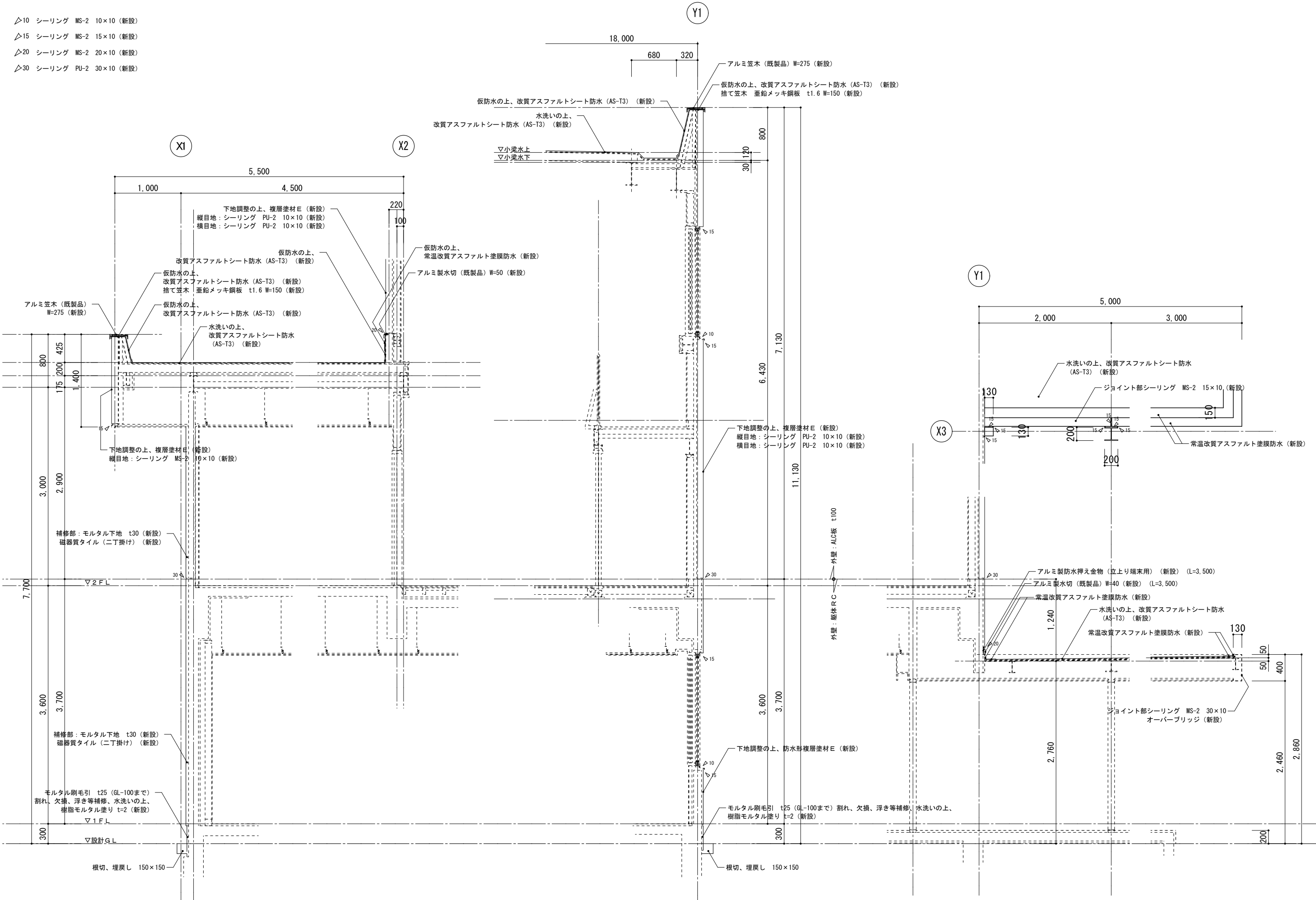
	記 号	現 況	改 修 概 要
A L C 板部	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
	a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上、A L C補修材充填
	b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上、A L C補修材充填
	c	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上、A L C補修材充填
	d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上、A L C補修材充填

- △10 シーリング 10×10 (撤去)
- △15 シーリング 15×10 (撤去)
- △20 シーリング 20×10 (撤去)
- △30 シーリング 30×10 (撤去)



有限会社 佐久間設計				管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記				工事名称				図面名称				設計年月日				図面番号			
Architects Design Office				一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号								豊平若者活動センター外部改修ほか工事				矩計図(改修前)								A-21			
札幌市北区北24条西4丁目1番5号																縮尺 1/50				区分							

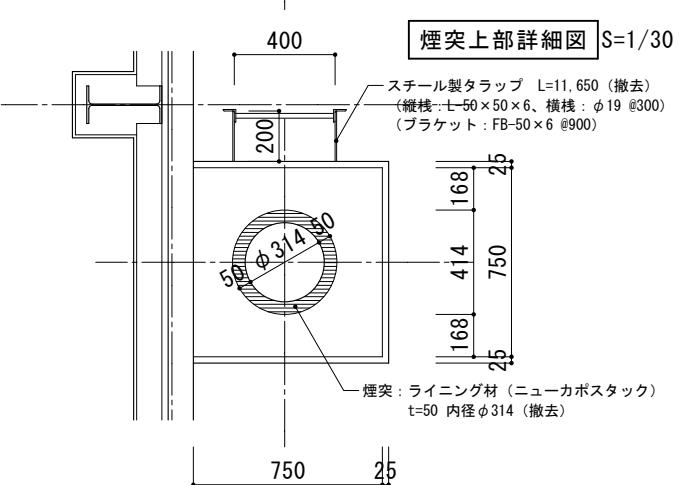
- △10 シーリング MS-2 10×10 (新設)
- △15 シーリング MS-2 15×10 (新設)
- △20 シーリング MS-2 20×10 (新設)
- △30 シーリング PU-2 30×10 (新設)



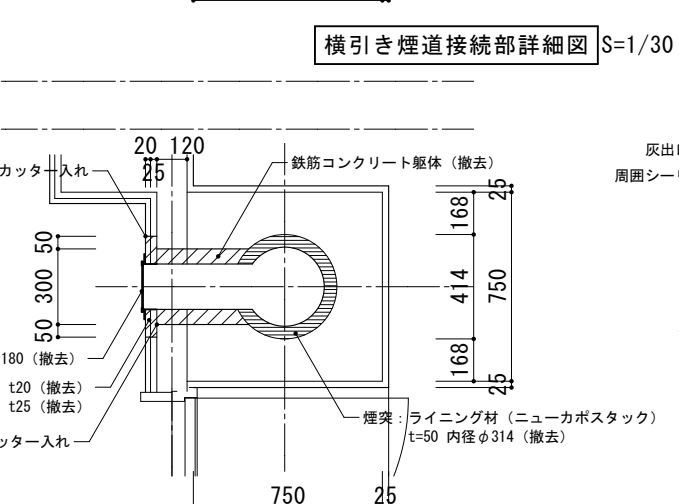
有限会社 佐久間設計				管理建築士: 佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記				工事名称				図面名称				図面年月日				図面番号			
Architects Design Office				一級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第5207号								豊平若者活動センター外部改修ほか工事				矩計図 (改修後)								A-22			
札幌市北区北24条西4丁目1番5号																縮尺 1/50				区分							

[illegible]

煙突詳細図 S=1/40

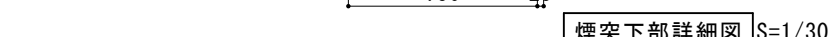


400 煙突上部詳細図 S=1/30



煙突下部詳細図 S=1/30

横引き煙道接続部詳細図 S=1/30



煙突下部詳細図 S=1/30

改修後

陣笠（新設）
（天板、笠木：SUS304 PL-
（支柱：SUS304 L=50×50
（あと施工アンカー：SUS

天端均し無収縮モルタル

周囲隙間：耐火キャスター
（頂部より1m

煙突：ライニング材（新設）
（SUS304 t2.0 内径

W=400 L=2,000（新設）
鋼棒：SUS304 φ22 #350

▽小梁水上

▽小梁水下

c = - - -

▽2 F.L.

周囲モルタル充填（新設）
横引き煙道（再取付）
（別途設備工事）

周囲モルタル充填（新設）
リング MS-2 15×10（新設）

無収縮モルタル塗り t30（新設）

砂 t100（新設）
砂利 t150（新設）
玉石 t150（新設）

▽1 F.L.

出口 230×380（新設）

▽設計G.L.

25 750×750 25

100

50 φ314 50

1,870

800

6,600

13,000

11,130

3,400

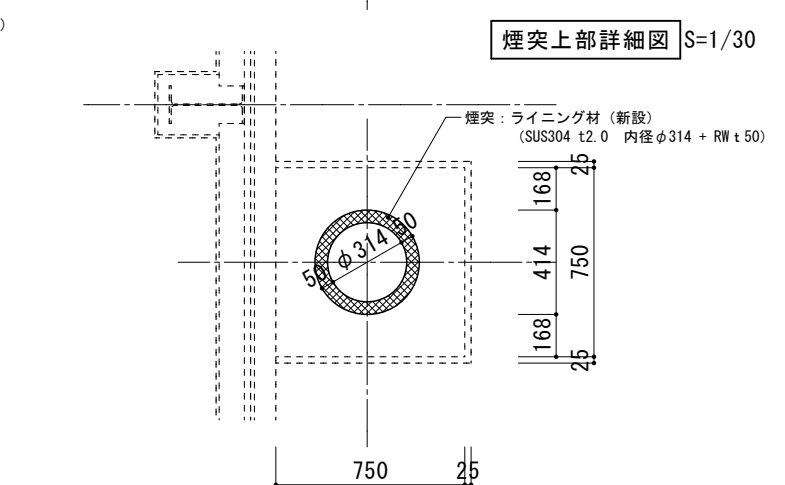
20 25

120 193

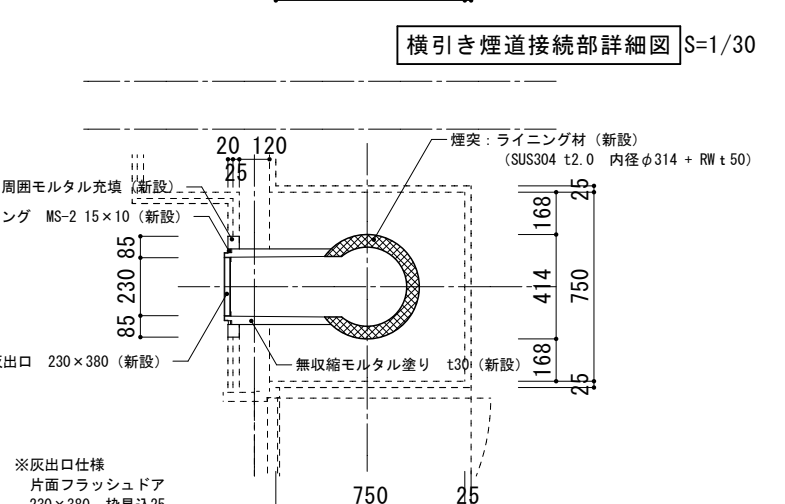
85 380 85

300

煙突詳細図 S=1/4

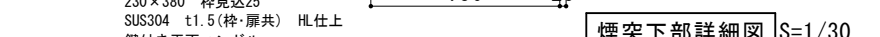


煙突上部詳細図 S=1/30



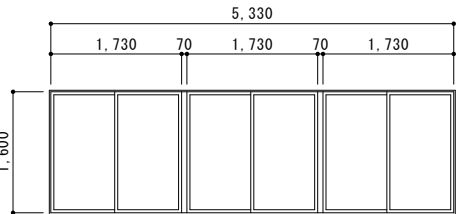
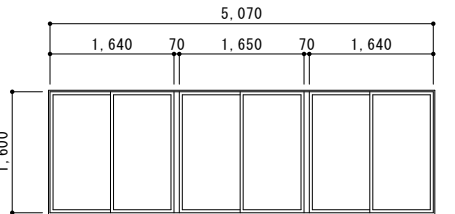
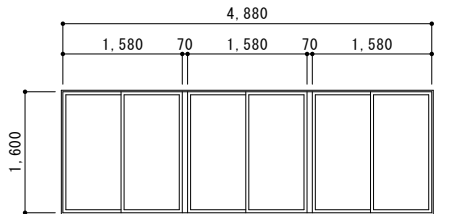
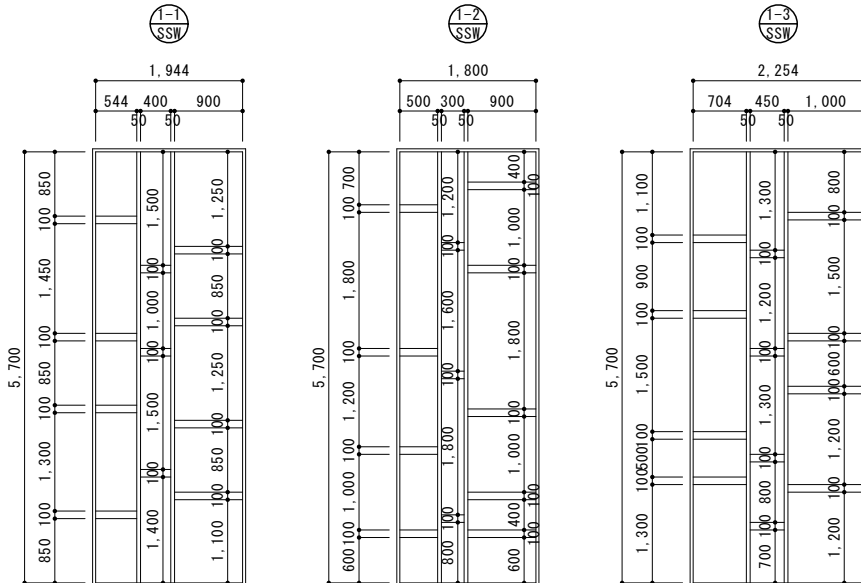
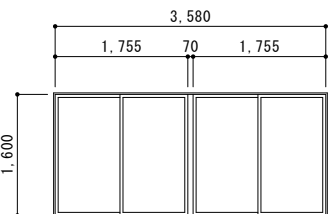
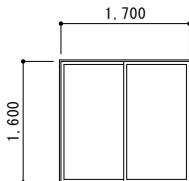
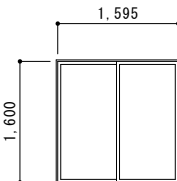
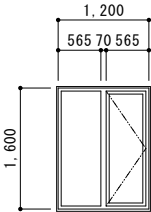
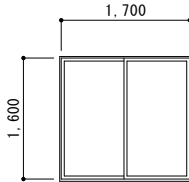
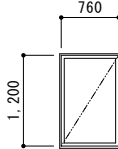
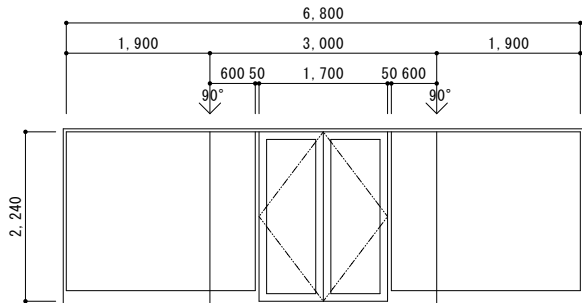
煙突下部詳細図 S=1/30

横引き煙道接続部詳細図 S=1/30

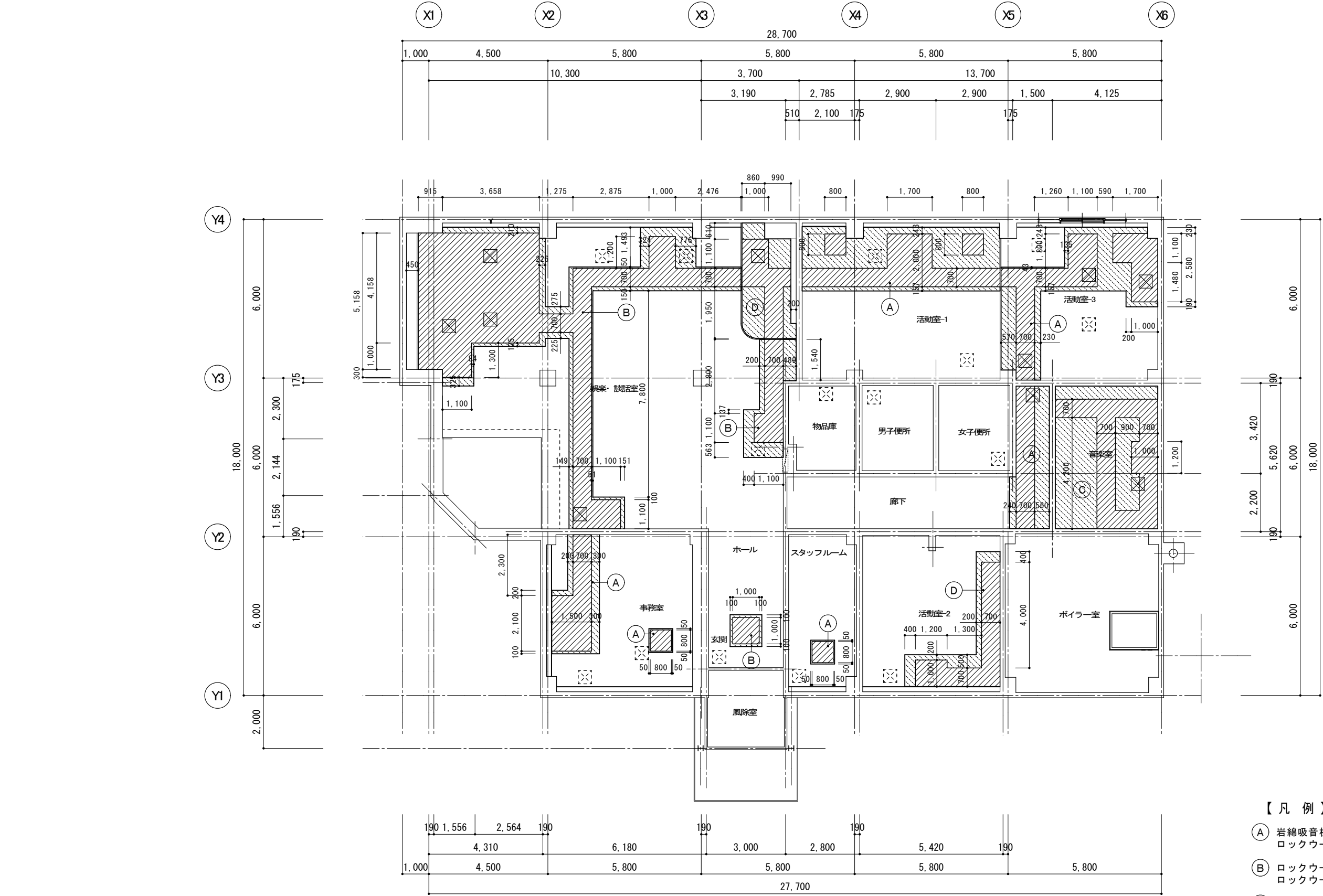


SUS304 t1.5 (枠・扉共) HL仕上
鍵付き平面ハンドル

煙突下部詳細図 S=1/30

記号		① AW	1か所	② AW	2か所	③ AW	1か所	①-1 SSW	①-2 SSW	①-3 SSW	各1か所	※ **	既存建具
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5					
姿図													
型式	見込	引違い三連窓		70	引違い三連窓		70	引違い三連窓		70	記号 AD アルミ製ドア AW アルミ製窓 SD スチール製ドア SSD ステンレス製ドア SSW ステンレス製窓 TB トイレブース 材質 AL アルミ SUS ステンレス ST スチール ガラス FL フロートガラス（透明） F 型板ガラス 金物 R 戸車 N 引手 B 丁番 TS 沓摺 DC ドアチェック FH フロアヒンジ		
本体材質・仕上		AL		AL		AL							
ガラス		FL5		FL5		FL5							
備考		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付							
記号		④ AW	1か所	⑤ AW	8か所	⑥ AW	1か所						
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5							
姿図													
型式	見込	引違い二連窓		70	引違い窓		70	引違い窓		70	嵌殺し窓		50
本体材質・仕上		AL		AL		AL		SUS					
ガラス		FL5		FL5		FL5		熱線吸収ｶﾞﾗｽ 6 + A5 + FL5					
備考		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		水切（W=120）、四方ｱﾝｸﾞﾙ					
記号		⑦ AW	1か所	⑧ AW	16か所	⑨ AW	2か所	① SSD	1か所				
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5					
姿図													
型式	見込	嵌殺し袖付片開き窓		70	引違い窓		90	嵌殺し窓		90	両開きドア（袖：嵌殺し）		100
本体材質・仕上		AL		AL		AL		SUS					
ガラス		FL5		FL5		FL5		透明6					
備考		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 30° 開放ｱｰｽﾄｯﾌﾟﾊﾞｰ		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ 網戸付		附属金物一式、水切（W=80）、四方ｱﾝｸﾞﾙ		ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ、ﾌﾗﾝｽ落し、ｼﾘﾝｸﾞ-本締め錠 棒取手、ｽﾃﾝﾚｽ沓摺、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ					

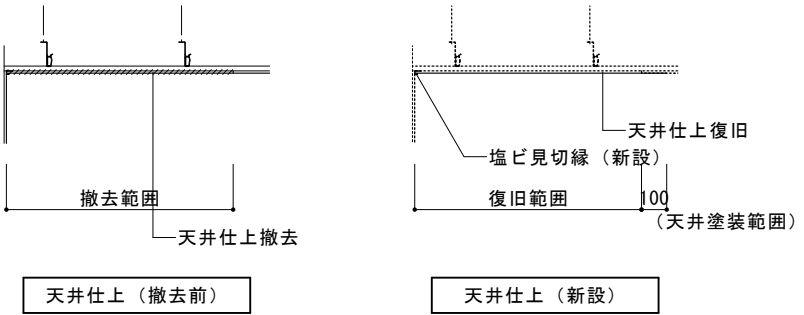
記号		① AD1か所		③ SD1か所		④ SD				⑥ SD				⑧ TB**既存建具	
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 10×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 5×5 DP塗替え		撤去（枠以外撤去） （カバー工法による改修）		新設 （カバー工法による改修） シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10							
姿図															
型式	見込	片開きドア（嵌殺しランマ付）		片開きドア		両開きドア		両開きドア						記号	
本体材質・仕上		AL		ST		ST		ST、DP塗リ						ADアルミ製ドア	
ガラス		FL3		透明強化6		網入り6.8		網入り6.8						AWアルミ製窓	
備考		附属金物一式、水切（W=60）、四方アングル		ヒールットヒンジ、ドアチェック、シリンダーモロック フランス落し、ステンレス沓摺、水切スチール（W=60） ステンレス沓摺、水切スチール（W=60）		ヒールットヒンジ、ドアチェック、シリンダーモロック フランス落し、ステンレス沓摺、水切スチール（W=60） 給気用可動ガラリ		丁香、ドアチェック、シリンダーモロック フランス落し、ステンレス沓摺、水切スチール（W=40） 給気用可動ガラリ						SDスチール製ドア	
記号		⑤ SD2か所												SSDステンレス製ドア	
改修内容		既存のままー1か所 撤去ー1か所												SSWステンレス製窓	
姿図														TBトイレブース	
型式	見込	点検口 片開きドア												材質	
本体材質・仕上		ST												ALアルミ	
ガラス														SUSステンレス	
備考		ヒンジ、T型ハンドル兼錠												STスチール	
ガラス														ガラス	
備考														FLフロートガラス（透明）	
記号		⑦ TB1か所												F型板ガラス	
改修内容		既存トイレブース撤去		トイレブース新設		既存トイレブース撤去		トイレブース新設						金物	
姿図														R戸車	
型式	見込	トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース						N引手	
本体材質・仕上		メラミン化粧合板フラッシュパネル		パネル表面材：抗菌メラミン化粧板 芯材：ハニカム7		メラミン化粧合板フラッシュパネル		パネル表面材：抗菌メラミン化粧板 芯材：ハニカム7						B丁香	
ガラス														TS沓摺	
備考				見切・ジョイナー：アルミ型材、巾木：SUS304 H=50 頭つなぎ：SUS角パイプ（SUS304HL）40×18×t1.0 表示付きラッチ錠、中心吊りレール、戸当り帽子掛、他付属金物		見切・ジョイナー：アルミ型材、巾木：SUS304 H=50 頭つなぎ：SUS角パイプ（SUS304HL）40×18×t1.0 表示付きラッチ錠、中心吊りレール、戸当り帽子掛、他付属金物								DCドアチェック	
記号														FHフロアヒンジ	



天井改修範囲 凡例

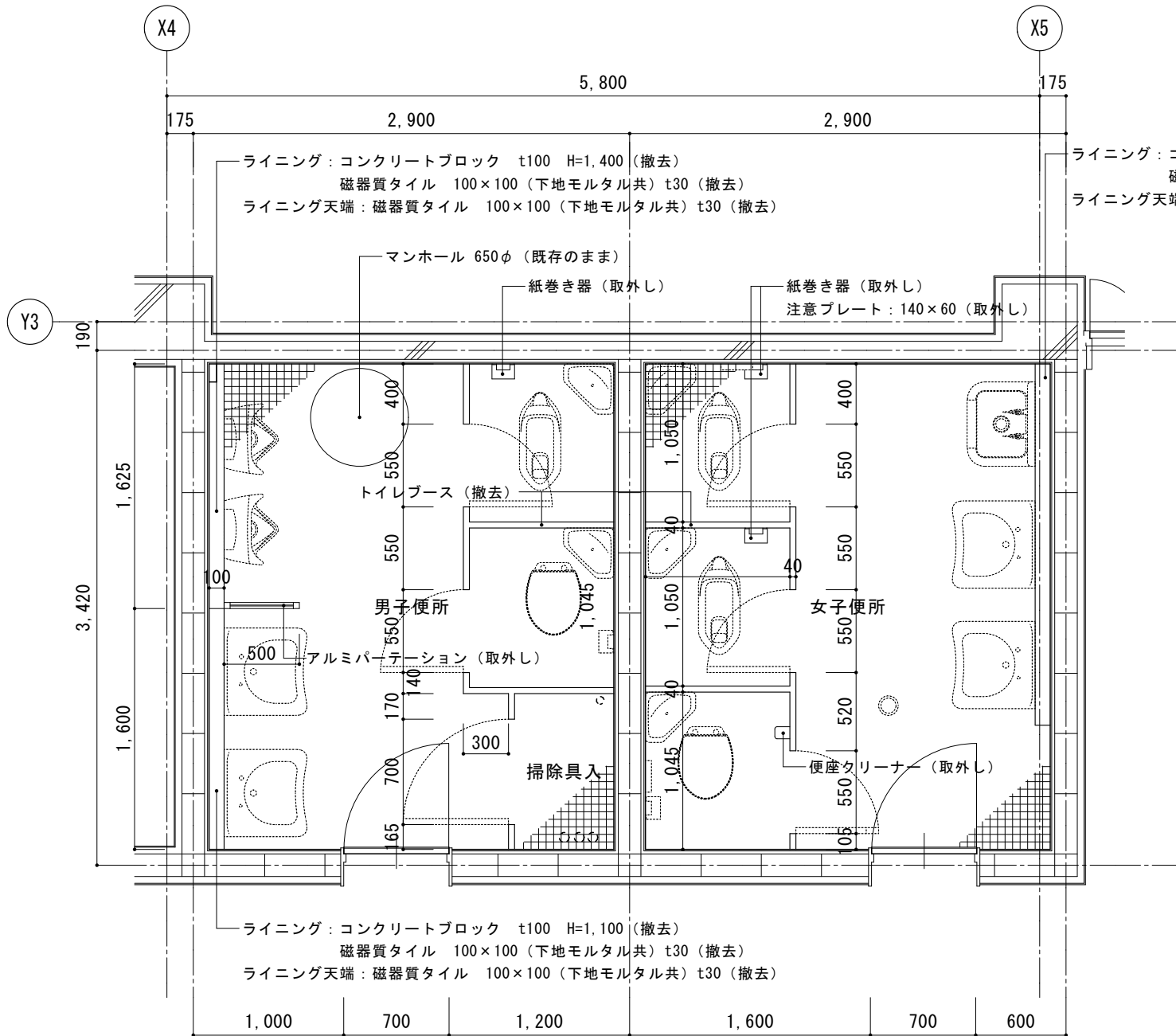
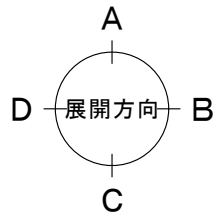
天井仕上材撤去・新設

天井仕上材撤去・新設 + 天井下地材（LGS）撤去・新設

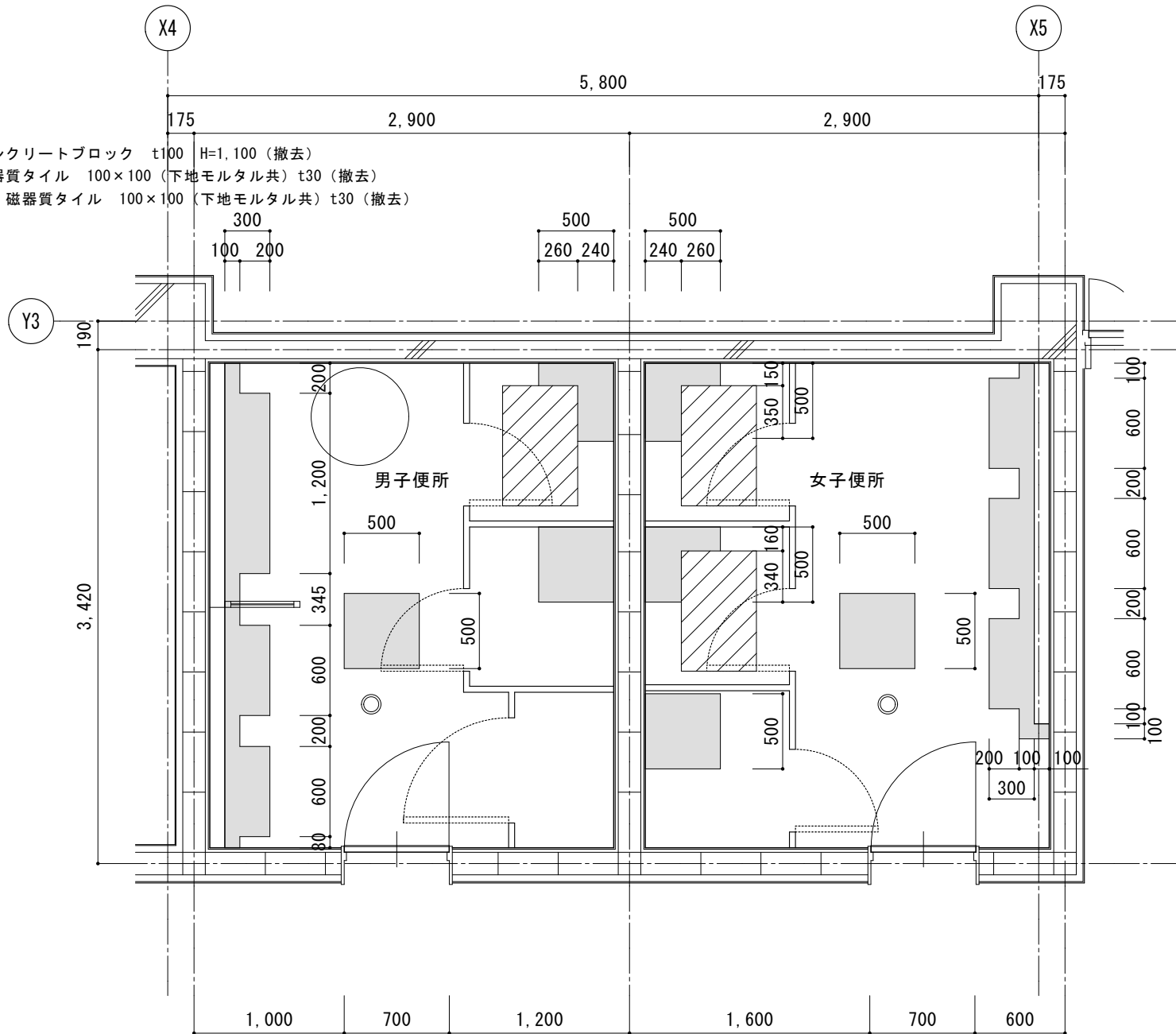


- 【 凡 例 】
- Ⓐ 岩綿吸音板 t=9（石膏ボード t9.0下地）（撤去）
ロックウール化粧吸音板 t=9（石膏ボード t9.5下地）（新設）
 - Ⓑ ロックウール化粧吸音板 t=12（石膏ボード t9.5下地）（撤去）
ロックウール化粧吸音板 t=12（石膏ボード t9.5下地）（新設）
 - Ⓒ 岩綿吸音板 t=9（石膏ボード t9.0下地）（撤去）
グラスウール t200 充填（撤去、新設）
ロックウール化粧吸音板 t=9（石膏ボード t9.5下地）（新設）
 - Ⓓ ビニールクロス（石膏ボード t9.5下地）（撤去）
ビニールクロス（石膏ボード t9.5下地）（新設）
- ☒ 天井点検口 450×450（取外し、再取付）
- ☒ 天井点検口 450×450（既存のまま）
- ※岩綿吸音板、石膏ボード t9.0 はアスベスト含有とする。

有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号	管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記	工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	図面名称 1階天井伏図	設計年月日	図面番号 A-27
	概図	製図	検図	製図					
									縮尺 1/150



便所 平面詳細図 (改修前)
S=1/40

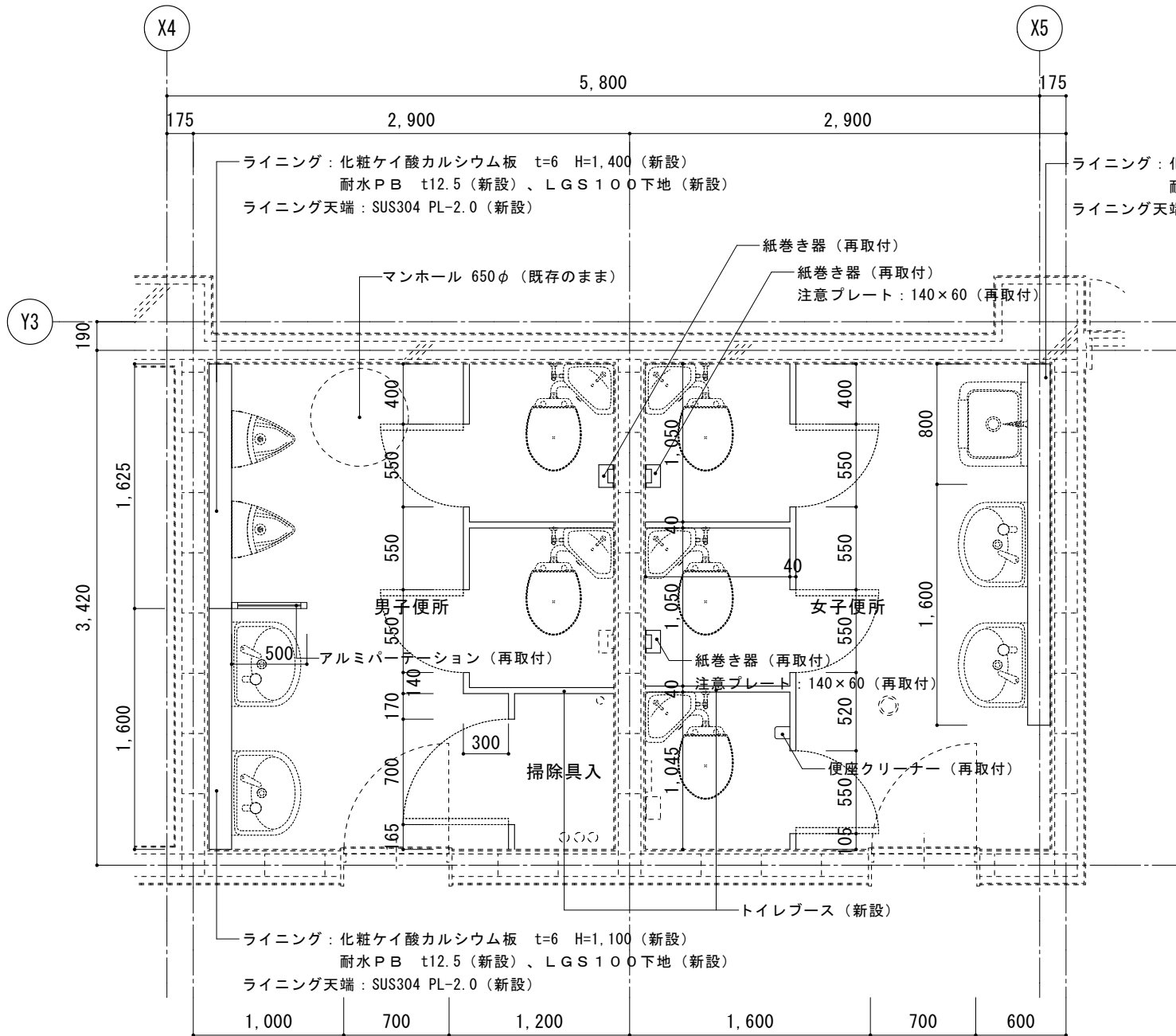
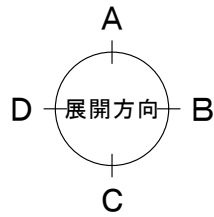


便所 床伏図 (改修前)
S=1/40

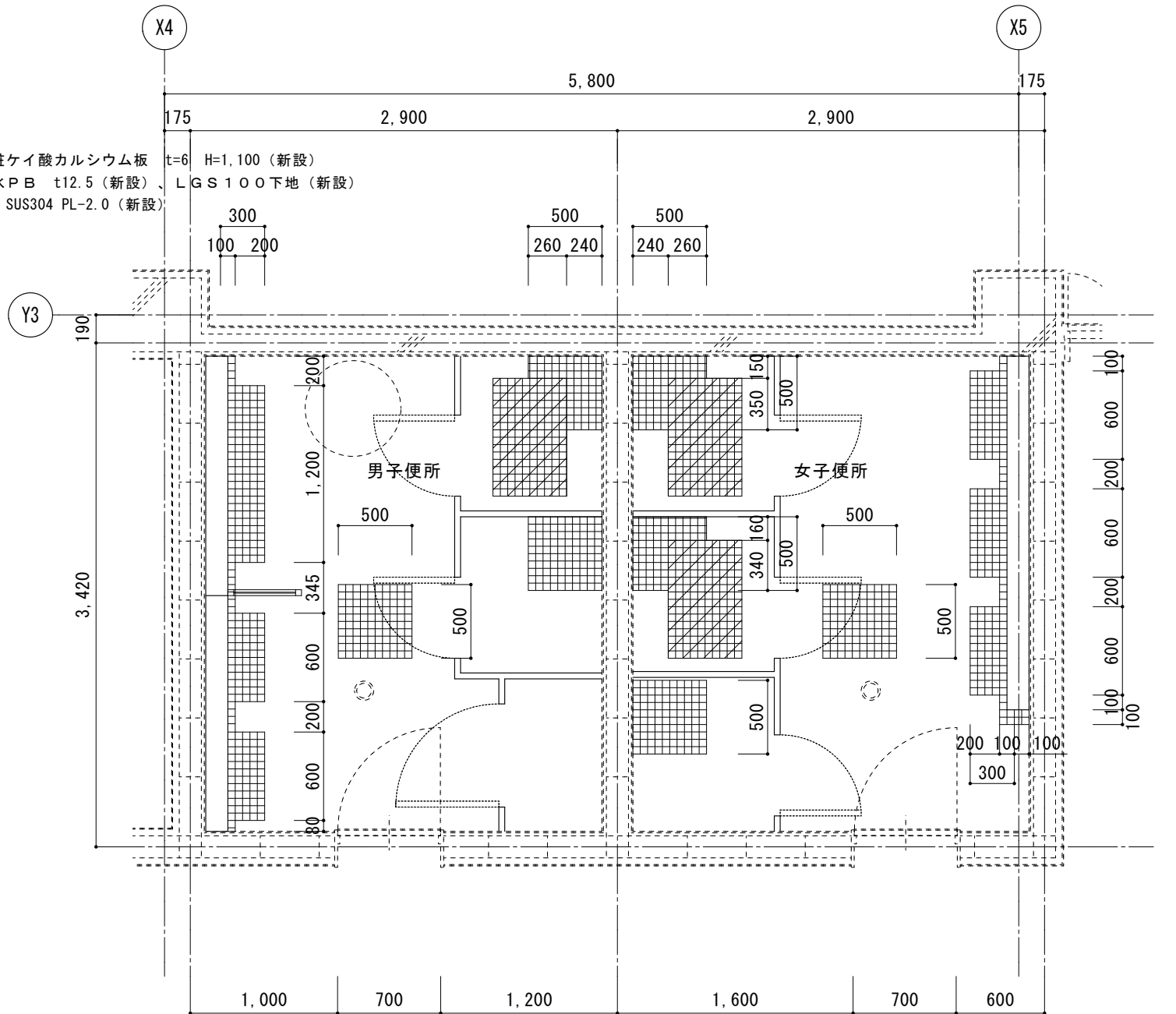
- : 和風便器撤去後床塞ぎ 3か所
磁器質モザイクタイル 50×50
(下地モルタル共) t30 (撤去)
コンクリート t150 (撤去)
F P板 t30 (撤去)
周囲カッター入れ
- : 床仕上 撤去
磁器質モザイクタイル 50×50
(下地モルタル共) t30 (撤去)
周囲カッター入れ

※モルタルはアスベスト含有とする。

有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第 5 2 0 7 号 札幌市北区北 2 4 条西 4 丁目 1 番 5 号	管理建築士 : 佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記
---	------------------------------------	--	--	--	--

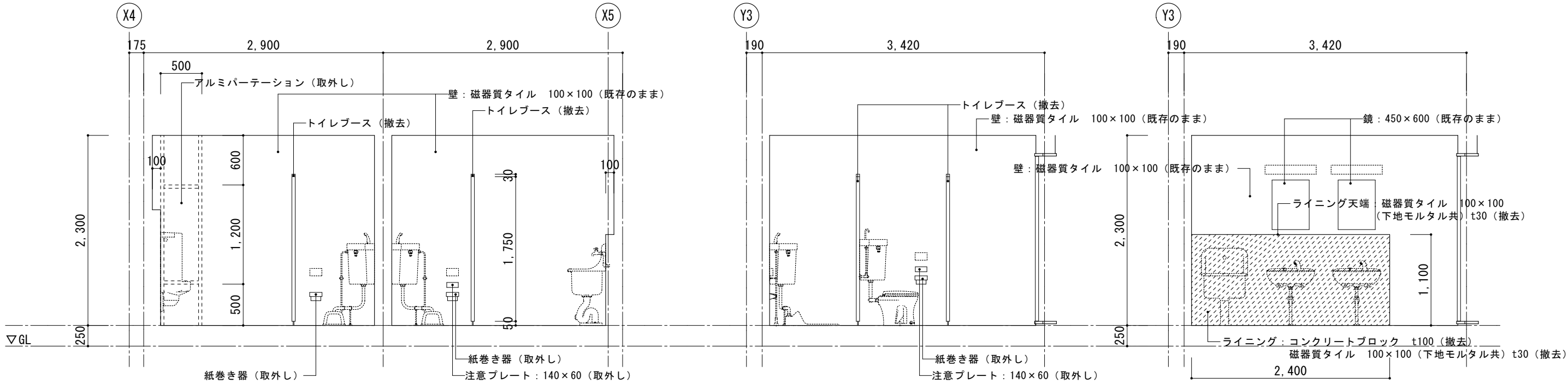


便所 平面詳細図 (改修後)
S=1/40



便所 床伏図 (改修後)
S=1/40

- 和風便器撤去後床塞ぎ 3か所
磁器質モザイクタイル 50×50
(下地モルタル共) t30 (新設)
コンクリート t150 (新設)
F P 板 t30 (新設)
- 床仕上 新設
磁器質モザイクタイル 50×50
(下地モルタル共) t30 (新設)



男子便所

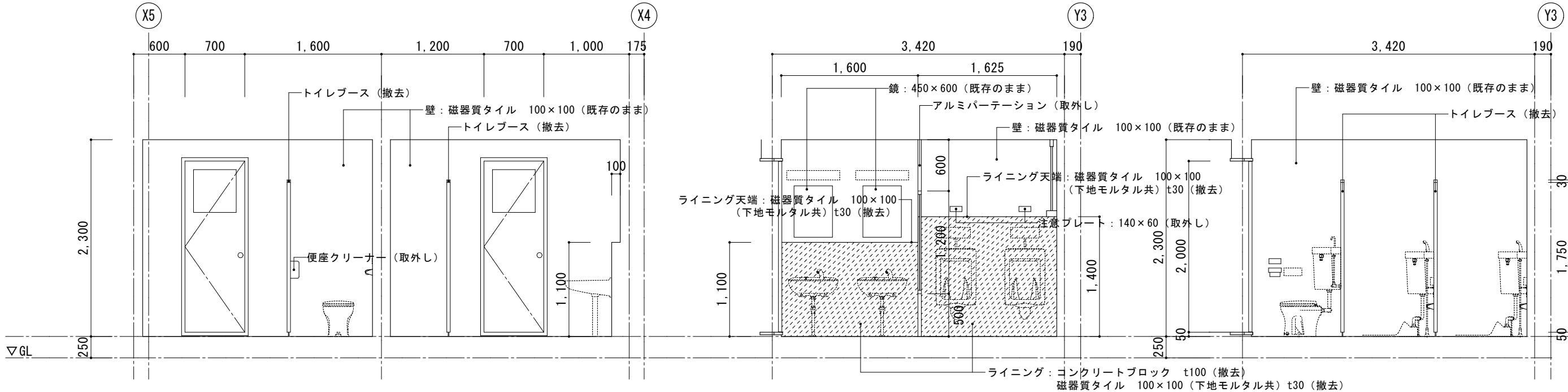
女子便所

男子便所

女子便所

A面

B面



女子便所

男子便所

男子便所

女子便所

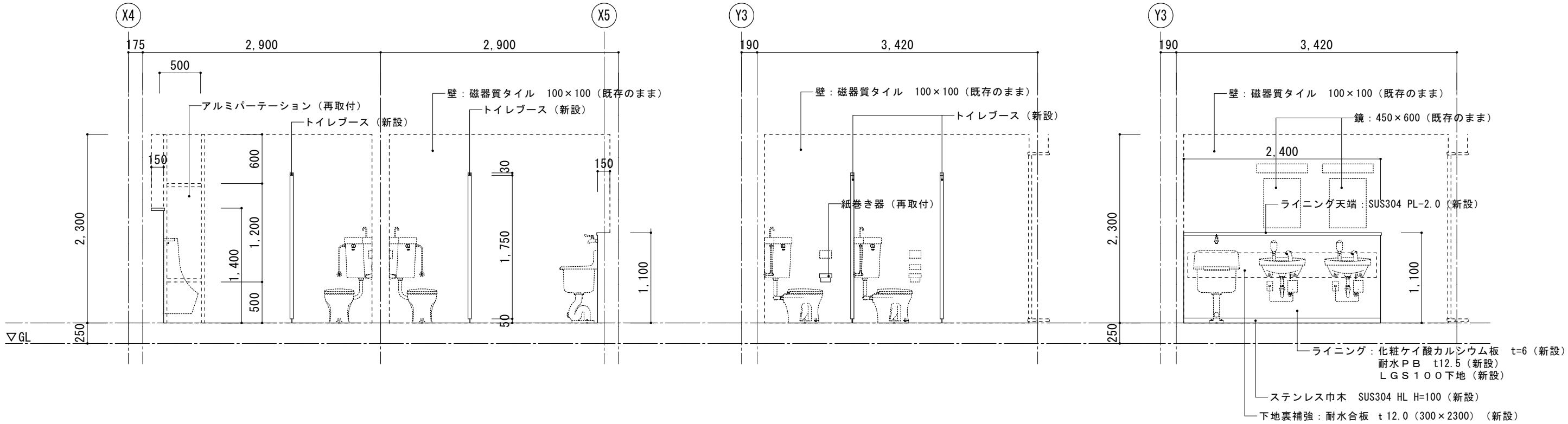
C面

D面

便所 展開図 (改修前)
S=1/50

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号				管理建築士: 佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号 概図 製図 検図 製図	特記	工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	図面名称 便所展開図 (改修前)	設計年月日	図面番号 A-30
縮尺 1/50								区分	

※モルタルはアスベスト含有とする。



男子便所

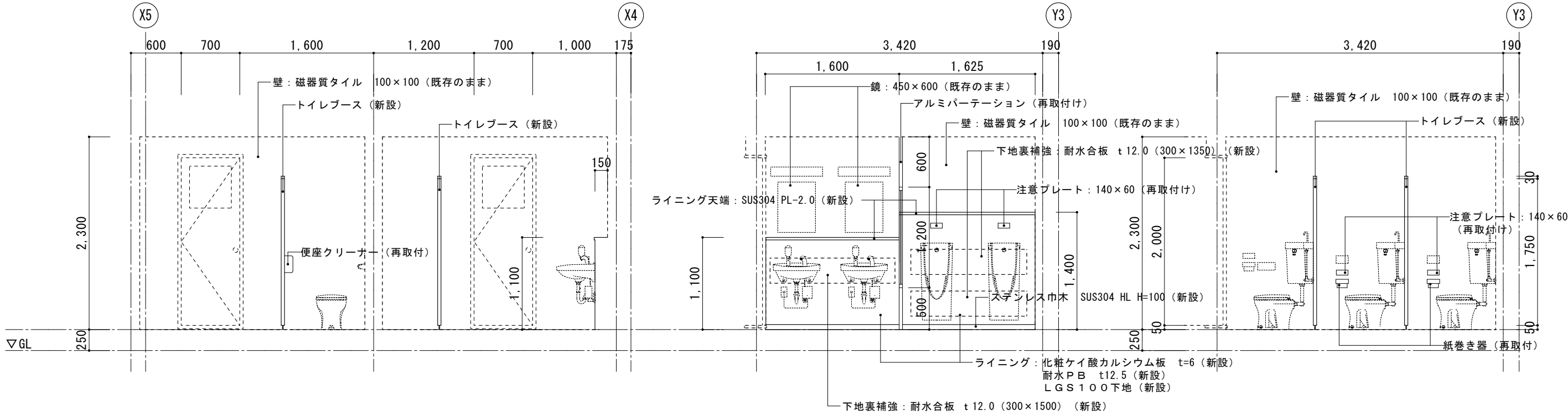
女子便所

男子便所

女子便所

A 面

B 面



女子便所

男子便所

男子便所

女子便所

C 面

D 面

便所 展開図 (改修後)
S=1/50

※化粧ケイ酸カルシウム板はアルミジョイナー工法とする。

有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号	管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号				特記	工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	図面名称 便所展開図 (改修後)	設計年月日	図面番号 A-31
	概図	製図	検図						
	縮尺 1/50								

改修前

改修後

改修前

改修後

▽ : シーリング 20×10 (撤去)

改修前

改修後

改修前

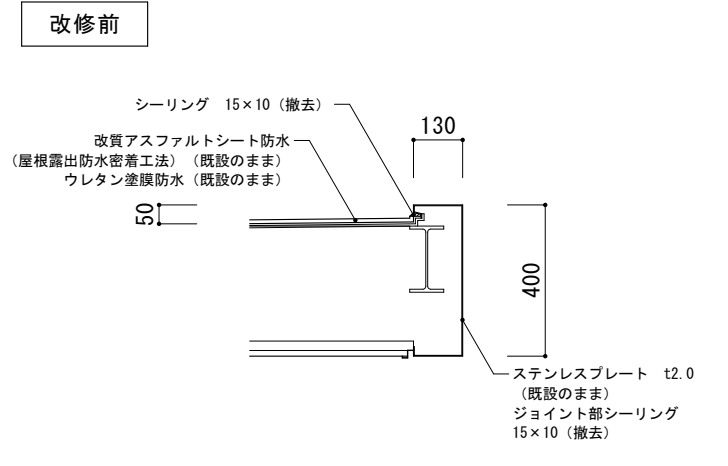
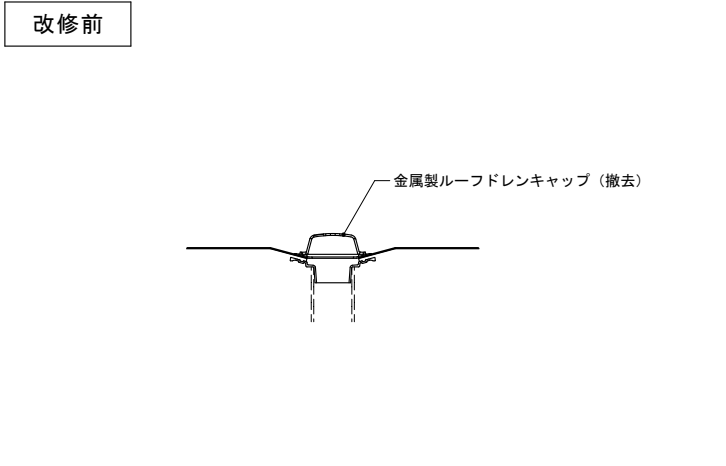
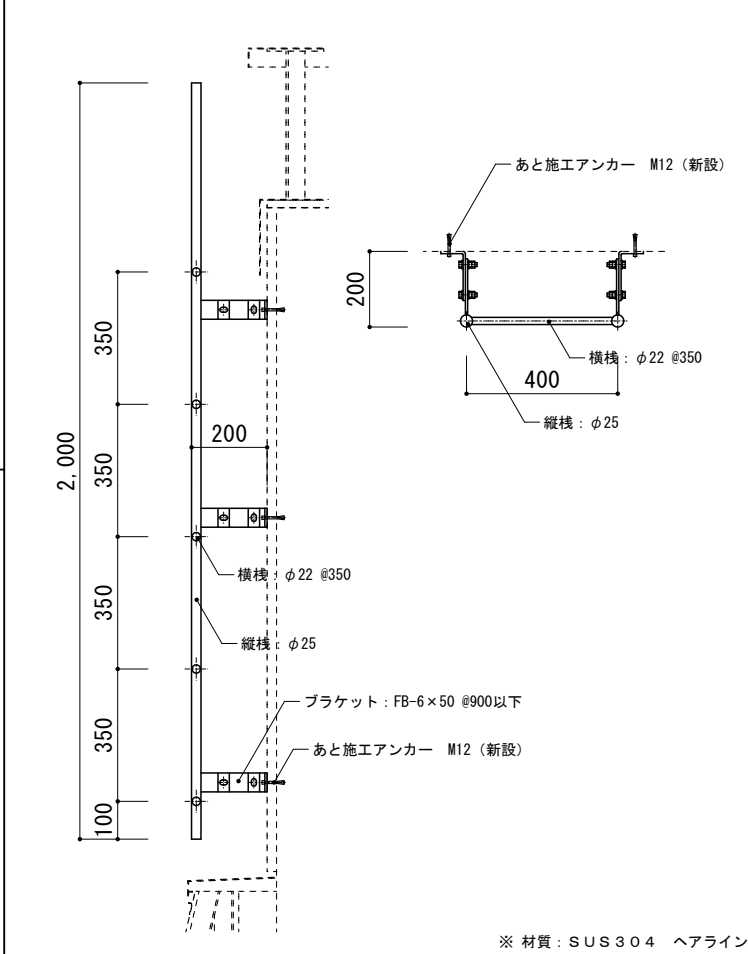
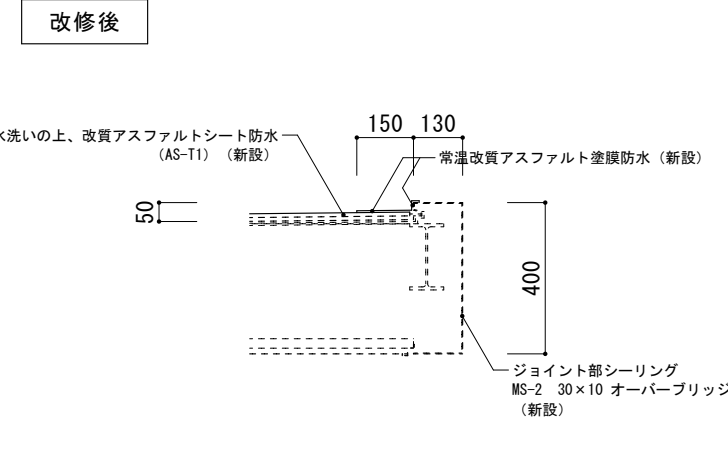
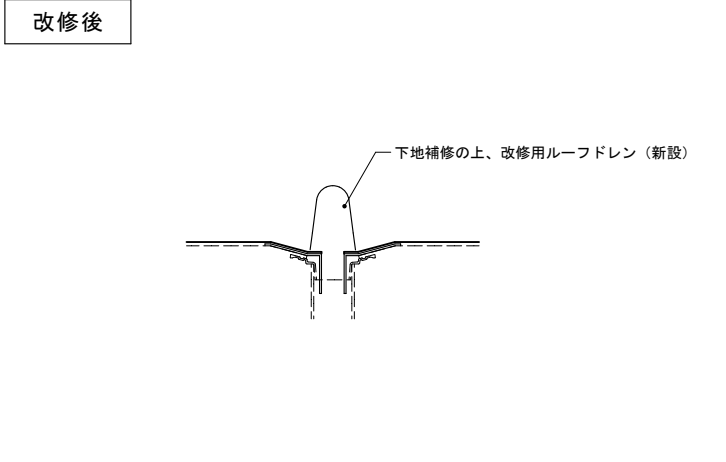
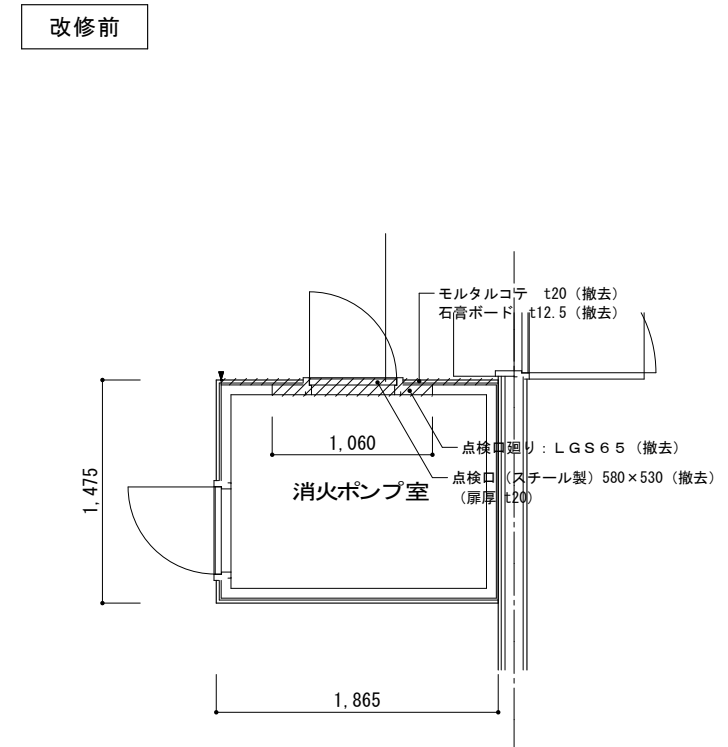
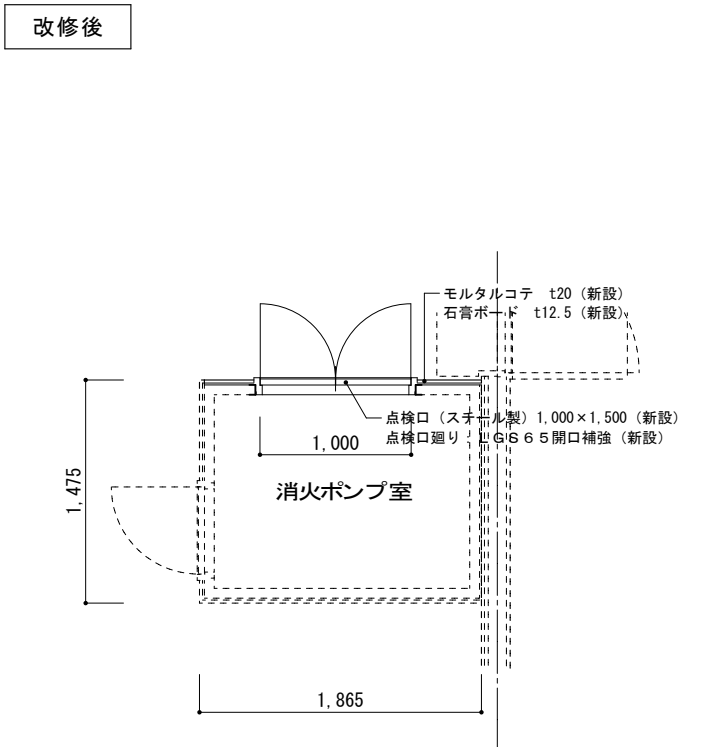
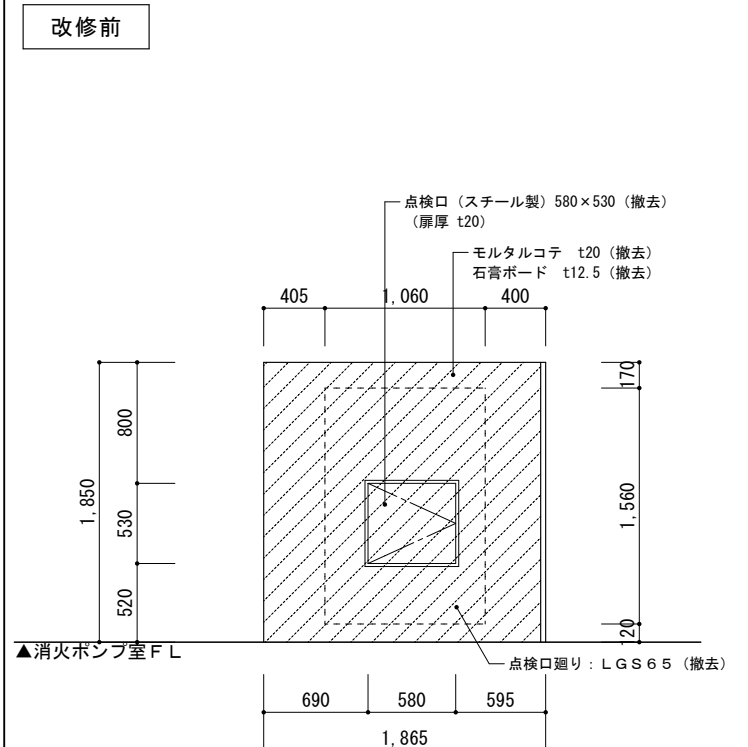
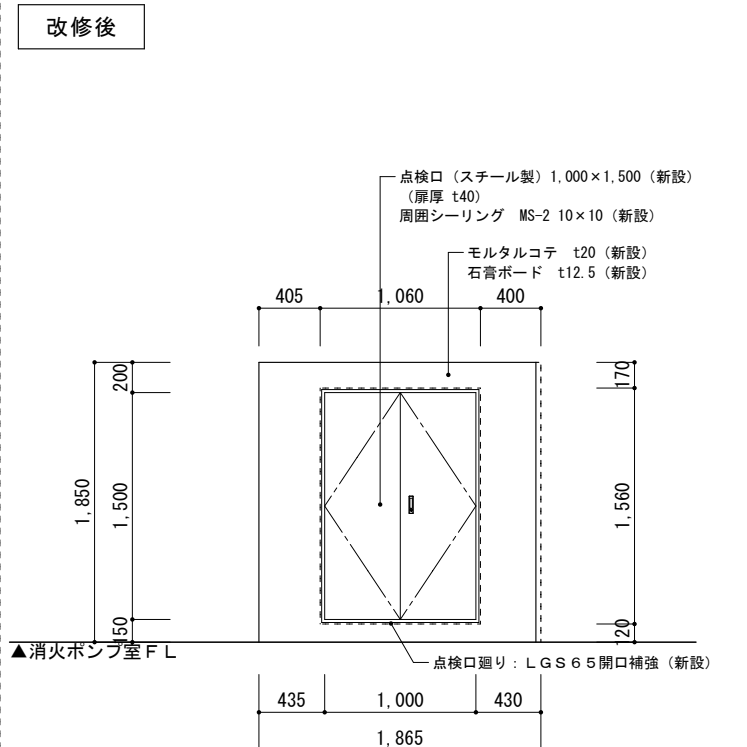
改修後

▽ : シーリング 20×10 (撤去)

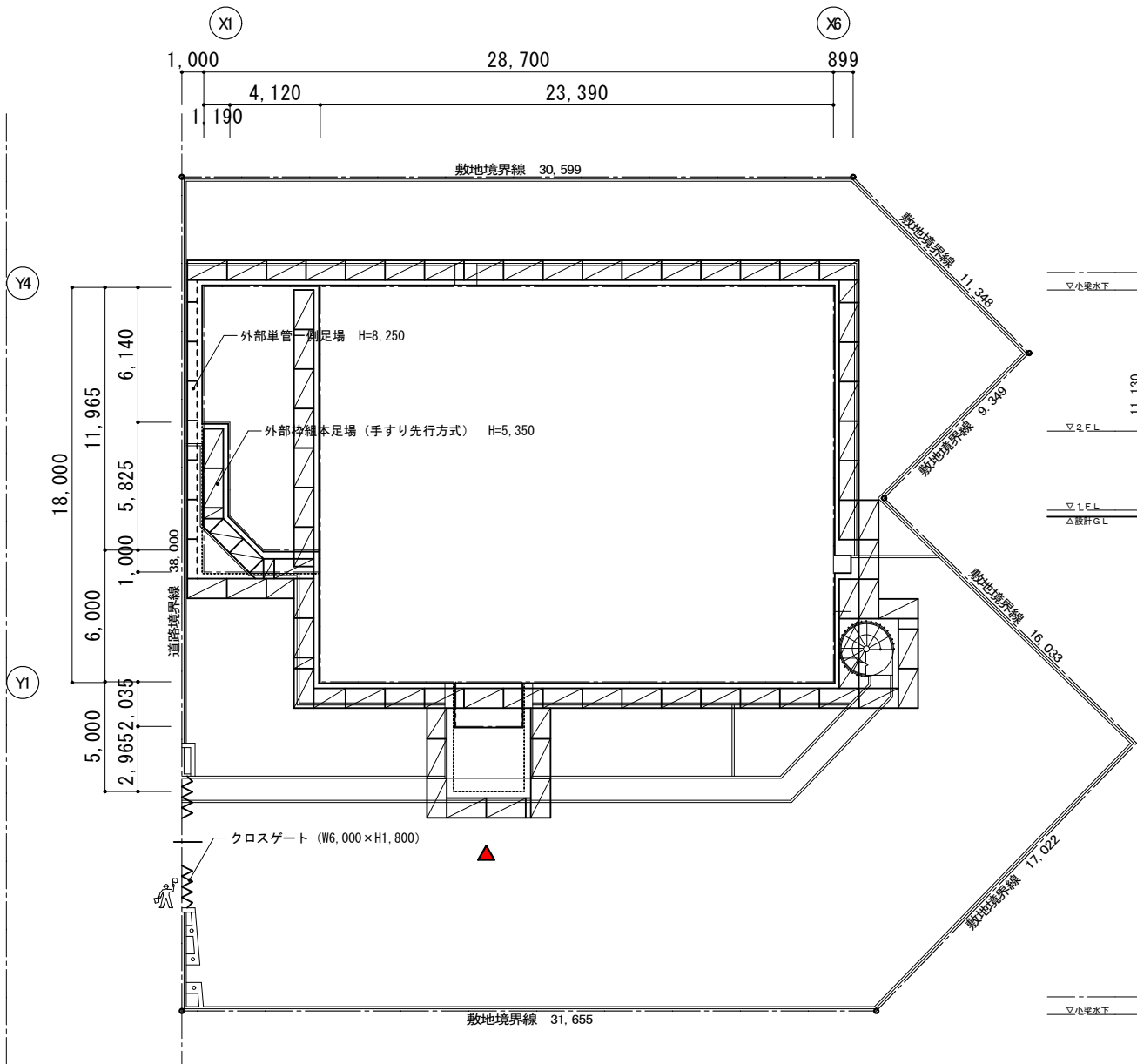
▽ : シーリング MS-2 20×10 (新設)

▽ : シーリング 20×10 (撤去)

▽ : シーリング MS-2 20×10 (新設)

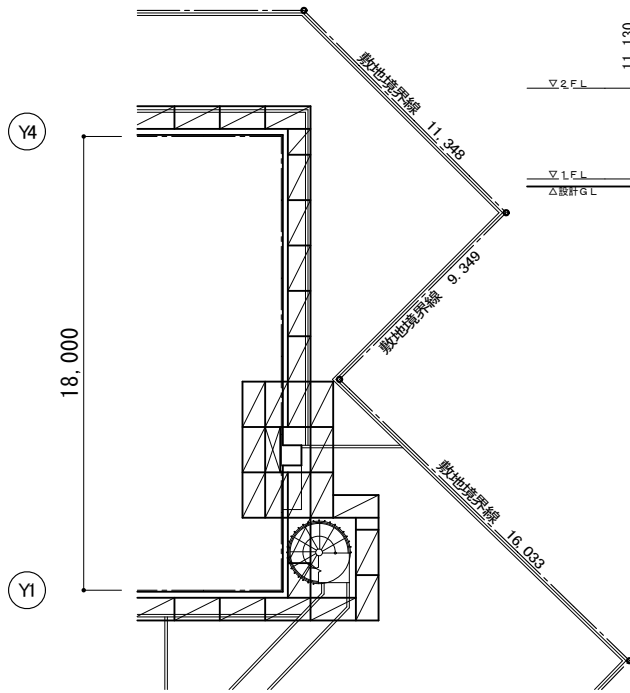
底先端詳細図（屋上３）		S=1/20	ルーフドレン詳細図		S=1/20	ＳＵＳ製タラップ詳細図		S=1/20					
改修前 			改修前 			 ※ 材質：ＳＵＳ３０４ ヘアライン							
改修後 			改修後 										
消火ポンプ室平面図			S=1/50			消火ポンプ室展開図			S=1/50				
改修前 			改修後 			改修前 			改修後  【点検口仕様】 型式：両開き１ロック、扉厚 t40 材質、仕様：溶融垂鉛メッキ銅板 t1.2 焼付塗装 金物類：平面ハンドル・戸当りゴム、本締錠 フランス落し、その他付属金物				
有 限 公 司 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号			管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号			特記			工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事				
図面名称 部分詳細図 2			図面番号 A-33			設計年月日			区分				
縮尺 1/20													

和風便器撤去後床塞ぎ詳細図		1/20	ライニング詳細図（小便器部）		S=1/30	ライニング詳細図（手洗い器、S K 部）		S=1/30	
特記事項 ・既設鉄筋利用は付着物を除去して使用すること ・既設コンクリートと新設コンクリートが接する面は目荒し処理を行うこと ・コンクリートの脆弱部分は撤去すること ・モルタルはアスベスト含有とする 改修前 ◀: カッター入れ（4周）を示す			※モルタルはアスベスト含有とする 改修前 ◀: カッター入れを示す			※モルタルはアスベスト含有とする 改修前 ◀: カッター入れを示す			
改修後			改修後 ◀: シーリング (MS-2) 5×5 (新設) ◀: シーリング (MS-2) 10×10 (新設)			改修後 ◀: シーリング (MS-2) 5×5 (新設) ◀: シーリング (MS-2) 10×10 (新設)			
有 限 会 社 佐 久 間 設 計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号			管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号 概図 製図 検図 製図		特記			工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	
						図面名称 部分詳細図 3			
						設計年月日 図面番号 A-34			
						縮尺 1/20、1/30			
						区分			



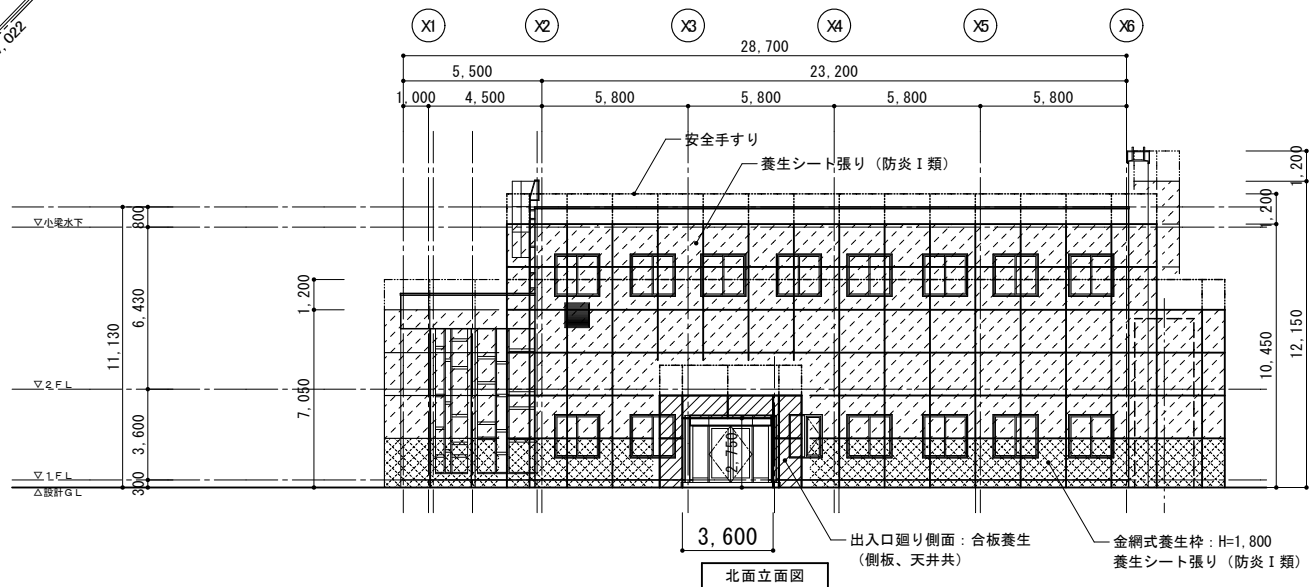
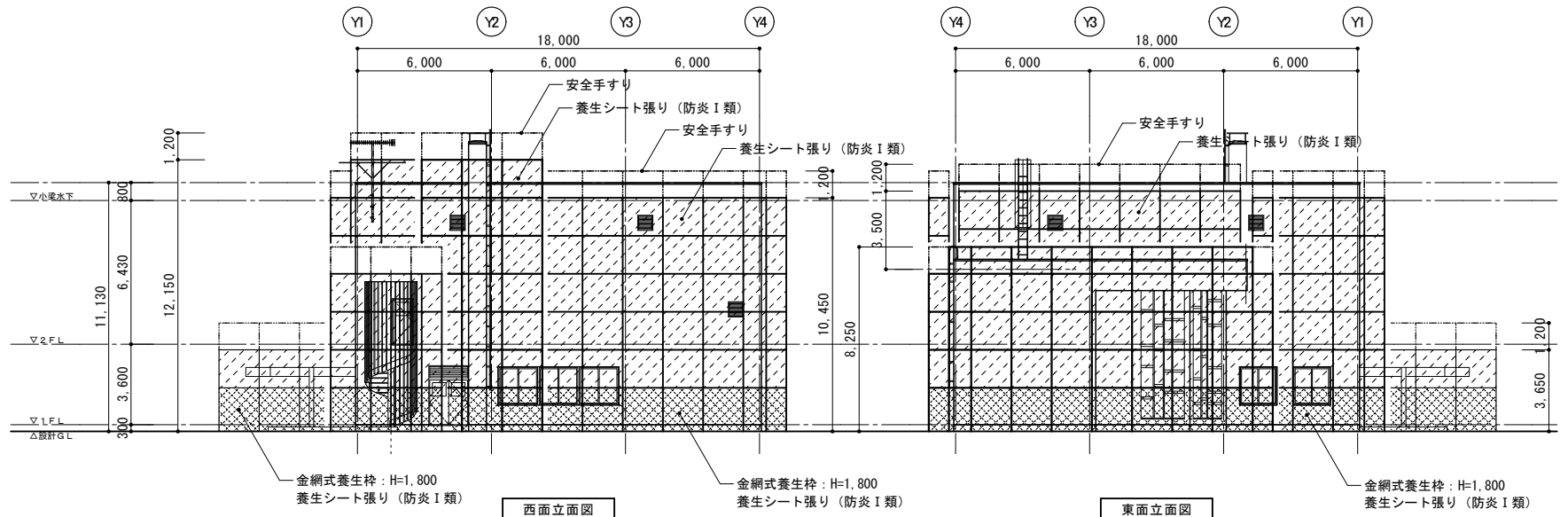
仮設計画図（平面図）

※煙突改修完了後



仮設計画図（屋上平面図）

※煙突改修時



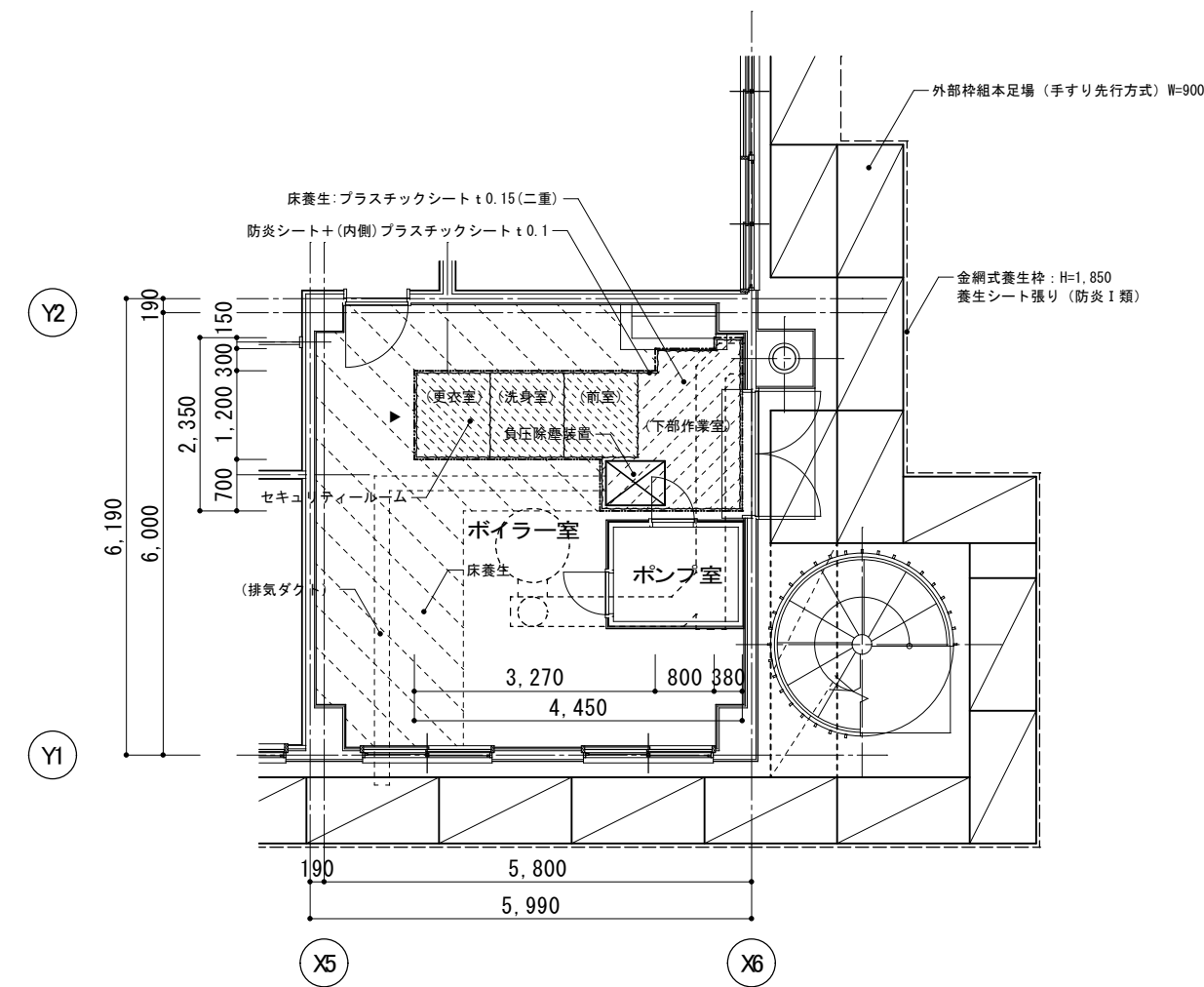
【 凡 例 】

	外部枠組本足場（手すり先行方式）W=900 養生シート張り（防災Ⅰ類） 最上部：安全手すり
	外部枠組本足場（手すり先行方式）W=600
	外部単管一側足場 養生シート張り（防災Ⅰ類）
	クロスゲート（W6,000×H1,800）
	出入口養生（合板養生（L型3方））
	交通誘導警備員（21人）

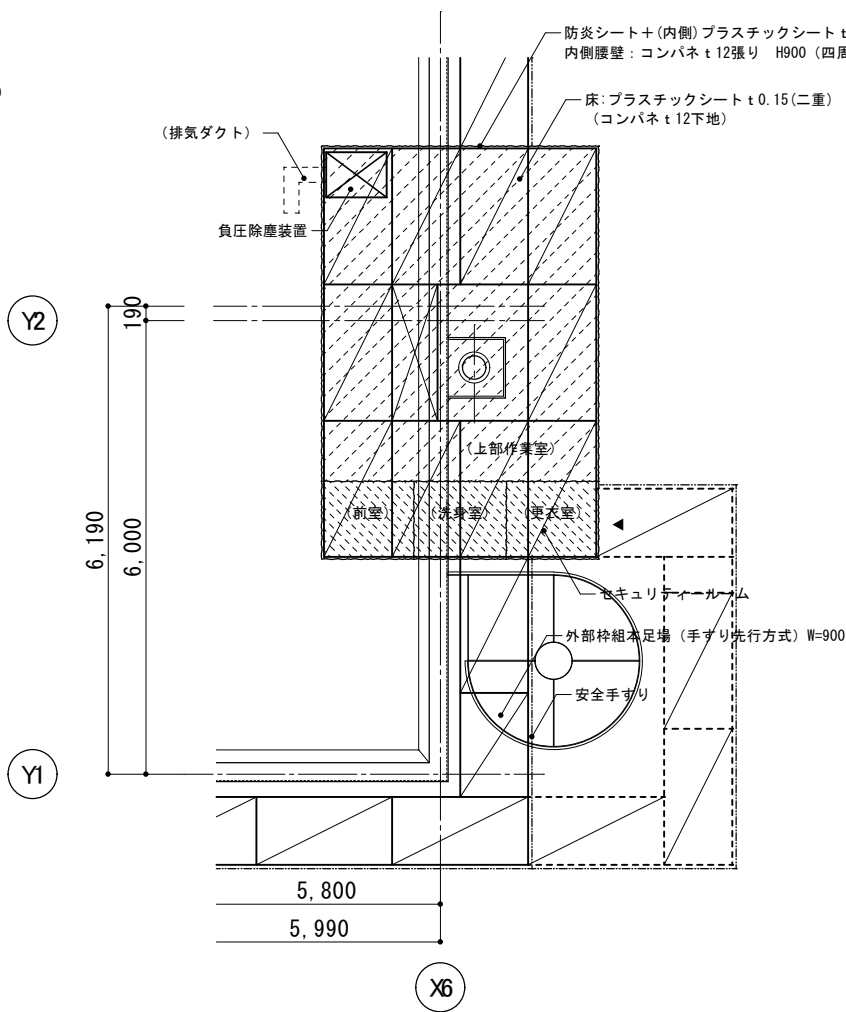
【 特記事項 】

- 資材搬出入等工事車両出入りの際は、施設管理者及び監督員と協議し、安全に充分配慮すること。
- 資材搬入時間は、監督員及び施設管理者と打ち合わせをおこなうこと。
- 工事資材搬入路等において大型車両等の出入りの場合、交通誘導員を配備すること。
- 工事工程については施設管理者及び監督員、監理者と充分協議すること。
- 工事に先立ち、工程表、施工計画書等を作成し監督員、監理者に提出し、承認を受けること。
- 作業員駐車場に関して、施設管理者及び監督員と十分協議すること。
- 必要に応じてカラーコーン等で区画を行うこと。
- 資材等を落下させる事がないように十分注意すること。
- 外部足場への侵入防止措置をとること。
- 工事に使用した部分は完了時に原状復旧すること。
- 作業経路及び搬入経路については養生・整理整頓を入念に行うこと。
- 足場は既設防水層を傷めないこと。
- 災害防止の為、足場に養生シートを設置の事。
- 騒音、振動等発生する作業を行う場合は周知を徹底すること。
- クレーン、重機等を使用する場合、交通誘導員を置き、鉄板敷き等により転倒防止対策を行うこと。
- クロスゲートは指定仮設とする。

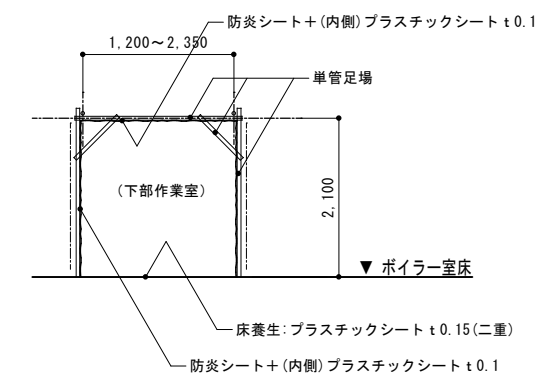
有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号		管理建築士：佐久間 清尚 一級建築士大臣登録168408号 概図 製図 検図 製図	特記	工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事	図面名称 仮設計画図（参考） 縮尺 1/300	設計年月日 区分	図面番号 A-35
--	--	---	----	----------------------------	-------------------------------	-------------	--------------



仮設平面図（１Ｆ）S=1/100



仮設平面図（ＲＦ）S=1/100



下部作業室断面図 S=1/100

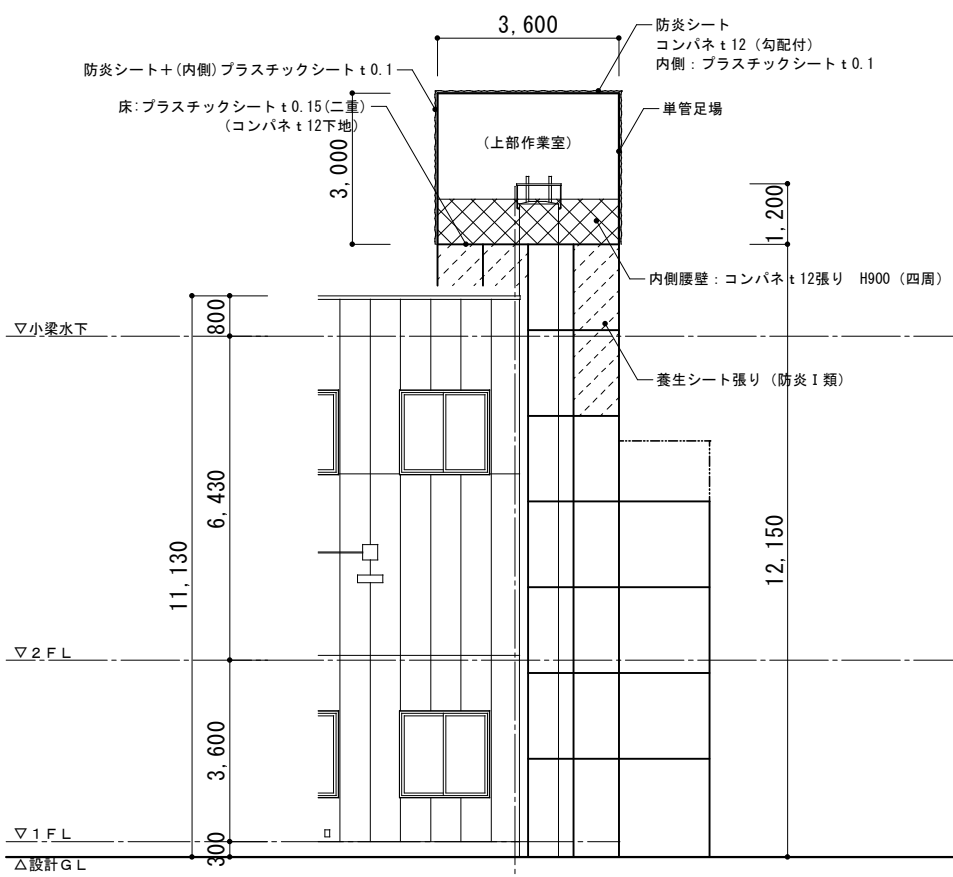
【 特記事項 】
煙突断熱材の除去に当たっては、除去作業を行う１４日前までに札幌市環境局へ「特定粉じん排出等作業実施届出書」を提出しなければならない為、必要な書類を工事監督員に速やかに提出すること。
併せて「解体等の作業届出」を管轄の労働基準監督署へ提出すること。

産業物の処理及び清掃に関する法律第十二条の二第８項により、事業者は事業場ごとに特別管理産業廃棄物管理責任者を置かなければならない。

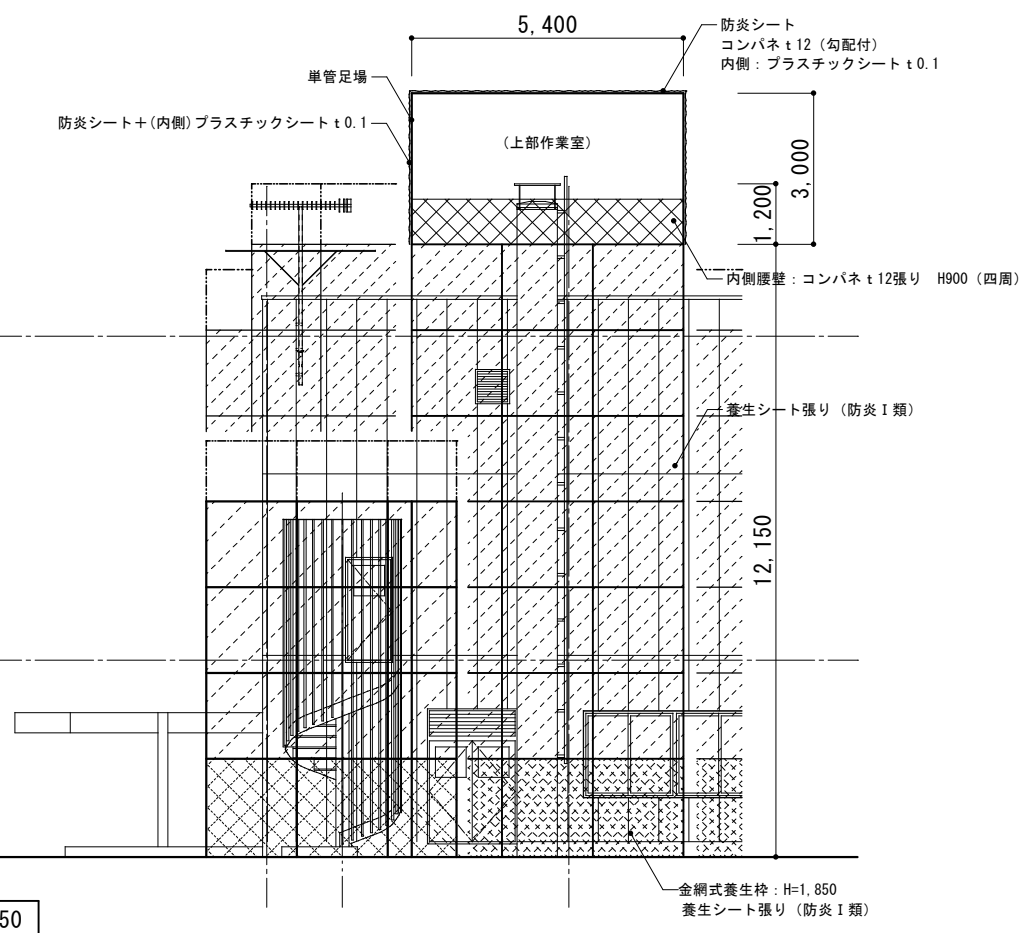
特定粉じん排出等作業実施報告書内の組織図に記載する資格者は元請業者の社員とすること。

また、特記仕様書16章 環境配慮改修工事の内容を確認し、養生方法については、「札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル」を参考とし、下記に留意して行うこと。

- 足場
・枠組本足場（手すり先行方式）枠幅1,200及び900とする。
・足場は煙突断熱材除去及び復旧が完了するまで存置とする。
- 作業室
・上部、下部作業室は単管足場とする。
・作業室の屋根はコンパネ張り、作業床はコンパネ敷きとする。
・作業室内は床プラスチックシート0.15mm二重張り、壁・天井はプラスチックシート0.1mm一重張りとし、負圧除塵装置を設置する。
・作業室の撤去はアスベスト粉塵濃度測定の値が基準値以下であることを確認してから行う。
- セキュリティールーム（前室、洗身室、更衣室）
・エアシャワーを上部、下部作業室に設置すること。
・作業室から外部への出入の際には、保護衣等に付着した粉じんを外部に持ち出さないよう措置を講じること。
- 煙突断熱材の除去
・乾式カポネーター工法 又は、湿式ウォータージェット工法とする
・撤去した断熱材は廃石綿安定化を行い、袋詰めし、施工計画で定めた保管場所に一時保管する
- アスベスト粉塵濃度測定
・下記の測定箇所にて撤去中にアスベスト粉塵濃度測定を行う。
 - 集じん・排気装置の排気口（２か所）
 - セキュリティールームの入口（２か所）
 - 除去作業場の直近の外周（２か所）また、断熱材除去作業が完了後、上部・下部各作業室内（２か所）で測定を行い、値が基準値以下であることが確認できてから作業室の撤去を行う。
※基準値＝１．０ｆ／Ｌ
・デジタル粉塵計漏洩測定：集じん・排気装置設置時 ２検体
作業開始後、作業中 ８検体 計１０検体



仮設足場立面図 S=1/150



有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録（石）第５２０７号 札幌市北区北２４条西４丁目１番５号				管理建築士：佐久間 清尚 一般建築士大臣登録166408号 概図 製図 概図 製図				特記 				工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事				図面名称 仮設計画図（煙突改修時）（参考）				設計年月日 図面番号 A-36			
図尺 1/100、1/150				区分																			